#### 事務事業評価の内容について

事務事業評価は、令和4年度に実施した勝浦市総合計画・後期基本計画・第4次実施 計画事業の評価を実施しました。

評価した事業の総数は、284事業、各事業の評価結果は、一覧表のとおりです。

#### ※一覧表に掲げる各欄の説明は以下のとおりです。

1. 施策名	勝浦市総合計画・後期基本計画の施策名を記載しています。
2. 施策の達成状況を把握するための参考指標	勝浦市総合計画・後期基本計画の施策の達成状況を示す参考指標として、計画策定時点、今回の評価年度、計画最終年度の指標を記載しています。
3. 施策の展開一覧	各施策を実現するための課題を複数の項目に細分化 し、整理したものを記載しています。
4. 評価結果	二次評価機関の審査を経て、施策ごとの評価を記載しています。

#### R4事業

				関係課	農林水區	<b>雀課</b>				
4	+//	1	地域の宝を活かしたにぎわいのあるまち	づくり						
1.	施策名	1	農業の振興							
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)				
2.	施策の達成状況を把握 するための参考指標	指標1	ほ場整備率	25.5%	26.2%	26.1%				
		指標2	新規就農者数(年間)	1人	0人	3人				
		1	農地や農村の計画的な利用方針の策定			評価事業なし				
		2	② 農業生産基盤の整備							
2	施策の展開一覧	3	農産物の販路の拡大							
٥.		4	④ 担い手の確保·育成と農業経営の安定化							
		5								
4.	二次評価結果	農業従事者が高齢化していく中、農地を保全するためには地区による共同活動は有効であることから、多面的機能支払交付金などを活用することで、農村地域の環境保全や集落機能の維持向上を図ること。また、ほ場整備事業の着実な実施や認定農業者等の担い手への農地集積を図るとともに、就農意欲のある者が参入しやすい環境づくりを進めるなど、担い手の確保や耕作放棄地の増加を防ぐための効果的な施策を実施すること。								

#### ② 農業生産基盤の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
11201 県営ほ場整備事業	ほ場整備事業の実施に向け、県・土	調査事業実施件数	2件	20,281	7,024		▼前期実施計画(R5~R8)に計上 高齢化や後継者不足が著しい中、高 収益となる転作作物の作付けも含 め、担い手への集積の推進が不可欠	
	地改良区及び地元との協議の推	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	大楠、大森地区も国の採択を受け事	な状況を踏まえ、将来的な地域の農	
農林水産課	進、事業に係る経費負担	3件	3件	0	継続	業を進めている。	業基盤を確立するため継続して実施していくことが適当であることから、事業推進にあたり、ソフト・ハードの両面から県と連携し、地元の理解を得ながら引き続き推進する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
11203 かんがい排水整備 事業	   市内水利組合から補助申請があっ	補助金交付件 数	3件	834	323	施設の老朽化が進行する一方で、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 施設の維持管理、長寿命に向けた計 画の策定が必要と考える。 生産基盤である施設を適正に維持管	
	た場合に実施する。 事業費の1/2から1/3を補助す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	農業者の高齢化や管理主体である水利組合の解散等、共同維持活動		
農林水産課	3.	4件	5件	Δ	継続	の継続が困難な状況にある。	生産基盤である施設を適正に維持官 理するため、支援に要する予算を維持し、事務事業を継続して実施する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
11204 林道維持補修事業		維持補修を主と する事業のため 評価なし		0	0	林道及び付帯施設については、職 員の直営により維持管理を実施し	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 森林環境譲与税制度、森林経営管 理制度が創設され、市町村における	
	林道の土砂撤去、草刈及び支障木 の伐木等の維持管理を行う。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	た。 林道及び付帯施設の老朽化に対す	森林整備の促進が求められる中、整備に要する基幹インフラとして林道の	
農林水産課	1.5 NATE OF SAME 13 ESTE 13 20				継続	る維持補修や長寿命化の対策が必 要である。	機能を適切に管理するため、事業の 継続が適当であり、維持管理、長寿 命化対策に係る計画の策定が必要 である。	

② 農業生産基盤の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11205 森林整備事業	の維持増進を目的として市内育林組合 が実施する下刈り、枝打ち及び間伐等 に対し、県及び市で助成する。	事業実施面積	竹林整備 0.71ha	7,226	7,202	林業者の高齢化や後継者不足のほか、木材価格の下落等により、適切な森林管理が困難な中、意欲のある林業者を補助することにより、防災、水源涵養、獣害対策など、森林が有	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 森林環境譲与税の次年度交付を踏
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	する機能の維持を図った。 また、市内の一部ではあるが森林	まえ、これを活用した将来的な森林保全や整備等の方針を定めるととも
農林水産課	ている森林整備を目的として長期・短期 の計画策定及び山林所有者の意向確 認調査を実施する。	間伐0.96ha 竹林整備1.11ha	間伐0.13ha 竹林整備 0.69ha	Δ	継続	管理制度構築に向けたデータ収集 のためのアンケート、アンケートに基 づく実施計画の策定ができた。 森林環境譲与税の交付額と使途 (事業)の調整が必要。	に従来の県単森林整備事業及び特定間伐計画事業と併せた計画的な事業の推進を図る。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11206 農村環境保全事業	多面的機能支払交付金 (農地維持支払及び資源向上支払(地域資源の質的向上を図る活動)) 農村の多面的機能を守り育む共同活動に対し、交付金対象農用地面積に応じ、国、県、市の3者が交付金を各地区活動組織へ交付し、共同活動を支援する。実施地区:市野	活動組織数	3組織	5,484	5,483	過疎化の進行により共同活動が困難となっている農村地域を補助し、 多面的な機能を有する農村地域に おける施設等の維持向上を図った。	図前期実施計画(R5~R8)に計上 過疎化が進行する農村地域において、環境保全の取組の必要性の周知を図りながら、農業用用排水路等、施設の老朽化対策などの事業を継続して実施して行くことが集落機能の維持向上となるため、ほ場整備の完了した地区を中心に本事業の推進を図る。
	川、杉戸、白木、名木木戸、大森、大楠 (資源向上支払(施設の長寿命化のための	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		
農林水産課	(負債的工文品(施設の及寿前にのための活動)) 地域の共同活動により維持してきた老朽化が進む水路等農業用施設の長寿命化のための補修・更新を行う活動組織に対し、交付金対象農用地面積に応じ、国、県、市の3者が交付金を各地区活動組織へ交付し、向上活動を支援する。実施地区:市野川、杉戸、白木地区	4組織	4組織	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11207 土地改良区運営支 援事業(基幹水利	勝浦市土地改良区に対して助成する。 ・土地改良施設維持管理適正化事業による 勝浦ダム幹線水路等施設の修繕を実施す る。	ほ場整備事業の 推進及び地域と の調整活動	4地区	55,516	50,313	勝浦市土地改良区に対して助成を 行い、勝浦ダムの維持管理・長寿命 化及びほ場整備促進による生産性 向上を図った。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 ほ場整備事業の推進や農業用水の 安定供給を適正に行うため、県及び
維持管理事業)	・基幹水利施設ストックマネジメント事業による勝浦ダム施設の長寿命化を図る。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		
農林水産課	・農地中間管理機構関連農地整備事業(名木木戸地区)及び農地整備事業(経営体育成型)(大森地区、大楠地区)の実施により、ほ場整備の促進を図る。	4地区	4地区	0	継続		地元関係者と連携の上、継続して実施する。

#### ③ 農産物の販路拡大

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11301 畜産業の振興	畜産業者に対し、国県補助事業制	各種予防接種 の実施	通年実施	0		高齢化、後継者不足等の影響により	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 従事者の高齢化や後継者不足が深
	度の情報提供や各種防疫予防接種	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	予防のための予防接種の周知、申	刻な課題となっている中、畜産業の
	等を実施することで、畜産業の振興に寄与する。	通年実施	通年実施	0		請受付等を行い畜産農家の所得安 定を図った。	振興を図るため、家畜自衛防疫に努めることが必要であることから、引き続き事業を実施することが必要。

#### ④ 担い手の確保・育成と農業経営の安定化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
11401 農業資金利子補給 事業		利子補給実施 農家数	0件	0	0	近年の営農規模は現状維持若しく	▼前期実施計画(R5~R8)に計上	
	農機具購入、倉庫建築等資金融資 に対する利子補給 上限5%以内	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	は縮小の傾向にあるため、当該制度 を活用しての経営規模を拡大する	担い手育成の観点から、制度を周知し、経営規模の拡大や省力化に資す	
農林水産課	(これ) タ *3/4*リ 1 /田/和 - 工-区の /0 どん ト 1	0件	0件	I	継続	ケースが少ない。	る設備投資を継続して支援する必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
11402 農業経営基盤強化 促進事業	認定農業者等の担い手に農地を集積し、経営規模の拡大を推進するこ	担い手育成総 合支援協議会 の開催件数	0件 R4.3.31解散	0	0	統合した。制度の周知と併せ、高齢化、担い手	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 農地中間管理機構を活用した利用集 積制度の周知を図るとともに、認定農	
	とにより、経営の安定化や農業生産	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		業者等の担い手に農地を集約し、経	
農林水産課	力を向上させ、担い手の経営基盤 の強化を図る。	1回	2回 (うち1回書 面開催)	I	継続	不足の進展による貸し手の増加傾 向に対し、受け手となる農業者の育 成が必要。	営の安定及び農業生産力の向上に よる担い手の経営基盤の強化を図 り、併せて遊休農地の拡大抑制のた め、継続して取り組む。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
11403 青年就農給付金事 業	人・農地プランに位置づけられている (又は位置づけられると見込まれる)原則 50歳未満の認定新規就農者等につい て年間最大150万円(夫婦での共同申 請の場合は最大225万円、平成27年度 以降の新規給付対象者から前年の所得 に応じて給付額を変動)を給付。	認定新規就農 者数	0件	1,500	1,500	就農の相談は数件あったものの、新	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 農業者の減少、耕作放棄地の増加な ど農業を取り巻く環境は依然として厳 しいことから、意欲のある担い手の確	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	規の就農には至らなかった。 現在、当該給付事業に関しての該	保は必要。	
農林水産課	※最長5年間給付。市町村等が適切な 就農をしていないと判断した場合は打ち 切り。経営開始後の前年の総所得が350 万円以上ある場合は給付しない。独立し ない単なる親元就農者は含まない。	2件	1件	_	継続	当者がなく、新規就農支援事業の周知と併せて相談体制の充実が必要。	令和4年度から従前の農業次世代人 材投資事業にかわり新規就農者育成 総合対策事業が新設される。制度の 周知と併せ新規就農者の確保、育成 に取り組む	

#### ⑤ 有害鳥獣被害防止対策の推進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11501 有害獣被害防止対 策事業	3戸以上の受益者を対象として、農地等に対し防護柵を設置する(物理柵・電気柵)。	物理柵設置延 長	13箇所 3,650m(電 気柵) 660m(ワイ ヤーメッシュ 柵)	700	626	国の補助要件を緩和した市単独事業により水際対策が図られた。 (国の要件:受益者数3戸以上である耕作地)	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 被害防止のための捕獲を継続すると
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		ともに、生息域や被害が拡大する中、 水際対策の重要性から継続した事業
農林水産課	作。电文(作)。	1箇所 450m	13箇所 4,028m(電 気柵) 100m(ワイ ヤーメッシュ 柵)	0	継続		実施が望まれる。 また、国に対して要件緩和の要望も 引き続き行う。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11502 有害鳥獣捕獲事業		捕獲頭数	4,168頭	20,292		猟友会会員の高齢化に伴い、捕獲	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 農作物被害に加え、近年では生息域 の拡大に伴い、市民の生活を脅かす 有害鳥獣に対し、駆除を強化する必
	猟銃及び箱わな等により、有害鳥獣 の捕獲を実施し、農林産物等の被	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	体制の維持確保が難しい状況にはあるが、目標数値以上の捕獲を記録	要があり、県の強化対策を活用し、捕獲に対する報償費を増額するなど、
農林水産課	害の低減を図る。	4,000頭	5,186頭	0		し、一定以上の成果を上げているも のと考える。	捕獲意欲の向上を持って有害鳥獣 対策を強化する。 また、継続して新規資格取得の支援 を行い、捕獲体制の維持強化を図 る。

#### ⑥ 農業資源の活用の促進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
11601 地域間交流事業	地域資源を活用した農業体験を行える市民農園の維持管理 (60㎡~80㎡、39区画を貸し出す。)	市民農園利用区画数	39区画	768		今年度は市民農園全区画が利用され、また空き区画待ちが4人となった。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		設備が古いものもあるので、買い替え
農林水産課		39区画 (全39区画)	38区画	0		また、市民農園内の椅子、テーブルなど設備が古いものもある。	設備が古いものもあるので、買い替え を検討するなど適切な管理に努めた い。

## R4事業

				関係課	農林水產	<b>産課</b>				
1	施策名	1	地域の宝を活かしたにぎわいのあるまち	づくり						
1.	旭水石	2	漁業の振興							
			参考指標名	首初数值(計画策定	*/ // // // // // // // // // // // // /	目標数値(R4)				
	施策の達成状況を把握	指標1	外来漁船の年間水揚高	23,897t <u>93.28億円</u>	14,904t 66.16億円	30,000t 100.00 <u>億円</u>				
2.	2. おるための参考指標	指標2	魚介類水揚高	25,228t 112.80億円	15,147t 87.19億円	35,000t 120.00億円				
		指標3	新規漁業就業者数	1人	0人	2人				
		1)	漁業環境の整備と利用計画の策定							
		2	持続可能な漁業体制の確立							
2	施策の展開一覧	3	漁港の整備と近代化の推進							
٥.	他水り	4	水産物の高付加価値化と販路の拡大							
		5	漁業経営の安定化と担い手の確保・育成							
		6	つくり育てる漁業の推進							
4.	一%冠怎公用	から、外整備を積	の水揚げの多くは外来船によるものであり 来船誘致のための船籍地訪問の実施のほる 責極的に支援するとともに、担い手の確保の との更なる振興を図ること。	か、目標数値の達成	に向けた取組を進めること。また	こ、漁港の機能保全や施設				

#### ① 漁業環境の整備と利用計画の策定

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
12102 漁港施設用地等利 用計画策定事業	市内7漁港にかかる漁港施設用地 等利用計画を策定、または、見直し 修正について、業務委託により実施	計画策定なし (計画策定に 向けた漁協等 との調整)		0	· ·	本年度は鵜原漁港土地利用計画を策定。今後は新勝浦市漁業協同	□前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		漁港施設の有効利用を図るため、継ばして事業を保持しているが悪いな
農林水産課	する。			_		× C. & > C \ O0	続して事業を実施していく必要がある。

#### ② 持続可能な漁業体制の確立

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
12201 漁協合併促進事業	勝浦市漁業協同組合合併協議会が 取り組む両漁協の合併協議を支援 し、漁協経営の合理化、経営基盤の 安定化を図り、将来的に生き残るこ とのできる組合設立を目指す。	合併協議一時 中断している ため、評価は 困難		0	0	現時点では協議は中止しているが 組合員の高齢化の現象により、勝浦 漁協・新勝浦漁協とも少なからず衰 退の様子がうかがえる。 地域水産業の持続性を確保するた	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	めには漁協の運営基盤強化は必要 不可欠となる。	漁協の合併にあたっては、両漁協と
農林水産課				×	継続		も課題が多いため、課題解決の取組や見通しの把握が必要となる。

#### ③ 漁港の整備と近代化の推進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
12302 漁業標識灯維持管 理事業		漁業標識灯の 維持管理が起 因した事故件 数	0件	150	150	本事業を実施したことにより事故の	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	発生が無く、漁業者の安全が図れ	沿岸小型漁船の操業及び航行の 安全確保を図るためにも今後も必要 である。	
農林水産課		0件	0件	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
12305 水産基盤施設ストッ クマネジメント事業	機能保全計画に基づき機能保全工事を実施し、漁港の長寿命化図る。 漁協分担金:	事業実施漁港数	2漁港	39,000	7,430	て細により車業中株に云されいこと。	本事業は市が管理する市営7漁港 を、予防保全することにより突発的な 負担リスクの軽減が図れるため継続し	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
農林水産課	(事業費-国庫補助金)の60%	2漁港(勝浦東 部·松部漁港)	2漁港	Δ		が多く、千葉県に技術的な相談や指名業者へのヒヤリングを実施し、次年度発注に向けて準備を行った。		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
12306 水産物流通機能高 度化対策事業(勝 浦漁港)	<ul><li>質・衛生管理の高度化を備えた施設の整備を実施する。</li><li>事業費内訳(国50%・地元50%)</li><li>県・市補助率</li></ul>	施設整備検討 会・作業部会 の開催数	1回実施	59,780	ŕ	令和2年度から4カ年の計画事業であり、令和4年度は荷さばき所北側	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	である勝用思密の機能強化が地	4年計画の事業であり、費用も莫大である。市負担はもとより、事業主体に	
農林水産課	1年目 県·市:事業費10/100以内 2年目以降 県:事業費10/100以内 市:事業費12/100以内	2回	1回実施	0	継続	域水産業全体に波及することが予想 されるため引き続き事業の支援を行 う。	対する支援の予算確保が必要となる。	

#### ③ 漁港の整備と近代化の推進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
	新勝浦市漁協及び勝浦漁協における漁業の構造改善を促進し、水産物	事業実施件数	0件	0	0	本年度は漁協からの事業要望が	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	の流通の合理化を図る。 事業費内訳	目標数値	前年度結果	達成度			本市の基盤産業であり、担い手不足の中、漁業の構造改革をしていく
農林水産課	事業負担款 県:3/10 市:(事業費-県補助)の3/10	2件	0件	ĺ	継続	正しよって	ためにも今後も継続して事業を実施していく必要がある。

#### ④ 水産物の高付加価値化と販路の拡大

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
12401 外来漁船誘致対策 事業	・勝浦漁港入港外来漁船の船籍地 訪問	外来漁船の水 揚高	66.16億円	2,224		乗務員不足や局齢化の影響により、廃業も多い状況にある。	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 勝浦漁協の水揚げの多くは外来船
	・水揚優秀船の表彰(賞旗、記念品	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	例年実施している外来船の船籍地 訪問は新型コロナの影響により実施	によるものであり、本事業による経済 効果は水産業をはじめ、商工業にも
農林水産課	等) ・無料入浴券の交付			0	継続	できず、表彰については配送により実施した。	効果は水産業をはしめ、間工業にも 及んでおり、引き続き事業を継続して いく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
55201 友好都市との交流 促進	全国勝浦ネットワーク及び西東京市との友好都市盟約に基づき、文化・教育・福祉・産業交流の促進を図る。 全国勝浦ネットワーク会議(首長会議)を開	イベント交流回 数	3回	623		イベント交流については、新型コロ ナウイルス感染症の影響により一部 実施できなかったが、コロナ前の交	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	催する。 勝浦市、勝浦町、那智勝浦町、西東京市で	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	流に戻りつつある。	イベント交流を継続するとともに、全 国勝浦ネットワーク会議での取り決め
(再掲) 企画課	開催されるイベントに相互に出展し、産業交流の促進を図る。 勝浦市、勝浦町、那智勝浦町で開催される 文化芸術イベントに相互に参加することで、 文化交流の促進を図る。	5回	1回	0	継続	全国勝浦ネットワーク会議を勝浦町で開催することができ、首長同士の交流が深まった。	事業のうち、特に文化交流にについて確実に実施する必要がある。

#### ⑤ 漁業経営の安定化と担い手の確保・育成

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
12501 漁獲共済事業	漁獲共済加入者が負担する共済掛	漁船漁業(小型合併)加入者数	119人	6,700	6,216	漁獲金額が減少した場合の損失   保証であり、不漁や不慮の事故があ	▼前期実施計画(R5~R8)に計上	
	金の一部を助成する。 補助率	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ることも想定される。 特に今年度は新型コロナの影響に	減少傾向にある漁業者の経営の安	
農林水産課	共済掛金の10%以内	122人	123人	0	継続	1 10 ++1/2 # # # 18 + 18 1 2 3 3	定を図るためにも支援は必要であり、 事業を継続していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
12502 漁業近代化資金利 子補給事業	千葉県漁業近代化資金利子補給規 則に基づく資金に対し、利子補給を	融資件数	7件	168	158	漁業経営の近代化を図るため、漁 船・漁具及び水産施設等を取得する	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ための資金であり、漁業を継続・新	多くの漁業者が高齢者であり、近代 的な設備を投資することにより、金銭	
農林水産課	利子補助率 年0.5%以内	7件	6件	0	継続	規就労する場合、整備拡充を図るた	面のほかに作業の軽減にも繋がるため、事業を継続していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
12503 担い手の確保		担い手確保人 数	0人	0	0	担い手確保の手段として、例年「漁	✓前期実施計画(R5~R8)に計上	
	関係機関と連携し、漁業後継者の 確保を推進する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	本市の基幹産業である水産業を支えるうえでも担い手の確保は必要不	
農林水産課	推  木で1  走  生りる。	3人	2人	×	拡大		可欠であるため、関係機関と連携し、 幅広く新規就労者の確保に取り組み たい。	

## ⑥ つくり育てる漁業の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
	市内2漁協に対し、放流用あわび種 苗の購入費の一部を補助する。 補助率 補助対象経費の30%以内	①種苗放流量 ②漁獲量	①918kg ②14.4t	4,680		水揚げされるアワビの約2割が人 工種苗であり、漁業者の生活の安定 に大きく貢献している。	✔前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	本市漁協が希望する種苗の量に	輪採漁場も整備され、漁業資源確
農林水産課		①1,300kg ②27.8t	①821kg ②14.5t	0			保のためにも引き続き事業を継続していきたい。

## R4事業

				関係課	観光商工課∙提	<b>農林水産課</b>					
-	+/-/**** /7	1	地域の宝を活かしたにぎわいのあるまち	づくり							
1.	施策名	3	商工業の振興								
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握 するための参考指標	指標1	商店数	事業所数184 従業員数744人	事業所数168 従業員数817人	事業所数150 従業員数600人					
		指標2	商品販売額	 106.39億円	122.85億円	86.73億円					
		1)	商工業の経営基盤の強化								
		2	元気な商店街づくりの推進	<b></b> 							
2	施策の展開一覧	3	勝浦ブランド商品の開発と情報発信力の強	化							
ა.											
		<b>益士</b>	や商店会との連携のもと、商店街等活性化事	「業による新聞送シッテ	ルの構筑など新たれ東業宝坊	こめ その他の取知な検討					
4.	二次評価結果	すること	で、引き続き商工業の振興を図ること。また、 で、意欲ある事業者へ十分な支援ができるよ	空き店舗等活用起業補							
		7 WLC	く、心叭(4)/3) ず未仕・・  刀(4)人(仮)/1 くさるよ	ノ兀匹しで117〜८。							

#### ① 商工業の経営基盤の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
13102 企業立地の推進	本市の特性や豊富な地域資源、都 心からの好アクセスを活かした戦略 的な誘致活動を展開するとともに、 企業立地奨励制度や租税優遇措置	企業立地件数	0件	14	13	コロナ禍にあり、企業訪問を実施す	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	の周知により、積極的な活用を促進	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ることが出来ず、また、企業も事業活	本市の地理的状況等を踏まえ、特性	
観光商工課	し、市外からの企業誘致や市内既 存企業の事業拡張等の支援を図 る。また、企業からの相談にワンス トップでの対応に努める。	1件	0件	Δ	継続	動の自粛傾向であった。	にあった企業誘致を進める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
13103 地域総合振興事業	勝浦市商工会に対して、地域総合	商工会会員数	563人	3,100	3,100	コロナにより事業者に多大な影響を	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	振興のための支援を実施し、地域経	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	もたらしたが、商工会が実施する経 営相談や各種事業を支援することに	大きく変化する社会情勢や地域経済 情勢を適切に見極めつつ、商工会と	
観光商工課	済の活性化を図る。	550人	571人	0	継続	より、地域経済の下支えや経営支援 を行った。	の綿密な連携により地域経済の活性化に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
13104 経営近代化融資事業(中小企業資金融資制度)	市が市内金融機関に一定額を預託し、これを原資として千葉県信用保	中小企業融資 制度利用者数	新規0件	9,934	8,575	コロナ禍で、事業者への融資制度に	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
114-12	証協会の保証を受け、市内商工業 者の中小企業経営の合理化や設備	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	援制度など、コロナ対応型の融資を	引き続き、市制度融資の運用を継続 しながらも、国県の動向を見極めつ	
観光商工課	の近代化等に必要な資金を融資する。	(目標設定なし)	新規0件	_	継続	事業者が活用したため、本市制度融資の利用はなかった。	つ、事業者にとって有利な制度の利用促進に努める。	

#### ① 商工業の経営基盤の強化

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
業	創業支援事業計画に基づき、創業 相談窓口を設置し、広報紙、ホーム ページ等で積極的な創業希望者の 掘り起こしを行う。	新規創業者	2件	0		特定創業支援者である商工会主催 による創業塾が開催され、受講生か	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 商工会をはじめとする各種団体と連
	また、相談のあった創業希望者については、特定創業支援事業者であ	目標数値	前年度結果	達成度		た、創業に関する融資への利子補	携し、創業希望者の掘り起こしや相
観光商工課	る勝浦市商工会につなぐことで創業率の向上を図り、行政は創業支援施策に関する全体マネージメントを実施する。	2件	13件	0	継続	給により創業に向けた支援を行った。	談、創業塾の開催等により創業支援に努める。

#### ② 元気な商店街づくりの推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
13202 空き店舗対策事業	商店街等の空き店舗を活用しての	新規創業者	2人	1,000	725	令和3年度から空き店舗等活用起業	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 補助金を活用した支援を続ける一	
	起業・創業の支援及び商店等事業 者の事業承継支援対策を検討す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	した事業展開を支援した。空き店舗 ではあるものの住宅兼用の物件が多	方、商工会と連携し、起業希望者と物件の円滑なマッチングに努める。ま	
観光商工課	వ <u>ె</u> .	2人	3人	0	継続	ではめるものの任毛兼用の物件が多く、円滑なマッチングが課題である。	た、補助金上限額について増額の要望があるため、今後検討していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
13203 商店街等活性化事 業	・勝浦市商工会に対し、商店街等活	商工会会員数	563人	5,550	5,550	(商工会補助分) ・コロナ禍での大規模なイベント企画の開催が難しいなか、地域住民に足を運んでもらい、親しみある商店街	販売機会の創出による商店街の活性	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	企画を実施した。	化を図る。	
観光商工課	性化のための支援を実施し、各商店 街の活性化を図る。	550人	571人	0	継続	(商店街にぎわい創出事業分) ・新配送システムの構築・・・オンライン注文及び共同配送・ドローン配送により地域に密着した販売促進を図る。また、災害対応等ドローンの他目的利用モデルの調査開発も行った。 ・人流分析・・・市内の人流を分析し、事業の効果検証を行った。	・令和4年度に整備したECモール及びドローン配送ルートについて、令和5年度は更なる利用促進のため、取扱商品数、協力店舗の増加を図る。また、サービスや使いやすさの改善を進めるとともに、広報活動を実施することで幅広い年齢層の利用を促す。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
13204 商店街組織強化事業	各商店街に対し、継続して補助金を	商工会会員数	563人	130	90	イベントを通じて、会員相互の協力関係が深まったことから組織としての	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	交付することで、商店街の組織強化	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	短化につなかつに。一万、ユロノ侗	自に行う事業に対し、補助金を交付	
観光商工課	を図る。	550人	571人	0	継続	のため、一部事業が実施できなかった。	し、商店街の組織強化につながる取 組を支援する。	

#### ③ 勝浦ブランド商品の開発と情報発信力の強化

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
13301 特産品調査開発事 業	漁業者、漁協、鮮魚商、行政が協力	イベントへの参 加数	10	100		かつうらビッグひな祭りの期間中である令和5年2月25日(土)に潮風公園において、「勝浦特産品フェア」を	図前期実施計画(R5~R8)に計上 関係団体と一体となって勝浦釣り第
	して、マカジキ、キンメダイ、カツオ、 アワビ等の水産物PR活動を実施す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	開催した。 勝浦釣り寒マカジキの寿司とキンメ	マカジキのブランド化を目指す。
農林水産課	る。	1回	0回	0	<b>◊</b> Νν <b>◊±</b> ÷	汁を無料配布し、勝浦産水産物の	水産業だけではなく、農林業・商工・ 観光業とも連携を図り、勝浦ブランド を発信していきたい。

# R4事業

				関係課	観光商品	工課					
1	施策名	1	地域の宝を活かしたにぎわいのあるまち	づくり							
1.	<b>旭</b> 來石	4	観光の振興								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	観光入込客数	112.0万人	51.9万人	123.2万人					
۷.	するための参考指標	指標2	イベントの年間来場者数	27.6万人	13.3万人	30.3万人					
		指標3	朝市への観光入込客数 16.4万人 5.3万人 18.0万人								
		① 魅力的な観光地の基盤づくりと受入体制の強化									
		② イベント活動の充実と魅力の向上									
2	施策の展開一覧	③ 伝統ある朝市の活性化									
٥.	ル水の水州 見	4	観光プロモーション力の強化								
		海水浴場	易の開設や「かつうら若潮祭り」、「かつうらビ	ッグひな祭り」の開催な	ビ「観光基本計画」に掲げる事	写業の効果的な実施や、海 「実施や、海」					
4.	二次評価結果	中公園のシェ」、歴	の周辺整備など、観光協会と連携しながら観を史ある勝浦朝市など、関係者が連携してよ	光人込客の増加に努めり良い開催方法などを	ること。また、「かつうら朝空へ 食討することで、各種事業の相	ァーケット」や「朝空マル 目乗効果を図ること。					

#### ① 魅力的な観光地の基盤づくりと受入体制の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14101 観光案内板等設置 事業	案内看板設置、既存案内看板修繕	観光入込客数	519千人	15,024	14,751	かつうら海中公園滞在型観光施設建設に伴い、周辺に案内看板を設	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 観光周遊促進事業として計上し、市	
	及び自動車利用の観光客に対応し た観光マップを適宜修正し作成す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	超光宏内看板を改修1 古外にも知	内外において、観光案内看板の適正	
観光商工課	る。	990千人	327千人	0	継続	光看板を設置することにより、誘客の 促進を図った。	な維持管理に努め、観光誘客の促進 を図る。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14102 海水浴場整備事業	安全で明るい楽しい海水浴場を継続して開設する。 ・4海水浴場に遊泳区域界(ブイ・ロープ・いかり・旗等)の設置。 ・鵜原を除く各海水浴場に監視所(電話・水	海水浴入込客 数	100,555人	31,769	29,492	コロナ禍にあり、3年ぶりの開設となった。期間中ライフセーバーのコロ	✓前期実施計画(R5~R8)に計上	
	道設置)、ガードマンボックスを設置。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		ライフセーバーの人材確保に努めつ つ、海水浴場ごとの特長を活かした	
観光商工課	・4海水浴場に仮設トイレ、臨時電話、ゴミ箱等、監視台、照明放送設備を設置。 ・清掃人及びライフセーバーを配置。 ※勝浦市観光協会に対し、海水浴場開設業務の委託を実施。	217,000人	0人	Δ	継続	な運営ができた。ライフセーバーの 人材確保が大きな課題である。	差別化を進め、安全・安心な海水浴場の運営を図る。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14103 体験型観光提供事 業	観光事業者や農林水産業関係者等	観光入込客数	519千人	0	0	体験型観光は顧客満足度の向上に	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	の各種団体に対して、体験型観光	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	かながることから、地域特性を活かし	観光コンテンツ造成事業として計上し、多様化する観光ニーズに対応し	
観光商工課	を推進する。	990千人	327千人	Δ	継続	たコンテンツづくりが重要である。	つつ地域資源を活用した体験型観光を推進する。	

#### ① 魅力的な観光地の基盤づくりと受入体制の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14105 ボランティア育成事 業	観光ボランティア及びイベントボラン	イベントボラン ティア登録数	0名	0	0	まち歩き観光ガイドによる観光案内	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 観光地域づくり推進事業として、計上	
	ティアの参加登録数の増やボラン	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	が行われた一方、イベントボランティ アについては運用方法も含めた制	した。まち歩き観光ガイドの充実を図る一	
観光商工課	ティアスタッフの育成を図る。	15名	6名	Δ	継続	度の見直しが必要である。	まら歩き観光ガイトの光美を図る一 方、イベントボランティアについては、 見直しを図る。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14114 インバウンド観光事 業	国で定める広域観光周遊ルート形成計画を踏まえ、海外からの旅行客に対し、 多言語による観光看板の設置や観光ガイドブックの作成、観光アプリ等の情報	外国人入込客 数	0.3千人	0	0	コロナ禍による水際対策の強化など	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 訪日教育旅行の受入をはじめ、イン バウンド回復に向けた取組を推進す	
	媒体の整備を行い、観光情報の提供体 制を構築する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	により、訪日客が減少していたが、今 後のインバウンド回復に向けた取組		
観光商工課	また、訪日教育旅行の受け入れを支援することで、国際的な相互理解を増進させ、地域で外国人旅行者を受け入れる機運の醸成を図る。	2千人	0.02千人	×	継続	が必要である。	パワンド回復に同けた取組を推進する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14115 観光まちづくりコン ソーシアム事業	観光事業の推進にあたって、各分 野各業種のニーズ及び課題等の情報を一元化することにより、市内経	観光入込客数	519千人	18,960	18,960	  登録DMOである勝浦市観光協会を	□前期実施計画(R5~R8)に計上	
	済の活性化、雇用促進にむけた事	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	中心に、情報の一元化を図り、HPの 充実やSNSを活用した情報発信や	観光地域づくり推進事業として計上 し、関係団体と連携した魅力ある観光	
観光商工課	業を展開する「かつうら観光まちづく りコンソーシアム」に対し、事業実施 及び運営のための費用を負担する。	990千人	327千人	0	継続	観光案内を行った。	也づくりを推進する。	

#### ① 魅力的な観光地の基盤づくりと受入体制の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
14116 観光基本計画の策 定	【令和2年度】 現行観光基本計画の総括として、計 画の検証および評価を行う。 【令和3年度】	観光入込客数	519千人	0	0		□前期実施計画(R5~R8)に計上
	現行観光基本計画の総括を踏ま え、新たな(仮称)観光基本計画を	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き、観光基本計画に基づき、
観光商工課	策定する。 【令和4年度】 計画に基づく関連事業の推進を図る。	990千人	327千人	0	継続	A1-21 - C ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	関連事業を実施する。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
14117 (仮称)かつうら海中公園再生計画事業	施設の東側に位置する無料休憩施 設を店舗及び温浴施設として再整	観光入込客数	519千人	244,218		魅力的な観光地の基盤づくりの強化 を図り、観光産業、農林水産業等の	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	備するための基本設計を作成する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	振興に資するため、滞在型観光施	引き続き、滞在型観光施設を指定管理者による管理運営を実施するととも
観光商工課	【令和3年度】 基本設計を基にした実施設計を作成し、施設整備を図る。	990千人	306千人	0		設を建設し、指定管理者による管理 運営を実施した。	度者による官理運営を美施 9 るととも に、海中公園周辺の整備を行う。

#### ② イベント活動の充実と魅力の向上

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14201 「かつうらビッグひな 祭り」開催事業	商工業の活性化や観光客誘致によ る地域の活性化のため、実行委員	かつうらビッグ ひな祭り入込客 数	130,222人	4,500	4,500	コロナ禍により3年間中止となってい たが、4年ぶりに開催した。コロナ前	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	る地域の活性化のため、実行委員 会に対し、イベントの実施に必要な	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	と同水準の入込があったものの、準備や運営に関わるボランティアスタッフ等が不足しており、開催方法の見直しが必要である。	人手不足のなか、事業継続に向けた 開催方法の検討を進め、適正規模で	
観光商工課	経費の補助を行う。	160,000人	開催中止	0	継続		開催力伝の検討を進め、適正規模で の開催を目指す。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14202 「かつうら若潮まつ り」開催事業	夏季期間中の観光客の誘客や地域 の産業振興による地域の活性化を	若潮まつり花火 大会入込客数	2,700人	650	600	コロナ禍のため、開催規模の縮小と	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、実施主体であるかつうら若 潮まつり実行委員会及び勝浦市観光	
	図るため、実行委員会に対し、花火	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	回数の分散など、従来とは異なる開		
観光商工課	大会を中心としたイベントの実施に 必要な経費の補助を行う。	45,000人	開催中止	0	継続	催方法を導入して実施された。	協会において、開催方法等を検討する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
14204 「かつうら朝空マー ケット」開催事業	朝市や商店街などの地域資源を活用し、多様な主体が連携した持続可	開催回数	12回	3,300	2,769	同時開催の朝空マルシェとの相乗	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		月1回の開催が定着し、認知されてきたので、今後、継続していくための企	
観光商工課	能なイベントの実施に必要な経費の 補助を行う。	12回 (月1回開催)	8回	0	継続	た。	画等や事務経費の見直しを行い、事業の充実を図る。	

#### ③ 伝統ある朝市の活性化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
14301 朝市活性化事業	・朝市文化の継承と発展に係る取組	朝市入込客数	53,037人	4,796	.,	歴史ある勝浦朝市の活性化を図るため、かつうら朝市の会と連携し、出店 者及び来訪者の増加につながるよう	
	みを実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	各種取組を実施した。また、地域おこしぬ力隊を委嘱し、朝市活性化に	引き続き、かつうら朝市の会を中心に
観光商工課		10万人	46,633人	0	继结	向けた支援を行った。 出店者及び来訪者の増加が課題である。	朝市活性化を図る。

#### ④ 観光プロモーション力の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
14401 観光協会組織強化 事業	各種団体の観光協会加入について	観光入込客数	519千人	5,600	5,600		▼前期実施計画(R5~R8)に計上 地域DMOである勝浦市観光協会の
	推進する。 コンソーシアム事業や地域DMOの 設立に向けた支援を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 となっている。 というとはいる。 といるとは、 といるとはな。 といるとはな。 といる。 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、	組織強化を図り、観光関連事業者と
観光商工課		990千人	327千人	0	継続		連携したオール勝浦での観光振興体制づくりを進める。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
14402 観光宣伝事業	初夏の観光キャラバン(都内及び東京近郊に住む住民を対象に夏季期間の観光客の誘客)、秋の観光キャラバン(西東京市市民まつりに参	観光入込客数	519千人	7,529	6,584	   観光PRイベントへの出展や観光パ	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	加)、観光パンフレット印刷、イン	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ンフレットの印刷配布したほか、観光 情報を勝浦市観光協会HPへ集約	観光客の情報収集方法が変化していることから、観光プロモーションのあり
観光商工課	ターネットの活用、新聞雑誌等への 広告掲載、外房観光連盟及び千葉 県観光協会等と連携したPR活動、 各種イベントにおけるPR活動を実 施する。	990千人	327千人	Δ		し、情報発信の充実・一元化を図っ	方を検討し、情報発信の充実に努める。

# R4事業

				関係課	観光商品	工課					
-1	+/-/**** /7	1	地域の宝を活かしたにぎわいのあるまち	づくり							
1.	施策名	5	産業連携による交流のまちづくりの推進								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	寺) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握 するための参考指標	指標1	移住希望者に対する情報提供(相談)件数	144件	409件	150件					
		1	産業連携の仕組みづくり			評価事業なし					
		② 移住・定住の促進									
2	佐笠の昆胆・膨										
3.	施策の展開一覧										
		「百冶〕	く、冬暖かい」勝浦として注目を集めるなか、	投行条切去からの担	<b>沙仏粉は日搏な七幅に上同</b> り	古内への移住ーーブが亨					
4.	二次評価結果	まってき	ている。引き続き観光施策などとの連携によ 生を図るなど、市内産業と連携したまちづくり	る交流人口の増加や	、空き家活用の推進により移住	者の希望に合った住宅の					
		1/16,100 1/07.1	<u> </u>	マン1円年で区でして。							

#### ② 移住・定住の促進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
15201 移住·定住促進事 業	魅力や市内事業者等の求人情報な	移住希望者に 対する情報提供 (相談)件数	409件	478	128		▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	ど移住・定住促進に向けた情報を発信する。空き家バンク制度を活用	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ホームページを通じて情報発信を し、移住推進に寄与した。	ホームページの情報からの問合せも 多くあり、地方暮らしへの関心が高い
観光商工課	信する。空き家パンク制度を活用し、空き家情報を提供するとともに、空き家活用奨励金の交付により、空き家の活用を促進する。	150件	254件	0	継続		ため、ホームページの内容を充実させていく。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
15202 若者等定住促進事 業	「住宅の取得」及び「賃貸住宅へ入居」した	①住宅取得奨 励金 ②賃貸住宅入 居奨励金	①12件 ②3件 ③18件	21,000	19,200		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	(中学生以下の子ども1人につき50,000円を加算)	目標数値	前年度結果	達成度		R3年度よりも大きく件数が伸び、移	<b>めた</b> 然の士伝についても検討すると
観光商工課	②若者等賃貸住宅入居奨励金 1世帯につき100,000円 (転入世帯の場合は100,000円を加算) ③移住支援事業(地方創生交付金事業) 1世帯につき1,000,000円(23区内在住か在 勤者の移住の場合に限る。単身は600,000 円)	①8件 ②4件	①4件 ②0件 ③6件	0	継続	住及び定住の促進に効果があった。	移住後の支援についても検討する必要がある。

# R4事業

				関係課	福祉課・市	ī民課						
1	施策名	2	支えあい安心して暮らせるまちづくり									
1.	<b>ル</b> 東石	1	保健・医療体制の充実									
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)						
		指標1	人間ドック受診者数	128名	157名	150名						
		指標2	特定健康診査受診率	25.6%	34.9%	30.0%						
2	施策の達成状況を把握	************************************		82.2%	95.7%	100.0%						
۷.	するための参考指標	指標4	3歳児健康診査受診率	84.5%	88.5%	100.0%						
		指標5	5歳児発達相談参加率	94.1%	98.2%	100.0%						
		指標6 がん検診受診率		18.5%	14.0%	30.0%						
		指標7	健康ハツラツ教室開催回数(講義数)	1回(17回)	2回(10回)	1回(17回)						
		1)	保健・医療サービスの充実									
3.	施策の展開一覧	2	健康づくり活動の推進									
		③ 国民健康保険制度の適切な運営										
4.	二次評価結果	各種健康診査の数値は、概ね当初数値を上回り目標の達成に向けた取組の成果が見られるが、がん検診については健診対象の把握や受診促進のための施策を検討するなど、引き続き各種検診の受診率等の向上を図ること。また、生活習慣病の予防なための健康教育事業として、健康ハツラツ教室の参加者が少ないことから、その開催方法のあり方を検討するほか、目的達成の他の事業手法等についても検討すること。										

#### ① 保健・医療サービスの充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
21101 母子保健事業	異常の早期発見、早期対応、相談窓口の提供、母子の交流や仲間作りを目的に各種相談、健診、教室等を展開する。 【乳幼児家庭全戸訪問】	1歳6ヵ月健診受 診率	95.7%	10,224	8,927		☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き感染対策を講じ各種健診を
	【妊婦乳児一般健診】	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	新型コロナウイルス感染症対策を講 じ、各種健診等を実施した。	実施する。また、保育所等と連携し、 未受診者への受診勧奨を徹底する。
福祉課	【1.6歳・3歳健診】 【フッ化物歯面塗布事業】 【5歳児の発達相談事業】 【産後ケア事業】	90%	96.4%	0	継続	JON LI IEVERS I, ESTABLETE	産後ケア事業については、利用期間 の拡充を検討し、子育て支援の充実 を図る。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
21102 健康診査の実施	健康増進法に基づき、特定健康診	成人健診受診 率	15.7%	1,681	484	促し市民の重症化予防を図った。 コロナウイルスによる生活の変化で 悪化しがちな栄養・運動などの生活	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 コロナウイルスによる受診控えはある ものの、検診による病気の早期発見、
	査と同等の健康診査及び肝炎ウィ ルス検査、歯周疾患検診を実施す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		治療につなげる取り組みは大事であると考えるため、受診勧奨を継続して
市民課	る。	30%	15.9%	Δ	継続	指導の他、医療機関へ罹患すること による適切な治療と結びつけること で健康への意識の向上を促す事が できた。	行う。 検診会場では消毒・換気・健康チェック等を行い感染予防対策を今後も実施していく。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
21103 がん検診の実施	各種がん検診による早期発見から、生活習慣の見直しや改善による健康づくりに取り組んでいくため、それを支援する環境を整備する。	がん検診平均 受診率	14.0%	19,460	15,012	乳14%、子宮10.4%、胃3.8%,大腸9.8%、肺7.9.%で目標値には達していない。新型コロナウイルスの感染拡大により受診控えが見られた。 健診対象者を正確に把握できていない	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 コロナウイルスによる受診控えはあるもの の検診による病気の早期発見、治療につ なげる取り組みは大事であると考えるた
	【乳がん検診】	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ため受診率が低い。対象者の中で職場	め、受診勧奨を継続して行う。 検診会場では消毒・換気・健康チェック等
市民課	【子宮がん検診】 【胃がん検診】 【大腸がん検診】 【肺がん検診】	30%	11.1%	Δ		健診や人間ドックなどで同等の健診を受けている者もいるため、受診意向調査を行い受診状況が確認できれば、受診増加への対策を講ずることができると考えられる。	を行い感染予防対策を今後も実施していく。 令和3年度より胃がん検診の内視鏡検査 を開始した。他の健診も個別検診での実施をすすめる。

### ① 保健・医療サービスの充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21105 短期人間ドック助成 事業	・勝浦市の国民健康保険加入期間が継続して1年以上 ・年齢が満35歳以上 ・利用申請時に納期の到来している国	申請件数	157件	8,619	7,736	病気の早期発見、早期治療など被保険者の健康管理に資するもので	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	民健康保険税の完納世帯 ・短期人間ドックを利用した後、1年以上	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	あり、特定健診のみなし健診としても	被保険者への周知を図り、利用者を増加させることで特定健診受診率の	
市民課	を経過している者 上記の者に対して、申請があった場合 利用費用の7割、70,000円を限度に助 成する。	150件	162件	0	継続		向上に寄与していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21106 特定健康診査等事 業	・勝浦市国民健康保険被保険者の 内、40歳以上75歳未満の者	受診率	34.9% (1,244人/全 3,563人)	19,654	12,257	新型コロナウイルスの感染拡大により集団検診の受診者数は減少した。 しかしながら、医療機関における個	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	・当該年度に短期人間ドック助成事	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	別検診実施や職場での健診結果を 提出していただくことで、減少割合を	新型コロナウイルス感染防止対策の 徹底とともに、個別医療機関での検	
市民課	業を利用していない者	30.00%	31.5% (1,202人/全 3,814人)	0	継続	低く抑えられた。 すでに治療中の方の受診する機会 を拡大する必要があると考える。	診をすすめ、受診者の利便性向上と 感染防止の両立を図り実施していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21107 高齢者短期人間 ドック助成事業	・千葉県後期高齢者医療保険被保険者である者 ・当該年度に短期人間ドックの助成を受けて いない者	申請件数	43件	2,080	1,969		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	・現に医師の治療を受けていないもの又は治療を受けているが短期人間ドックの受検に支	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	病気の早期発見、早期治療など被 保険者の健康管理に資するもので	<b>  </b>	
市民課	障のない者 ・当該年度に高齢者医療確保法第125条第 1項に規定する健康診査を受診していない 者 上記の者に対して、申請があった場合利用 費用の7割、70,000円を限度に助成する。	30件	40件	0	継続	あるため引き続き実施していく。	広報などを利用して事業の周知をしていく。	

#### ① 保健・医療サービスの充実

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
21108 不妊治療費助成事 業	不妊治療を実施している43歳未満 の女性に対し、対象医療費総額から	申請者数	2件	500	47	市ホームページや広報等での周知 を実施し、対象者からの電話や窓口 相談において申請に応じ、助成を 行った。また、保健所からの案内によ	
	県の助成額を差し引いた額の2分の	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		軽減されるよう助成を継続する。ま
福祉課	1を助成対象額として(上限100,000円)、年1回の助成を実施する。	(目標設定なし)	3件	0	継続	不妊治療は複数回実施する方も	た、ホームページや広報等で周知の他、保健所や医療機関への周知に努める。

#### ② 健康づくり活動の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21201 健康教育事業	中高年層の者に運動習慣を定着させることにより、生活習慣病の予防に併せて、寝たきりや認知症などの要介護状態にならないよう、身体機	健康ハツラツ フィットネス教室 参加者数	23人(延べ 106人)	325	104	40歳以上の市民にポピュレーション	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	能の維持及び向上を図る。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	の健康づくりとして実施しているが参 加者が少ない。教室終了後のサーク	参加者が少ないため内容及び周知	
市民課	国際武道大学と連携し、対象者が自主的に望ましい生活習慣を実践、継続することにより、QOLの向上のための支援を行う。	30人	休止	0	継続	ル活動への申込みは多い。	方法を見直していく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21202 健康に関する相談 窓口の充実		総合・重点参加 者延べ人数	193人	0		動機付け支援対象89人中初回面接 58名、評価者50名実施できた。生活 習慣病・糖尿病性腎症予防につい		
	保健師等の専門家による健康相談 体制の充実を図る。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ても受診勧奨、保健指導を実施する	保健師等の相談・指導への参加率向	
市民課	(한한 한 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전	(目標設定なし)	105人	0		ことができた。 今後は、全数実施できるよう実施内 容を検討する。	上を目指し周知を図っていく。	

#### ③ 国民健康保険制度の適切な運営

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21301 国民健康保険啓発 (運用適正化)事業	冊子・リーフレット等を配布する。(年2回実施の予定) 内容:保険証発送時に国民健康保険制度の 内容周知及び本算定後の納税通知書発送	リーフレット発行 部数	5,000部	226	224	国保加入者を対象に制度の周知に	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	時における国民健康保険税の内容周知 部数:国保加入世帯数	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ついて一定の成果があったと考え	引き続き広報掲載や事業周知に努め	
市民課	広報掲載:国保の財政状況、短期人間ドック 助成事業などを掲載予定、また、毎月掲載 予定の全市民を対象とした保健だよりを活用 予定	5,000部	5,500部	0	継続	వే. -	<b>る。</b>	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
21304 診療報酬明細書点 検事業		委託件数	63,135件	1,320	583	保険者によるレセプトの二次点検と	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	レセプト点検 業務委託料 年間6回	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	して医療費の適正化に一定の成果	医療費適正化に有効な手段の一つ	
市民課	大幼女化行 <b>平</b> 周0回	73,000件	63,138件	0	継続	があった。	であることから、今後も引き続き点検の充実に努めていく。	

# R4事業

				関係課	福祉課•企画課	•学校教育課					
_	+1-15ts &7	2	支えあい安心して暮らせるまちづくり								
1.	施策名	2	子育て支援・児童福祉の充実								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
0	施策の達成状況を把握	指標1	放課後児童健全育成事業(放課後ルーム)利用児童数	197人	170人	200人					
2.	するための参考指標	指標2	 育児相談件数	169件	59人	250件					
		指標3									
		1	子育て支援の充実								
3.	施策の展開一覧	3	③ 健全な子どもの育成支援の充実								
4.		「放課後児童健全育成事業については、引き続き保護者の希望に対する受け入れができるよう体制づくりに努めるとともに、保護者ニーズに対する効果的な運営方法について検討すること。また、子育て支援相談窓口事業等の充実を図り、育児相談をしやすい環づくりに努めるとともに、保育時間の延長など各種の保育事業を充実させるなど、より一層の子育て支援を図ること。									

#### ① 子育て支援の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22101 保育所等地域活動 事業	在園児(入所前児童も含む。)の保	相談対応率	100%	0	0	新型コロナウイルスの影響により保 育所等における保護者全体に対し ての育児講座等は実施できなかった が、保護者への個別相談に応じるこ	□前期実施計画(R5~R8)に計上	
	護者を対象とした育児講座等を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	とで育児に対する不安や悩みの解	事業内容の周知広報に努め、利用者の拡大の地域になった事業実施に努	
福祉課	実施保育所:市内保育所・こども園	100%	100%	0	継続	消、精神的負担の軽減を図った。 地域と児童に関わる他の関係機関と の連携について今後検討する必要 がある。	の拡大や地域にあった事業実施に努めていく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22102 子育て支援相談窓 口事業		研修開催回数	1回	30	10	対する研修を実施し、不適止保育の 根絶を図った。 引き続き研修を実施し、職員の不適	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	研修会の開催:年1回 対象:全保育士及び保育所調理員	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		今後も引き続き研修を継続し、保育	
福祉課	<b>刈家: 至休月工及○休月別調理貝</b>	1回	0回	0	継続	切休育に対する息戦等の展成を図 る必要がある。	士の資質向上に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22103 つどいの広場事業	【事業内容】 1. 子育て親子の交流、集いの場の	相談受付件数	58件	632	466	利用者の低年齢化を踏まえ、内容を	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	提供 2. 子育てに関する相談、援助の実	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		子育で中の家族が安心して利用し、	
福祉課	2. 予育でに関する相談、援助の美施 3. 地域の子育て関連情報の提供	(目標設定なし)	39件	0	継続	つどいの広場の機能の充実を図りつつ、関係機関や子育て支援者との連携についての検討を行う。	育ち合える事業の一層の充実に努めていく。	

#### ① 子育て支援の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22104 児童手当支給事業	子育て世帯の経済的負担の軽減を図る ため、児童手当を支給する。 【月額】	法定受託事務 のため評価が 困難		139,398	136,142	児童を養育する家庭に経済的支援 をすることができた。 引き続き、受給資格者の把握を的	図前期実施計画(R5~R8)に計上 国の制度であり自治体にできることは	
	3歳未満の児童1人につき15,000円、3 歳以上小学校修了前児童(第1・2子)	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	確に行い、出生、転入などの手続き の後に申請漏れがないように、関係	限られているが、児童の健全な育成 のため手当を支給することで生活の	
福祉課	10,000円、(第3子)15,000円、中学生月 額10,000円、所得制限超過者児童1人 につき5,000円			0	継続	部署、関係自治体と連携を図り、対象者が不利益とならないように適正・ 迅速な事務処理を行う必要がある。	安定を図り、児童手当法に基づき適正に事業継続していくことが必要である。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22105 子ども医療費助成 事業	【対象者】 0歳から高校修了までの児童の入 院、通院などの健康保険適用分医	助成件数: (目標設定なし)	6,002件	32,430	30,464	高校生相当まで対象を拡大したこと により実績を伸ばすことができた。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	療費の自己負担分について助成す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ただし、高校生相当においては償還	今後も本事業を継続し、子育て支援	
福祉課	る。 ※給付方法は現物給付及び償還払い方式	(目標設定なし)	6,289件	0	継続	払いであることから、令和5年度から 現物給付とする。	体制の充実に努めていく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22107 子ども・子育て支援 事業	子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児期の教育や保育、地域子ども・子育て支援事業に係る需要の見	計画事業実施 率	100%	0	0	<b>促雑者・一づか豆畑』を計画に外っ</b>	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	込み、提供体制の確保の内容及び	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	保護者ニーズを反映した計画に沿っ た事業実施を推進することで、子育	今後も子ども・子育て支援事業計画 に沿って、地域の実情に応じた保育	
福祉課	実施時期の一体的な提供を含む子ども・子育て支援の推進方策等につき、給付や事業を実施する。	100%	100%	0	継続	て支援の充実を図った。	の基盤整備や各種子育て支援事業を推進する。	

#### ① 子育て支援の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22108 子ども・子育て会議 の開催	子ども・子育て支援事業計画の策	会議回数	1回	140	45	新型コロナウイルス感染症の影響に	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	定、変更、見直し等について、子育て当事者としての意見を反映させる	目標数値	前年度結果	達成度		より子ども・子育て会議の開催は1回	子ども・子育て支援事業計画の進行 管理や計画の変更などについて適宜	
福祉課	ため、会議を開催する。年4回程度	2回	2回	Δ	継続	となった。	会議を開催する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22109 乳児おむつ給付券 及びごみ袋支給事 業	乳児を養育する保護者に対し、乳児 1人につき1回とし、乳児おむつ給付	申請率(出生件 数/申請件数)	100%(51件 /51件)	3,778		紙おむつ等に引き替えることができる給付券や紙おむつを廃棄するご み袋を支給することで乳幼児期に係	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 令和5年度から対象店舗を拡大し、利	
	券(5,000円×13枚)及び乳児おむ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	る経済的負担を少しでも軽減し、子 育て支援体制の充実を図った。		
福祉課	つ廃棄用ごみ袋(20リットル(10枚入り))10袋を支給する。	100%	100%(46件 /46件)	0	外公士	本事業を通じて、母子の健康状態 の確認に繋がるような仕組み作りを 検討していきたい。	用者の利便性の向上を図る。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22112 学校給食費補助事 業	子育て世代の経済的負担となっている学校給食費を軽減することで、安 心して子を産み育てることができる環	給食費補助件 数	618人	35,410	,	令和4年度においては、市内在住の 小中学生の保護者に対して学校給	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	境をつくる。 第4次実施計画期間中は、中学生の	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	食費の全額を補助することにより、経	財源の確保を含め、事業の実施を検	
学校給食共同調理場	保護者を対象とした負担軽減を検討する。	(目標設定なし)	市内に住民登録 のある学齢児童 生徒給食費半 額補助を実施	©		済的負担を軽減することができた。 財源の確保が課題である。	討していく。	

#### ② 保育環境の充実

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22201 乳児保育の促進		0-2歳児受入 率	100%	0	0	乳児保育を希望する保護者すべて に保育を実施し、安心して働ける保 育環境を提供した。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	市内の全保育所・こども園において、乳児保育を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	乳児の入所率は高まっており、受	子育て支援の充実を図るため、安心 して働ける環境づくりを提供し、引き	
福祉課		100%	100%	0	継続		に 働ける環境 つくりを提供し、引き続き乳児保育の促進を図る。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22204 障害児保育事業	【対象児童】 ①特別児童扶養手当対象児童 ②身体障害者手帳の交付を受けた	受入率	100%	0	0	障害を持つ子どもや発達に不安の ある子どもの発育を促し健全な育成 を図るため、各児の特性・特徴にあ わせた保育を実施した。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	児童	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	児の健全な心身の成長や発達を	障害を持つ子どもや発達に不安のある子どもの発育の支援に向け、引き	
福祉課	③療育手帳の交付を受けた児童 ④上記と同等程度の障害を有すると 児童相談所長が判定した児童	100%	100%	0	継続	促すため、専任の保育士(最低配置 基準外の加配)を配置する必要があ るため、保育士の確保など、受入態 勢の整備が課題である。	続き、児の特性・特徴にあわせた個別保育を実施していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22207 延長保育事業	保護者の仕事の勤務形態の変化等	延長保育利用 者数	0%	0	0	延長保育について検討したものの、 令和4年度中の実施には至らなかっ	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	により、必要に応じて延長保育の実	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	た。	令和5年度から7時から7時30分、18	
福祉課	施及び検討を行う。	(目標設定なし)	0%	_	継続	保育時間の延長に向けた職員の確保が課題となっている。	時から19時まで延長の実施	

### ② 保育環境の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22208 一時預かり事業		受入率	100%	3,805	,	による緊急的な保育並びに育児に 伴う心理的及び肉体的な負担の軽	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	こども園において、一時預かり事業 を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	減を図るため勝浦こども園において 実施し、希望者については全て受け	今後も需要に応じた受入態勢の整備	
福祉課		100%	100%	0	継続	入れることができた。 なお、定員3名/日に対して、ニーズが多いことから、今後は利用定員 の拡大について検討する。	に努めていく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22209 病後児保育事業		病後児保育の 実施検討の進 捗状況により評 価	100%	0	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	こども園において、病後児保育事業を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		利用に関して、保護者への周知を図	
福祉課		(目標設定なし)	100%	0	継続	病気の回復期にある児童を預かる 人数が少数であることは、健康増進 の面では好ましいことだが、事業の 一層の周知の徹底に努め、利用し やすい環境を整え、子育て支援の 充実を図る。	り、事業を継続する。	

#### ③ 健全な子どもの育成支援の充実

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22301 児童館事業	児童館を児童健全育成上の拠点施 設として、乳幼児、小学生、中学生 等を対象とした各種子育て事業を実	1日あたりの利 用者数	9.9人	8,902	7,581	感染防止対策を図り、安心して利用 できる環境を維持し各種事業を実施 した。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	乳幼児期への子育て支援のニー	今後も児童館を児童健全育成上の 拠点施設として、施設維持管理に努	
福祉課	【実施事業】 ベビーリトミック、絵本の読聞かせ、 季節行事、創作活動等	22人	7.8人	0	継続	ズが高まるなか、乳幼児と保護者が 集う場としての児童館の役割が求め られている。	め、各種子育で支援事業を行ってい く。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22302 放課後児童健全育 成事業	実施場所:市内6箇所 対象児童:小学校1~6年生 月額負担金:1人あたり6,000円 【クラブ概要】	放課後ルーム 受入率	100%	68,041	67,227	昼間保護者のいない家庭の小学校 児童に対して生活の場を提供し、放 課後における児童の健全育成を	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 今後も放課後児童の健全育成及び	
	授業終了後、保護者が迎えに来るまでの間の生活の場として、支援員やクラブ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	図った。 また、民間事業者へ支援員確保を	保護者への子育て支援のため事業を継続する。	
福祉課	の児童達と宿題や遊びを行う。また、土曜日や夏休み等の長期休業日においても開設し、放課後児童の健全育成を図る。	100%	100%	0	継続	含む管理運営業務を委託するととも に、保育時間を延長し、保護者への 子育て支援の充実を図った。	や	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22303 児童虐待防止対策 の充実	勝浦市要保護児童対策地域協議会 を中心に、児童虐待防止機能を有	受付対応数	340件	2,470	2,432	児童相談所等の関係機関と連携し、 実務者会議、個別支援会議を適宜 開催した。また、児童相談システムを 活用し、国との情報共有や要保護児 童の管理を効率化し、児童虐待の早 期発見・早期対応などを図ってい る。	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 今後も関係機関と連携し、児童虐待の早期発見・早期対応に努めていく。	
	する関係機関、団体等との連携を強	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	家族形態の変化や社会背景の変	また、子育て世代包括支援センター	
福祉課	化し、より迅速で効果的な対応を目指す。	(目標設定なし)	331件	0	継続	化に伴い、児童に対する虐待や養育支援が必要な家庭は散在し、解決まで導くには月日や労力を要し、虐待を未然に防ぐための取組や早期対応が重要であり、体制づくりや職員の専門的な知識等の修得が必要である。	と連携しながら、令和5年4月1日から 子ども家庭総合支援拠点を設置し、 要支援児童及び要保護児童等への 支援業務の強化を図っていく。	

#### ③ 健全な子どもの育成支援の充実

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
	【事業説明】 勝浦小学校の対象児童の受入れに必要な定員を確保するため、元勝浦幼稚園敷地内にかつうら放課後ルーム(定員120名)を建設し、放課後や週末等に児	かつうら放課後 ルームを建設す る		9,633	,	勝浦小学校の対象児童の受入れ に必要な定員を確保するため、かつ うら放課後ルーム建設に向けて、令 和2年度においては元勝浦幼稚園 舎を解体した。 勝浦こども園から元勝浦幼稚園敷地	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	童が安心して生活できる居場所を確保	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	へと至る市道整備が完了し、かつう	令和5年度においては建築工事の実
福祉課	することで、児童の健全な育成を支援する。 【計画規模】 木造平屋建て、定員120人、延床面積 250㎡	(目標設定なし)	施設定員・ 規模等を検 討	0	継続	ら放課後ルーム施設業務も完了した。 物価高騰の影響を受け、建築費用が当初の想定より大幅に増大したことから、建築工事の実施について再検討を行う。	施について再検討を行う。

#### ④ ひとり親世帯等への福祉の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22401 小高御代祝金·福祉 手当支給事業	支給額:小学校入学20,000円・中学	祝金等支給率	100%	2,010	1,870		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	校入学30,000円・高等学校入学 40,000円・中学校を卒業し就職	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	対象者を把握し、個別に通知、案内 することで、すべての対象者に支給	   今後もひとり親家庭等の福祉の増進	
福祉課	40,000円・障害者10,000円	100%	100%	0	継続	することができた。	が図られるよう実施していく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22402 ひとり親家庭等医療 費等助成事業	対象世帯:ひとり親世帯等	ひとり親家庭等 医療費助成申 請率	84.3% (119/141 人)	47,901		経済基盤が弱いひとり親家庭等に対	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	給付方法:現物支給方式	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	し、医療費の一部を助成することで、 ひとり親家庭等が抱える経済的不安	   今後もひとり親家庭等の福祉の増進	
福祉課	※所得制限及び一部自己負担あり	(目標設定なし)	77.5% (110/142 人)	0		の軽減と福祉の増進を図った。	が図られるよう努めていく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22403 石井久雄福祉手当		受給率	100% (6/6人)	250	150	祝金・福祉手当を支給し、経済的・	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
支給事業	  支給額:一人あたり年額25,000円	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	精神的安定を図った。対象者を把握 し、個別に通知、案内することです	今後も重度心身障害児及び交通遺 	
福祉課	入小山 tix・	100%	100% (8/8人)	0	継続	べての対象者に支給することができた。	児を養育する家庭の福祉の増進が図られるよう努めていく。	

#### ④ ひとり親世帯等への福祉の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22404 母子及び父子世帯 等高等学校等就学	対象者:母子又は父子家庭等で高	受給率	86.4% (51/59人)	1,240	1,020	母子及び父子家庭等に対し、高校	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
費支援事業	等学校及びこれに準ずる学校に在 学する児童の保護者	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		今後も母子及び父子家庭等の生活	
福祉課	支給額:1人あたり年額20,000円	100%	96.1% (49人/51 人)	0	継続	相逆と行為な人材の自成に負することができた。	の安定及び児童の福祉の増進のた め実施していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22405 児童扶養手当支給 事業	全部支給:1人あたり月額42,500円 (H30年度実績) 一部支給:所得に応じ1人あたり月 額42,490円から10,030円まで10円き	受給率	56.1% (78/139世 帯)	43,650	37,904	ひとり親家庭に対し、児童扶養手当を支給することで、母子及び父子家庭等の経済的負担の軽減を図った。 ひとり親家庭等に対する重要な経	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	ざみで支給(H30年度実績) 支給月:年6回(1月・3月・5月・7月・	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	汝的古怪でなる反而 チャへのは	今後も母子及び父子家庭等の生活の安宝及び思考の短れの増進のな	
福祉課	9月・11月) (※平成31年11月より) ※支給額については、物価スライド制のため、手当月額に変動あり。	100%	56.3% (80/139世 帯)	0	継続	存により受給者自身の自立かあけられないよう、就業や資格取得に結びつくきめ細かな支援を実施していく必要がある。	の安定及び児童の福祉の増進のため実施していく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22406 ひとり親家庭高等職 業訓練促進費等支 給事業	局等職業訓練促進給付金及び局等 職業訓練修了支援給付金を支給す	延件数(実支給人数)	0件	700	0	ひとり親家庭主に国家資格取得を目指すひとり親家庭の親に対し、給付金を支給することで資格取得により、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	ることにより、ひとり親家庭の父母が 就職の際に有利となる特定の資格取	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ひとり親家庭の経済的基盤を安定させ、自立を促すことを目的とする事	字房の白 士が伊海とわて PS奴みて	
福祉課	得の促進し、ひとり親家庭の生活の 安定を図る。	(目標設定なし)	0件	-	継続	業であるが、令和3年度と令和4年度 においては、申請する世帯がいな かった。		

#### ④ ひとり親世帯等への福祉の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
	ひとり親家庭の主体的な就労を目的 とし、対象の教育訓練講座を受講 し、修了した場合に対象経費の一部	延件数(実支給人数)	1件	192	100		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き制度周知を図り、ひとり親家 庭の就労による自立が図られるよう支
福祉課	を支給することで能力開発の取り組 みを支援する。	(目標設定なし)	0件	0		Transfer to the second	援を実施していく。

# R4事業

				関係課	高齢者支援課・	観光商工課				
1	施策名	2	支えあい安心して暮らせるまちづくり							
1.	<b>旭</b> 東石	3	高齢者福祉の充実							
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)				
2.	施策の達成状況を把握	指標1	シルバー人材センター会員数	151人	130人	160人				
۷.	するための参考指標	指標2	老人クラブ会員数	460人	297人	460人				
		指標3	要介護(要支援)認定者を除く65歳以上の割合	82.8%	81.7%	83.0%				
		1)	高齢者の社会参加の推進							
		② 高齢者の生活支援の充実								
3	施策の展開一覧	3	高齢者の適切な介護サービスの実施							
ο.	ル水・ノ  灰      見									
		シルバー	-人材センターや老人クラブの会員数が減/	少傾向にあることを踏まえ	、高齢者の生きがいや社会	参加を推進する施策のあり				
4.		た施策の	けすること。また、「高齢者配食サービス事業 )改善が行われることで利用者の増加につれ							
		こと。								

#### ① 高齢者の社会参加の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
23102 高齢者入湯料助成 事業	70歳以上の高齢者を対象に、市内	利用率	3,068枚	2,822		R4.11より、勝浦海中公園滞在型観光施設エデン内のスパ施設が増えたが、周知がまだ不足している。また、4施設のうち2施設が水着着用施設であるため入浴をする目的では	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	施設を利用できる入湯券を1人につ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ないが、利用者にとって、目的用途	R5.5のコロナの感染症類型を見て、 コロナ流行前の利用数値に戻れるよう周知を行う。	
高齢者支援課	き年間最大10枚交付する。	(目標設定なし)	3110枚	Δ	継続			
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
23103 はり・きゅう・マッ サージ等施術利用 者助成事業	65歳以上の高齢者に対して、市に	利用率(利用枚 数/交付枚数)	957枚	928	765	コロナ感染症の感染予防を実施しな がら実施をした。昨年度より利用枚	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 関節疾患等の保存的治療として施術されている方が多いので、今後は治療目的等を検証して、助成券の交付枚数の妥当性を検討していく。	
	登録された施術業者を利用する際 に、年12回を限度に助成券を交付	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	数が減少しているが、関節痛等の軽		
高齢者支援課	し、1回あたり800円を助成する。	(目標設定なし)	1018枚	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
23104 シルバー人材セン ターの活動支援	シルバー人材センターの活動に対	会員1人あたり の収入額(配分 金収入/会員 数)	324,370円/人	7,950	7,950		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	し、一般社団法人としての自立運営 及び組織強化のための補助金を交	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	高齢者の就業支援及び生きがいの 充実、社会参加の推進に寄与した。	経費が年々増加する一方、国補助金 が減額される傾向にあるので、市補	
観光商工課	付する。	20万円/人	203,376円/人	0	継続	7071, page 5 791 7 1 page 1 9 1 7 0 7 CO	助金額についても検討する必要がある。	

#### ① 高齢者の社会参加の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23105 老人クラブ活動の育 成	単位老人クラブの人数ごとに3段階に区分し34名までは48,000円、35~49名までは50,000円、50名以上は52,000円に、会員数に100円を乗じた額を加算した額を助成する。また、老人クラブ連合会に対し、運営費や事業に要する経費の一部を助成する。	老人クラブ加入 数	297人	759	423	R4度末に会員31人いる団体が後継の役員選出が難しいことを理由に解散した。老人クラブは身近に集まり活動できる社会交流ができる唯一の機会であるためクラブの解散は高齢者	老人クラブへの運営費の助成のみに とどまらず、今後は各クラブへかかわ りを持ちながら老人クラブの育成を図 る。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	フレイル状態を増やしてしまう恐れが	
高齢者支援課		364人	309人	0		ある。また、現在の老人クラブの会員 の年齢も後期高齢者が主で、前期 高齢者の会員が少ないために会の 役員を担う人材が不足していることも 原因にある。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23106 高齢者の学習活 動、スポーツ活動の 促進	県生涯大学校や市主催の高齢者教	啓発活動	目標のとおり	0	0	生涯大学校は県の事業であるが、啓	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	室、高齢者スポーツ行事等の広報 周知を行い、事業への参加の促進	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き窓口対応を行い、啓発も 行っていく。
高齢者支援課	を図る。	福祉課窓口、広 報周知2回、勝 浦いろは帖掲載	日保のこのり	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23107 敬老事業		祝品支給人数	10人	165	85	  当初14人を見込んでいたが、死亡で	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 健康で100年を迎えたことを、家族、
	満100歳の者に対し、10,000円相当の記念品を贈る。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	10人に減った。 昨年同様に、訪問して贈呈ができ	地域とともに祝い、100年時代となっ た今、高齢者の人権を尊重しながら
高齢者支援課	- HOTCHE CVT O	(目標設定なし)	12人	0	継続	なった。	たっ、高齢者の八権を导重しょから 長寿のための健康づくりや生きがい づくりへ周知を行っていく。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23201 介護予防支援事業	要支援1及び2の者に対して、ケア マネジメントを行い、より自立した生	ケアプラン件数	116件	1,184	509	地域包括支援センターの人員の強	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 要支援認定者のケアプランは、介護 予防及び改善を図るための適切な サービス利用や支援を考慮したケア プラン作成が望まれるため、プラン作 成者の技能を向上させるために、研 修会を実施したいと考える。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	化のために会計年度任用職員を採	
高齢者支援課	活への支援を行う。	(目標設定なし)	168件	0	継続	用し介護予防支援事業に従事した。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23203 緊急通報システム サービス事業	概ね65歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯の者に対し、緊急	総利用者数	4,474件	10,308	9,351		✓前期実施計画(R5~R8)に計上本システムは、固定電話回線を利用するものであるため、携帯電話の普
	通報装置を貸与し、緊急時の対応、	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	供するため、必要と考える。	及に伴い固定電話を契約していない 方が増加し、利用者数が減少傾向に ある。このため、携帯電話回線を活用 したシステムまたは、それにかわるシ ステム等検討する必要がある。
高齢者支援課	健康及び医療相談、安否コールなどのサービスを行う。	(目標設定なし)	4,683件	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23208 高齢者理容サービ ス事業	概ね6か月以上ねたきりで、日常生活に介護を必要とする65歳以上の 高齢者に対して、市が委託した理容	交付枚数	33件	402	402	寝たきり状態の高齢者の衛生を保 ち、介護者の経済的負担の軽減を	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	常者に対して、市が安託した連合業者により散髪、顔そりなどのサービスを行う。年6回を限度として、無料理容サービス券を交付する。 1回あたり委託料5,500円	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	図ることができた。また、対象者の基	引き続き、重度要介護認定者の衛生を保ち、介護者の経済的負担の軽減
高齢者支援課		(目標設定なし)	28件	0	継続	準を明確にしたことで、事業に対す る理解を促すことができた。	を図ることで、利用者の生活を安定させる。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23209 包括的支援事業	高齢者の生活の実態把握に努め、 生活に即した支援を行う。 また、地域に必要な支援ネットワーク	相談件数	1,710件	1,113	819	高齢者の総合窓口として、総合的、 包括的に相談支援を行うことができ	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 相談内容は、軽微なものから専門性 の高い内容等、さまざまであり、1回の 相談で解決できない事案が増えてき
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	た。また、高齢者支援の関係機関と	ている。昨年同様引き続い、包括支援センターの専門職がそれぞれ自己研鑽して技能を向上させるとともに、事案によっては外部の支援も必要になるため、外部機関とのネットワークの構築に引き続き努める。
高齢者支援課	づくりを推進し、地域で安心して生活できる環境を整える。	(目標設定なし)	1,284件	0		連携を図るためのネットワークの構築を推進した。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23210 高齢者配食サービ ス事業	65歳以上の高齢者世帯で、調理の 困難な者を対象に、週3回まで、昼	配食数	10,033食	5,092	5,017	市から委託業者(今年度から2事業者)が、昼食にバランスのとれた配食サービスを受けることができるとともに、高齢者の安否を確認することが	配達曜日を固定することなく最大で
	食時に栄養バランスを考慮した弁当	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	できた。また、今まで曜日を固定していたが、利用者に都合で1週間のう	週3回利用ができるようにし、バランス のとれた安定した配食サービスを提 供するとともに、利用者の安否確認を 実施するため、委託業者との連携を 図っていく。
高齢者支援課	を配達するとともに、安否確認を行 う。	(目標設定なし)	7,078食	0	小小小牛	ちで最大3回まで自由に曜日を選ぶことがように変更したため利用者の利便性を図ることができたことで、利用食数が増加した。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23211 介護予防・生活支 援サービス事業	市が中心となり地域の実情に応じて、住民等が主体として多様なサー	地域資源資料 集「いろは帖」配 布	300冊作成	371	200	高齢者向け地域資源資料集を発行し、高齢者が医療や介護サービスを受ける状態になっても住み慣れた場	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 今後は地域に根差した資源集にする
	ビスを充実することで、地域の支え 合い体制づくりを推進し要支援者等 に対して、効果的かつ効率的な支 援等を行う。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	所で継続して生活して行くための情報を提供した。作成に取り掛かる時	ため、地域の潜在的にある社会資源 の情報収集と把握に努め、よりオリジ
高齢者支援課		65歳以上の対 象世帯に配布	240冊配布	0	継続	期が遅くなり、今年度は配布するまでに至らず作成するだけになってしまった。	ナルな資料集の作成をする。また、今

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23212 一般介護予防事業	介護予防把握事業、介護予防普及 啓発事業、地域介護予防活動支援	総参加人数	514人	2,471	1,113	市内11箇所の体操自主グループ が活動を再開し安全に活動を継続 できた。また体力測定や運動指導を 実施し、継続支援することができた。 今年度の新規事業として高齢者の	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 次年度以降も通いの場の継続的な支
	事業、介護予防事業評価事業、地	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		援をするとともに、老人クラブや高齢
高齢者支援課	域リハビリテーション活動支援事業 を実施する。	260人	92人	0	継続	V-1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	者が集まる事業でフレイルの普及啓発を図り、市全体のフレイル対策を強化したい。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23213 認知症初期集中支 援推進事業	複数の専門家が家族の訴え等により認知症が疑われる方や認知症の 方及びその家族を訪問し、アセスメ	相談件数	0件	44	0		図前期実施計画(R5~R8)に計上 認知症初期集中支援チームで対応 する基準に満たない認知症高齢者の 相談は、地域包括支援センター内で
高齢者支援課	ント、家族支援等の初期の支援を包括的及び集中的(概ね6ヶ月)に行い、自立生活に向けたサポートを実施する。	目標数値	前年度結果 0件	<mark>達成度</mark> △	継続	認知症尚断者の相談はめるか、認知症初期集中支援チームとして対応を する案件はなかった。	対応し、解決され、介護保険サービス の利用につながっているが、個々の 相談内容も複雑化し、困難ケースも 増加しているため、今後は積極的に 認知症初期集中支援チームの活用 を行っていく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23214 認知症地域支援・ケ ア向上事業	認知症をもつ方の家族に対して、認知症に関する基本的な知識や介護技術の習得、関係制度への理解を	研修•講習会参 加人数	181人	299	60		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 今後は今まで受講した認知症サポーターのスキルアップ研修を実施し
	深めるための介護教室を認知症地	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	の変更等で受講していない職員が	チームオレンジ事業、特に認知症支 援のボランティア養成につなげてい
高齢者支援課	域支援推進員が開催し、家族の介護の身体的又は精神的な負担の軽減を図る。	(目標設定なし)	12人	0		・ あためたがは、まだコロナ禍で感染予防	る。また、脳トレを取り入れた教室の開催を行い、認知症の周知と予防を 行っていく。

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23215 高齢者外出支援 サービス事業	今後増加が予想される外出困難高齢者 (外出が困難となることから閉じこもり傾 向となる高齢者を含む)に対する支援策 を検討する。 2年度では、平成31年度において実施	総利用枚数	12,723枚	7,824	,	令和3年度は1枚800円年間12枚として交付していたが、利用促進のため、令和4年度からは、1枚400円年	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 1枚単価を400円にすることで、利用 促進を図ったが、対象者への制度の
	した日常生活圏域ニーズ調査の外出支援策の回答内容を分析し、支援方法実	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	間24枚のタクシー利用券の交付に変更した。また、前年度の利用件数が少なかった総野地区に関しては、	周知が不足していることから、来年度以降は対象の80歳に到達する高齢
高齢者支援課	施に向けて検討する。 3年度以降、2年間実証実験として支援 策(タクシー利用券の交付)を行い、効 果を測定して、高齢者に対するよりよい 外出支援策を検討する。	7,168枚 (2,560名×0.4 ×7枚)	5,079枚	0		24枚使い切った時点で追加で利用 券の発行を行った。	者に対して、到達1か月前に事業対象者であることの通知を送付するなど、より一層の事業周知を図っていく。

#### ③ 高齢者の適切な介護サービスの実施

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23301 在宅介護福祉手当 支給事業	【在宅介護福祉手当】 ねたきりや重度認知症で要介護度4 又は5の高齢者を介護している者に	受給者数	延べ431名	2,330	2,155	要介護高齢者の在宅生活を支援す	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 高齢者施設の入所待機者が非常に 多い状況の中で、在宅で寝たきりや 重度認知症の高齢者を常に介護する 方の精神的・経済的負担の軽減を 図っていく。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	るとともに、在宅介護者の精神的・経	
高齢者支援課	月額5,000円を支給する。	(目標設定なし)	延べ257名	0	継続	済的負担の軽減が図られた。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23303 家族介護慰労事業	介護保険サービスを1年間(年間1 週間程度の短期入所および3ヶ月 以内の長期入院を除く。)利用しな	申請者数	0人	100	0	申請実績無し。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	かった介護保険要介護4又は5と認	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	中間美視無し。 引き続き、広報やホームページ等で 周知をしていく。	重度の要介護者を介護する非課税 世帯の介護者を支援することで、経 済的負担の軽減を図る。
高齢者支援課	定された高齢者を介護している市民 税非課税世帯の家族に対して (100,000円)を支給する。	(目標設定なし)	0人	Δ	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23305 介護支援専門員等 業務助成事業	介護支援専門員等が、居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等に対し、介護保険法上の住宅改	申請者数	0人	5	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	修費の支給申請に係る理由書を作	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	令和2年度に1件実績があったが、 令和3年度・令和4年度は実績無し。	利用実績は少ないが、今後、本事業を必要とする被保険者への対応とし
高齢者支援課	成した場合に、居宅介護支援事業 所等に1件当たり2,000円の助成金 を支給する。	(目標設定なし)	0人	Δ	継続		で、事業の継続は必要である。

#### ③ 高齢者の適切な介護サービスの実施

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23306 介護保険利用者負 担額助成事業	介護保険の訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス及び訪問看護サービスを利用者のうち、市民税非	助成延べ人数	851人	1,872	1,249	低所得世帯で居宅系の介護保険	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	課税世帯に属する方に利用者負担	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	サービス利用者に対し助成をすることで、経済的負担の軽減につながっ	低所得世帯に対する助成であり、利 用者のサービス利用の継続、介護者
高齢者支援課	額の一部(利用者負担額の100分の50、令和2年8月から100分の30)を助成する。	870人	806人	0		た。	の負担軽減に寄与している。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	十七萬休田			37 /m 1 3m Hz	A // - E +B
	事未两女(王仲山西)	土な日保	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
23307 老人保護措置事業	環境上又は経済上の理由により、居 宅での生活が困難な方の養護老人	養護老人ホーム		11,799	10,024	居宅での生活が困難な状態の高齢	今後の展望 ☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	環境上又は経済上の理由により、居	養護老人ホーム			10,024 今後の方向性	居宅での生活が困難な状態の高齢 者が、経済的な援助を受けながら養	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 喜齢者の経済的支援として効果があ

# R4事業

				関係課	福祉	課
4	+//	2	支えあい安心して暮らせるまちづくり			
1.	施策名	4	障害者福祉の充実			
			参考指標名	当初数値(計画策定時	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)
0	施策の達成状況を把握	指標1	福祉サービスを受けている障害者の割合	9.3%	13.1%	10.5%
۷.	するための参考指標	指標2				
		指標3				
		1)	障害者の自立支援の推進			
		2	障害者の生活支援の充実			
3.	施策の展開一覧					
4.			ービスを受けている障害者に対して、利用者 章害者へ福祉サービスが提供できるよう一層		など各種サービスの充実に向	]けた取組を推進するほか、

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
24102 障害者入湯料助成 事業	70歳未満の身体障害者を対象に、	利用率	<b>22%</b> (44枚/200枚)	38	20	障害者の外出や他者との交流、また	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	市内の入浴施設を利用できる入湯 券を1人につき年間最大10枚交付	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	リフレッシュの機会を提供することが	引き続き左記の機会の提供を図るとと	
福祉課	する。	(目標設定なし)	55% (33枚/60枚)	0	継続	できた。	もに、利用率の向上を目指す。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
24103 障害者医療の給付	身体障害者、障害児及びそのまま放置することで将来障害を残すと認められる疾患がある児童の障害を軽減したり、回復させたりする手術を行う等、身体障害者等の更生又は育成に必要な医療を指	身体障害者厚 生医療支給人 数	44人	23,294	21,758		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	定医療機関に委託して行う。 ※本人または扶養義務者の負担能力に	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	障害者(児)の医療費に関する経済 的負担を軽減することができた。	引き続き医療費負担の軽減を図る。	
福祉課	応じ、個人費用負担あり。 また、常時介護を必要とする障害者に対 し行われる機能訓練、療養上の管理、 看護等の療養介護のうち、医療に係るも のに対する医療費の助成を行う。	(目標設定なし)	40人	0	継続		刀で机で広原貝 見追り牡火を囚る。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
24104 地域活動支援セン ター事業	障害者等の地域の実情に応じ、創作的活動	補助金交付事 業者数	3件 (補助金2、委託 料1)	8,477	8,477		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	又は生産活動の機会の提供、社会との交流 の促進等の便宜を供与することにより、障害	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	障害者等の社会参加の支援を行うことができた。	引き続き障害者等の社会参加の支援	
福祉課	者等の地域生活支援の促進を図る。	3件	3件 (補助金2、 委託料1)	0	継続		を図る。	

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24105 手話通訳者等派遣 事業	市内に居住及び勤務する聴覚障害 者等に対し、手話通訳者又は要約 筆記奉仕員等を派遣し、必要な意 思疎通を支援することにより、聴覚	年間延派遣件 数	11回	188	172		☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、聴覚障害者の社会参加の 支援を行う。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	聴覚障害者の社会参加の支援を行うことができた。	
福祉課	障害者等の福祉の増進及び社会参加の促進を図る。	(目標設定なし)	19回	0	継続	)	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24106 移動支援事業	屋外での移動に困難がある障害児 (者)について、外出のための支援を	延利用時間	278時間	549	515		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	行うことにより、地域での自立生活及	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き、障害者(児)の外出及び社 会参加を支援していく。
福祉課	び社会参加を促すことを目的とする。	(目標設定なし)	200.5時間	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24107 障害者用自動車改 造費助成事業	障害者が所有し運転する自動車の	助成決定者数	0人	200	0	今年度は実績はなかったが、日常生	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	改造費の助成を行い、障害者の就 労等社会活動への参加を促進す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	活において自動車は必要不可欠な ものであり、改造費の助成は必要な	必要とする方が必要時に制度が利用
福祉課	る。 る。	(目標設定なし)	3人	Δ	継続	制度である。	できるよう事業を継続する。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24108 障害者用自動車運 転免許取得助成事 業	障害者の運転免許取得費の助成を 行い、障害者の就労等社会活動へ	助成決定者数	0人	100	0	今年度は実績はなかったが、運転免	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 必要とする方が必要時に制度が利用できるよう事業を継続する。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	許は就労等の社会活動には必要不可欠なものであるため、必要な制度 である。	
福祉課	の参加を促進する。	(目標設定なし)	0人	Δ	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24109 障害者成年後見制 度利用支援事業	判断能力が不十分なため、日常生活を営むのに支障がある障害者等	申立て申請者 数	1人	1,028	476		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	に対し、市長申立を行う場合の手続	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	件、報酬助成を2件を行った。	今後成年後見制度を必要とする人は増えていくと予想される。引き続き支援をしていく。
福祉課	きを定め、成年後見人、保佐人又は 補助人の報酬の助成を行う。	(目標設定なし)	0人	0	継続		
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24110 手話奉仕員養成研 修事業	手話で日常会話を行うのに必要な 手話語彙及び手話表現技術を習得	研修修了人数	0人	291	291	養成研修は夷隅圏域2市2町の共同で実施しており、2年をかけて(前期・ 後期)全過程を終了する。当市では	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	した者を養成し、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の自立した	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	令和3年度(前期)の受講者がおら	法に基づき市町村が実施する必須事業でもステレから、引き続き毛系表生
福祉課	日常生活又は社会生活を営むための支援を行う。	(目標設定なし)	0人	Δ	継続	ず、令和4年度(後期)も受講者ゼロ となった。受講希望者をいかに増や すかが課題となっている。	業であることから、引き続き手話奉仕 員の技術向上のために事業を行う。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24111 軽度·中等度難聴 児補聴器購入費助 成事業		申請者数	0人	36		申請及び支給の実績はなかったが、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	費に対し、千葉県基準価格の3分の	目標数値	前年度結果	達成度		今後も小中学校の養護教諭を通じ て対象児の把握や事業の周知を	引き続き対象者(児)の把握に努め、
福祉課	2を助成	1	0人	Δ		図っていく。	必要とする児に助成を行う。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24201 身体障害者(児)補 装具給付事業	身体の失われた部分や障害のある 部分を補って、日常生活や働くこと を容易にする用具の交付又は修理 を行う。	申請者数(決定 者数)	20人	2,671	2,351	必要とされる補装具を支給すること	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、障害者(児)の日常生活の 向上を図る。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	によって、障害者(児)の日常生活の	
福祉課	※本人または扶養義務者の負担能力に応じ、個人費用負担あり。	(目標設定なし)	20人	0	継続	向上を図ることができた。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24202 相談支援体制の充 実	障害者福祉に関する各般の問題の	相談件数	79件	74	74		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	相談に応じるため、身体障害者相談員及び知的障害者相談員を配置す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	相談員を委嘱し、障害者が相談しや すい体制を整備することができた。	引き続き障害者が相談しやすい体制 を整備する。
福祉課	る。	(目標設定なし)	96件	0	継続		
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24203 日常生活用具給付 事業	重度の心身障害者(児)がより良い 日常生活を過ごすことができるため	給付件数	591件	6,362	5,905	日常生活用具の給付により、障害者	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	の用具を給付(又は貸与)する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	(児)の生活の向上を図っている。利用者の増により、ストマ用具の給付	  引き続き、障害者(児)の生活の向上
福祉課	※本人または扶養義務者の負担能力に応じ、個人費用負担あり。	(目標設定なし)	635件	0	継続	が増える傾向にある。	を図っていく。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24204 介護給付費·訓練 等給付費等支給事 業	障害者等が施設サービスや居宅 サービスを利用する場合、必要に応 じて、介護給付費や訓練等給付費 を支給する。	総利用人数	126人	348,913	338,076		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、障害者の地域での自立を支援する。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	障害者が住み慣れた地域で自立し た生活が送れるよう支援を行った。	
福祉課		(目標設定なし)	131人	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24205 障害者訪問入浴 サービス事業	地域における身体障害児(者)の生 活を支援するため、訪問入浴サービ	①利用者実数 ②回数	①2人 ②98回	1,375	1,225		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	ス事業を実施し、障害者等の身体の	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き、障害者の生活を支援する ため、事業を実施する。
福祉課	清潔の保持や心身機能の維持を図る。	(目標設定なし)	①1人 ②83回	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24206 日中一時支援事業	障害者等に日中活動の場を提供 し、障害者等の家族の就労支援及	①利用者実数 ②回数	①8人 ②127回	483	407	・障害者(児)の社会活動の場の提供	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	び日常介護している家族の一時的な負担の軽減並びに社会に適応す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	と介護をする家族の負担軽減を図っ	引き続き、障害者(児)の社会活動の 場の提供と介護をする家族の負担軽
福祉課	るための日常的な訓練等を行うことを支援する。	(目標設定なし)	①7人 ②128回	0	継続	た。	場の近氏と月暖をする家族の負担程 減を図っていく。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24207 障害児福祉手当給 付事業	支給額:月額14,850円(R4年度)	申請者数	1人	360	179		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	※支給額については、物価スライド	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	手当の支給により、障害児を持つ家 庭の経済的負担の軽減を図った。	引き続き支給を行い、福祉の向上を
福祉課	制のため、手当月額に変動あり。	(目標設定なし)	1人	0	継続	•	図っていく。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24208 ねたきり身体障害者 福祉手当給付事業		申請者数	0人	71	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	支給額:月額11,700円	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	支給対象者がおらず、実績がなかった。	 現在は支給対象者がいないが、新規
福祉課		(目標設定なし)	0人	0	継続		対象者が生じた際は、支給していく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24209 心身障害者福祉手 当給付事業		申請者数	16人	2,106	2,083		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	支給額:月額11,700円	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	手当を支給することにより、福祉の向上を図ることができた。	引き続き支給を行い、福祉の向上を
福祉課		(目標設定なし)	17人	0	継続		図っていく。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24210 精神障害者医療費 支給事業	精神疾患を有する者で6か月以上 継続して入院している者の保険医療 機関での診療費用に対し、その自 己負担の中から保険等で支給され る額を控除した額の2分の1を支給 する。	申請者数	9人	1,602	992		▼前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	精神疾患を持つ障害者の経済的負担を軽減することができた。	引き続き、精神疾患を持つ障害者の
福祉課		(目標設定なし)	10人	0	継続		経済的負担を軽減を図っていく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24211 在宅重度知的障害 者福祉手当給付事		申請者数	13人	1,791	1,791	香麻知的除宝老大, <b>力</b> 字态众进入了	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
業	支給額:月額11,700円	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	できた。	引き続き、重度知的障害者を在宅で 介護する人の経済的負担の軽減を 図っていく。
福祉課		(目標設定なし)	12人	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24212 特別障害者手当給 付事業	支給額:月額27,200円(R4年度)	申請者数	15人	5,172	4,644		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	※支給額については、物価スライド	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	障害者の経済的負担の軽減を図る ことができた。	引き続き、障害者の経済的負担の軽
福祉課	制のため、手当月額に変動あり。	(目標設定なし)	14人	0	継続		減を図っていく。

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24213 障害者理容サービ ス事業	概ね6か月以上ねたきりで、日常生活に介護を必要とする18歳以上65歳未満の身体障害者に対し、市が香料した理容業者により散影、額を	利用率	100.0% (12/12枚)	80	66	ねたきりとなっている障害者の衛生	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	委託した理容業者により散髪、顔そりなどのサービスを行う。年6回を限	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	状態を保ち、経済的・身体的負担の	引き続き、ねたきりとなっている障害
福祉課	度として無料利用サービス券を交付する。 1回あたり委託料5,500円	(目標設定なし)	100.0% (12/12枚)	0	継続	軽減を図ることができた。	者の衛生状態を保ち、経済的・身体 的負担の軽減を図っていく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24214 障害者福祉タクシー 事業	身体障害者手帳1級又は2級及び 療育手帳を所持している者に対し、	利用率	25.6% (1,185/4,620 枚)	1,067	1,067		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	福祉タクシー利用券(1枚あたり730 円の助成)を28枚交付する。利用タ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	障害者の利便性を図り、外出を促進 することができた。	引き続き制度の周知を図りながら、障
福祉課	クシー会社には協力金を1件当たり 100円支払う。	(目標設定なし)	23.7% (942/3,976 枚)	0	継続		害者の利便性の向上を図っていく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24215 重度心身障害者医 療費支給事業	身体障害者手帳1級又は2級及び 療育手帳(重度)を所持しているの	支払件数	5,840件	36,593	36,274	重度の障害を持つ人の医療費を助	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	者で、保険医療機関において診療を受けた者が、その自己負担の中か	目標数値	前年度結果	達成度		成することで、経済的な負担の軽減	引き続き、医療費を助成し、経済的な
福祉課	ら保険等で支給される額を控除した額を支給する。	(目標設定なし)	5,797件	0	継続	を図った。	負担の軽減を図っていく。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24216 指定難病等療養者 支援事業	支給額:月額2,000円	申請者数	60人	1,392	1,262		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、特定疾患療養者の経済的 負担の軽減を図っていく。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	特定疾患療養者の経済的負担の軽減を図ることができた。	
福祉課		(目標設定なし)	59人	0	継続	INCLUSED CON	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24217 グループホーム運 営費等補助事業	グループホームの運営に要する人	利用者数	39人	10,309	7,641	障害福祉サービスの提供を併せて、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	件費、運営費等の経費を補助する。 家賃相当額の1/2(上限月額	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	経済的負担の軽減を図ることができ	引き続き、障害福祉サービスの提供 を併せて、経済的負担の軽減を図っ ていく。
福祉課	25,000円以内)	(目標設定なし)	41人	0	継続		
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
24220 障害者虐待防止対 策事業	障害者への虐待を防止し、早期発 見や迅速な対応を図るため、24時	虐待相談件数	0件	33		24時間体制の通報窓口としている	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	間体制の通報及び相談の窓口を開	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	が、実際の利用実績はなく、今後の在り方を検討してく必要があると考え	24時間体制の相談については、今
福祉課	設し、地域における関係機関との連 絡調整を図る。	(目標設定なし)	0件	Δ	縮小	る。	後、稲小もしいは廃止を使引していく。

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
24221 障害児通所支援事 業	児童福祉推進のため、障害のある児童が通所による福祉サービスを利用する際、障害児通所給付費を支給する。	対象者延人数 (実対象者)	208人 (17人)	14,768	14,122	/D### 0 /0 /# 14 / 14 0 #9 / 14 / 17 /	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き、保護者の経済的負担を	
福祉課		(目標設定なし)	211人 (17人)	0	継続		図っていく。	
事業名•担当課	古光旭田(人仔打画)	ナシロ神	十年六年田			37 (m) 300 BZ	A (A) → IH	
事 水白 15 m	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
22401 小高御代祝金·福 祉手当支給事業	支給額:小学校入学20,000円・中学	祝金等支給率	100%	600	<del>次算額(千円)</del> 460		今後の展望 ☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
22401 小高御代祝金·福 祉手当支給事業	支給額:小学校入学20,000円·中学校入学30,000円·高等学校入学		100%	600	460	対象者(障害者のみ)を把握し、確 実に案内をすることですべての対象	▼前期実施計画(R5~R8)に計上  今後も障害者福祉の増進が図られる	
22401 小高御代祝金·福 祉手当支給事業	支給額:小学校入学20,000円・中学	祝金等支給率	100%	600	460	対象者(障害者のみ)を把握し、確	✔前期実施計画(R5~R8)に計上	

# R4事業

				関係課	福祉課・高齢	者支援課
1	施策名	2	支えあい安心して暮らせるまちづくり			
1.		5	地域福祉の充実			
			参考指標名	当初数値(計画策定時	テ) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)
2.	施策の達成状況を把握	指標1	福祉ボランティア数 (ボランティア保険加入者数による数値)	360人	295人	370人
2.	するための参考指標	指標2				
		指標3				
		1)	地域福祉の体制整備とサービスの充実			
9	施策の展開一覧					
٥.	施承の展開    見					
4.	二次評価結果	福祉ボラた関係機	ランティア数の減少が続いていることから、そ 幾関との情報共有及び研修の実施、ボランラ	の原因を把握し、今後 「ィア団体の活動を支援	の対策を検討すること。また、t 爰することで、地域福祉の充実・	地域ケア体制の整備に向けを図ること。

## ① 地域福祉の体制整備とサービスの充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
25101 指定袋配布事業	歳末たすけあい募金の配布対象世帯(生活保護世帯を除く。)に対し、経済的負担の軽減措置として、指定袋配布事業を行う。	配布率	100% (90世帯)	168	156	経済弱者世帯への支援であり、今後	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	も継続して実施することが適当であ	経済弱者世帯への支援として継続し、対象世帯の選定に関する民生委員からの照会に今後も対応していく。
福祉課	歳末たすけあい募金の配布時に次 年度分の30枚を社会福祉協議会を 通して、民生委員が配布する。	100%	100% (104世帯)	0	継続	వ.	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
25102 介護保険運営円滑 化推進事業	介護保険に関する問題等の改善に	ケアマネ部会開 催回数	3	0	0		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 今後は、市内の事業所を中心に参加
	向けて、関係機関と年6回程度、定期的に情報交換や研修等を実施す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	コロナ禍のため、出席者を1事業所 につき1名に限定して開催した。	者数を縮小せずに開催ができるよう に会場の大きさや感染状況を見なが ら開催し、多くのケアマネジャーが参 加できるように工夫をしていく。
高齢者支援課	る。	6回	3	0	継続		
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
25103 地域ケア体制の整 備	行政、関係機関や団体、事業者等 の保健・医療・福祉関係部門との連	地域ケア会議体 制整備のため の研修会を開催	1	310	60	コロナ禍のため、開催が1回のみと	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 ZOOM 開催などを活用して、ケアマ
	携及びネットワーク態勢の充実を図	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	なった。感染状況でも影響を受けないZOOM開催などを検討し、目標開	ネジャーの質の向上を図るとともに、 社会資源に着目した多くの関係者が
高齢者支援課•福祉課	るとともに、地域ケア体制の総合的 な推進体制の確立を図る。	2回	2	Δ	継続	催回数を達成できるようにする。	参加できる会議開催に向けて準備を行っていく。また、外部講師の研修会も引き続き開催していく。

## ① 地域福祉の体制整備とサービスの充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
25104 公共施設の有効活 用	公共施設や空教室の併用や利活用の方法について、調本及び検討を	評価方法の設定が 困難ではあるが、有 効的に市の既存施 設を活用している。		0	0	各種ボランティア団体や放課後ルー 3等の活動の場として、市内学区施	□前期実施計画(R5~R8)に計上 様々な社会情勢の変化に応じて日々
	の方法について、調査及び検討を	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	設や集会所等が活用されている。また、現時点において不足等も生じて	変化する福祉需要に対応するため、 既存施設の有効的な活用について
福祉課	行う。			_	継続	いないことから、有効的に既存施設が活用されているものと考える。	の検討は継続的に行われることが望ましい。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
25105 ボランティア団体活 動支援事業	社会福祉協議会を中心に、ボラン	NPO情報コー ナー(市民ロ ビー)への掲載	通年掲載	0	0	の情報について、市役所を訪れる市	
	ティア団体活動やNPO法人などの	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	知を行った。 ■課題 NPO法人の活動とそれに対する	向けた施策の1つとして、個人で有する地域資源を地域社会のために役立
総務課•福祉課	支援を推進する。	通年掲載	通年掲載	0	継続		てたいと考えている市民とそれを活用 しようとする各企業及びNPO法人等 との橋渡しを継続して行っていく必要
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
25106 地域支え合い体制 づくり事業	①避難行動要支援者に関する基礎的事項、サービス利用状況や課題等を把握し、当該情報を記載した台帳(要援護者マップ)システムにより、災害時に支援が必要な人の把握及び地域での支え合い体制を構築する。②65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢	避難行動要支 援者台帳登載 者	240人	753	752	災害時における生命の安全のため、	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 いつ起こりえるか分からない災害に備え、今後についても台帳の登録整備
	者のみの世帯の安全安心な暮らしを守るた	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	継続する必要がある。	等が必要になってくる。 市だけでは対応出来ない事態に備
福祉課	め、緊急時に必要な情報を保管する救急医療キットを配布する。 ③都市と農村の交流事業の拡大を図りながら観光農業を定着させ、高齢者等の雇用の 創出を図る産地直売システムを構築する。	(目標設定なし)	301人	0	継続		え、地域全体での協力が必要となる ため、地域との連携を検討する必要 がある。

#### ① 地域福祉の体制整備とサービスの充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
	社会福祉法第107条に基づく、市町村 地域福祉計画を策定する。			0	0	社会福祉協議会との協議や費用負	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	なお、社会福祉協議会で策定する地域 福祉行動計画と一体的に策定するた	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	担の問題があり、地域福祉行動計画	社会福祉協議会との協議を継続し、
	め、策定に係る費用については社会福祉協議会と1/2ずつ負担する			I	継続	の策定に至っていない。	地域福祉計画の策定へ進めていく。

#### R4事業

				関係課	都市建設課・企画課・與	<b>才政課∙観光商工</b> 課					
	施策名	3	自然と共生する安全なまちづくり								
1.	<b>旭</b> 東石	1	計画的な土地利用の推進								
			参考指標名	当初数値(計画策定)	時) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	勝浦市を暮らしやすいと答えた市民の割 合	51.4%	54.7%	75.0%					
۷.	するための参考指標	指標2									
		指標3									
		① 土地利用方針の策定									
		② JR勝浦駅北口用地等の活用									
2	施策の展開一覧	③ まちや地域の景観・美観の整備									
٥.											
4.	二次評価結果	の活用を	競や生活環境の保全、産業構造の変化に対け、会社のではです。	また、観光施設周辺を	進を図るとともに、未利用の市るや駅前広場の美化を推進し、匹	有地については民間活力等  季を感じられる景観・美観					

### ① 土地利用方針の策定

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
31102 コンパクトな都市的 土地利用の実現		検討事業のた め、評価方法の 設定なし		1	0	既存市街地の保全を規制誘導等に より維持に務めることとし、都市機能	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き情報収集に努め、人口に目
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	また占在する生液を結ぶネットワーク	引き続き情報収集に努め、人口に見 合った都市構造を構築するよう新た
都市建設課				ı	継続	機能の構築も合わせて検討を行う必じ	な都市計画マスタープラン等に反映していく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
31103 地籍調査事業	· 开州政(王阡川四)	事業実施地区 数	3地区(勝浦、 浜勝浦、 水、 水、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大、 大 大、 大 大、 大 の お の 、 、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	124,846	123,667	交付金交付率の減少が続いている ため、当初の実施予定に遅れが生じ	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	市域全体(約77. 4k㎡) 事業実施期間:50年間	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		引き続き市域全体の地籍調査を計画
都市建設課		1地区(守谷区)	2地区(勝浦、 浜勝浦、出 水、墨名、串 浜及び沢倉の 各一部)、(興 津の一部)	0	継続		に沿って実施していく。

### ② JR勝浦駅北口用地等の活用

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
31201 JR勝浦駅北口用地 等活用の検討	JR勝浦駅北口用地等の活用につい	民間活力による サウンディングを 模索した意見聴 取の実施回数	0回	0		コロナ禍のため民間から情報、意見	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	て、民間活力等の活用を視野にい	目標数値	前年度結果	達成度		を得ることはできなかった。 部分的に現地調査を1回行い状況	検討するための情報収集の実施。
企画課·財政課·都 市建設課	れながら、引き続き検討を進める。	1回	0回	×		把握を行った(政策統括監)。	19月3 9 分にのパカリ 雨 牧 収 朱 の 夫 他。

### ③ まちや地域の景観・美観の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
31301 景観法に基づく景 観計画の検討	景観まちづくり市町村協議会において、千葉県や県内の市町村との情報交換や調査研究に参画するとともに、市町村の区域を越えた広域的	検討事業のため、評価方法の 設定は困難である。		-	0	景観計画による誘導や規制を要する	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	動態に乏しいため、引き続き情報収	引き続き景観行政団体への移行検討
都市建設課	な見地から策定される広域景観計画について、千葉県や関係市町村と連携し取り組む。			_	継続		を含め情報収集等に努める。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
31302 自然と調和した市街 地景観の保全	勝浦駅南口駅前広場の施設の維持 管理を適切に実施するとともに、敷	JR勝浦駅前広 場の緑化維持	3回	3,794	3,794	  駅前広場の樹木剪定など景観に留	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	地の緑化や街路樹の整備などの自 然環境との調和に留意した環境整	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	意した緑化維持を図った。また、市 内公園の維持管理のほか、遊具の 更新等を行った。	引き続き、敷地の緑化など自然環境との調和に留意した環境保全に努め
都市建設課	備について、関係指導要綱等に基づき指導に努める。	年3回	3回	0	継続		との調和に留息した環境床生に劣める。 る。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
31303 美化植物植栽事業	遊歩道や観光施設周辺の美化植物	観光入込客数	519千人	1,187	793		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	歴少垣や観光施設同辺の美化植物の植栽などを推進し、また、観光施設等の植栽の管理を行う。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	観光施設等の景観整備を実施し、 景勝地の環境保全を図った。	  観光施設等美化整備・維持管理事業
観光商工課		990千人	327千人	Δ	継続	NW. C > NOUNTER > 1C0	として、観光地の植栽美化に努める。

#### R4事業

				関係課	生活環境課・清掃セン	/ター・生涯学習課			
1	施策名	3	自然と共生する安全なまちづくり						
1.	<b>ル</b> 東石	2	環境の保全と循環型社会の形成						
			参考指標名	当初数値(計画策定時	) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)			
9	施策の達成状況を把握	指標1	一人 1日当たり ごみ発生量	1,131 g	1,208 g	1,060 g			
۷.	するための参考指標	指標2	ごみリサイクル率(再資源化率)	18.7%	19.4%	21.6%			
		指標3	不法投棄報告件数	126件	95件	100件			
		① 環境保全への取組強化							
		2	自然環境の保全活動の推進						
3.	施策の展開一覧	3	環境にやさしいライフスタイルの推進						
٥.	旭州の茂州 見	4	循環型社会の形成促進						
		5	ごみの不法投棄対策						
		6	火葬場の整備充実						
4.	二次評価結果	化及びご	たりのごみ発生量が増加傾向にあることから、 ごみの再資源化を図ること。また、引き続き、 図るとともに、省エネルギー設備の導入を促む	不法投棄監視員のパト	ロールなどによる不法投棄の	抑制に努めることで環境の			

### ① 環境保全への取組強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32101 環境保全行動の推 進	市民・事業者・市の各主体に対し、環境保全に関する普及啓発を図る。	環境市民会議 の開催	0回	171	0	当初、年2回ほどの開催を見込んで 準備を行っていたが、コロナ禍による	✓前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ず開催中止となった。委員に対しては、当日配布予定であった資料を郵	からの意見を聴することができ、設置	
生活環境課		2回	1回	I	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32102 環境白書の発行	勝浦市環境基本計画に基づき、市	発行部数	編冊60部 (通知102ヶ 所)	22	20	環境審議会で進捗状況を報告し、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	域における環境問題の現状と対策	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	環境基本計画の適正な管理に必要	(前期実施計画(R5~R8)について	
生活環境課	について、その概要を公表する。	60部	編冊60部 (通知102ヶ 所)	0	継続	である。	は、事業番号「55103」に統合)	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32103 環境情報の公開		環境白書、地球 温暖化防止計 画の公表	年1回公表 済	0	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	市民の環境に関する意識の高揚に繋がっている。	市民の環境に対する意識の向上から 様々な情報を提供・発信していく必要	
生活環境課		年1回	年1回公表 済	0	継続	NICK - (1 V)	がある。	

#### ① 環境保全への取組強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32104 ごみゼロ運動の推 進		年間延実施計 画回数	145回	1,055		令和4年度中に市民による自主的か つ継続的なボランティア清掃活動を 支援することにより、市民の環境美 化に対する意識の高揚を図るととも	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	的とした「勝浦市ボランティア清掃活動支援事業実施要綱(令和5年4月	する市民へ冊子を配布したいと考える。	
清掃センター		252回	191回	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32105 地球温暖化防止対 策実行計画の推進	地球温暖化対策の推進に関する法 律第20条の3に係る京都議定書目	温室効果ガス排 出量・2022年度 中間目標値	-28%	0	0	伴うものが41%を占めているため、 この2点について重点的に削減に取	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 省電力製品などの導入により、温室 効果ガス排出量は減少傾向にある。 今後は、社会情勢の変化に合わせ計 画の見直しを図る。	
	標達成計画に即した「第3次地球温 暖化防止対策実行計画」により、継	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
生活環境課	張しのエバス关行計画」により、極続して地球温暖化対策の推進を図る。	-18.7%	-27%	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32106 空き家対策の推進	近隣の住民等からの苦情を元に、空	特定空家の認 定	5件	9,342	1,891		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	地・空家の所有者に対して、適正な	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	特定空家1件を行政代執行にて除 却を行った。	特に特定空家の所有者、管理者との	
生活環境課	管理を行うよう指導する。	4件	5件	0	継続	- 1 - 1 - 1 - 1 - 0	接触、交渉を進め、問題解決を図る。	

### ② 自然環境の保全活動の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32202 ウミガメの管理・保 護		ウミガメの産卵 回数	3回	0	0		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 沿岸域の環境保全に努めることは今 後も必要である。	
	沿岸域の環境保全を図るため、看 板等による啓発を行う。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		また、ウミガメの管理・保護について	
生活環境課	似寺による啓発を117。	10	3回	0	継続	全を行った。	は自然界のものでもあり、その関与に ついても難しいところであるが、卵の 移動についての講習を受講するな ど、管理・保護を図っていく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32203 ミヤコタナゴの保護		生息確認	生息有	410	355	ミヤコタナゴの生息環境を保つた め、草刈り等地元住民にも協力をい	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	草刈り等を行いミヤコタナゴの生息 しやすい環境づくりを推進する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ただいて実施しているが、ミヤコタナ ゴが卵を産む二枚貝の生息数が減	天然記念物であるミヤコタナゴの生息 環境を保全し増殖を図ることは、本市	
生涯学習課	しゃりい泉境づくりを推進する。	生息有	生息有	0		少しており、二枚貝の生息環境の保護が課題である。	としても貴重な財産であり、今後も継続していきたいと考える。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32204 希少動植物の保護	希少動植物の情報を広く周知し、自然の大切さを啓発することにより、行政・事業者・住民等が一体となって、	ヒメコマツ回復 計画による苗木 の育成・保護	年1回の報 告	0	0	BY 仕私をよって 世 口 世 よいと 小 押	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	野生動物からの新芽保護などの柵 を設ける対策をし、順調に生育して	環境保全活動の重要性に鑑み、引き	
生活環境課	貴重な財産である自然環境の保全 活動を推進する。	年1回の報告	年1回の報 告	0	継続	いる。	続き実施していく。	

### ③ 環境にやさしいライフスタイルの推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
32301 体験学習推進事業	海岸清掃、学校周辺清掃、ゴミゼロ 運動参加やリサイクル活動を通じ、 学校教育における体験学習の一環 として、環境保全に向けた活動を教 育委員会と連携して共同で推進す る。	職場体験受入 人数	中山	0	0	現在は、事業自体が中止されている	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 (前期実施計画(R5~R8)については、事業番号「55104」に統合)
		目標数値	前年度結果	達成度		が、今後再開に向けてテーマや開 催方式などを再検討する必要があ	
生活環境課		目標設定なし	中止	ı	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
32302 省エネ・リサイクルポ スター及び環境保	市内の小中学生を対象として、環境	①標語応募作 品数 ②ポスター応募 作品数	①372点 ②78点	93	76		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
全標語コンクール	保全に関連したポスター及び標語	目標数値	前年度結果	達成度		令和4年度は、応募件数が増えており、今後も継続していく。	省エネ・リサイクル・環境保全の意識 を高めるため、次年度以降も継続し ていく必要がある。
生活環境課	に関するコンクールを実施する。	①400点 ②130点	①150点 ②78点	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
32303 省エネ・リサイクル 運動の推進、支援	省エネ・リサイクル運動の推進やそれに関する市民活動への支援を実施する。	廃食油の回収	1,840l	0	0	協力者の掘りおこしが必要である。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		廃食油の回収場所、出し方などをより
生活環境課		2,040ℓ	1,8200	0	継続		一層周知することにより回収量の増加を図る。

### ③ 環境にやさしいライフスタイルの推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
7 欧洲等八灰座	住宅用太陽光発電システム、家庭	住宅用省エネル ギー設備交付 件数	8件	1,430	585	  ここ数年、高額な設置費用に対して	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 (前期実施計画(R5~R8)について は、事業番号「55105・住宅用設備等
事業	用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システムの導入に対し	目標数値	前年度結果	達成度	A All on wheeler life		脱炭素化促進事業」に変更) 地球温暖化防止、再生可能エネル
	補助金を交付し、家庭における地球温暖化対策促進を図る。	11件	8件	0	継続	り、設備設置件数の増加がみられない傾向である。	ギー導入促進、エネルギーの安定確保を目的とし、市単費事業として新築家屋を補助対象とするかを検討する。

### ④ 循環型社会の形成促進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32401 一般廃棄物収集運 搬業務委託事業	ごみの分別収集により、焼却ごみの減量化を 図り、環境への負荷軽減を推進するとともに ごみ処理の適正化を図る。 〔委託業務の内容〕 一般廃棄物収集運搬業務、夏期一般廃棄	収集運搬量	4,039.14t	136,414	136,414	人口減少とともに総世帯数も減少に	▼前期実施計画(R5~R8)に計上	
	物収集運搬業務、一般廃棄物焼却灰等運搬処分業務、粗大金物収集運搬業務、夏期	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	集も浸透して適正に実施されてきて	焼却ごみの減量化、資源ごみの増加を図り環境への負荷軽減を推進する。	
清掃センター	搬処分業務、粗大金物収集運搬業務、夏期 海水浴場等不燃物収集運搬業務、一般廃 棄物(不燃ごみ)運搬処理等業務、資源化物 運搬処理業務、廃プラスチック運搬処理等 業務、粗大ごみ収集運搬業務、廃乾電池運 搬処分業務	4264.66 t	4,079.34t	0	継続	おり、環境美化の推進と公衆衛生に 繋がっていると考える。		
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32402 ごみの減量化・資源 化啓発事業	酉	配布数(世帯 数)	10,430世帯	431	431	民からニーズのあった廃家電やク	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	ごみ分別収集カレンダー等を全世 帯に配布し、ごみの分別収集の推	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		カレンダー、分別収集分け方出し方 をより市民に理解を得るため、ガイド ブックのような冊子への転換を検討及 び有料広告の掲載等の検討を行な う。	
清掃センター	進と減量化・再資源化を図る。	11,500	10,520世帯	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32403 ごみ焼却施設改修 事業		年間廃棄物処 理量	6,995.53t	182,571	174,836	人口減少とともに総世帯数の減少に	広域化 または 勝浦市単独による業	
	ごみ処理施設の維持改修を実施 し、安定的なごみ処理の実施及び	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	集も浸透して適正に実施されてきて		
清掃センター	施設の適切な管理運営に努める。	7528.13 t	6,983.14t	0	継続	おり、環境美化の推進と公衆衛生に 繋がっていると考える。	務の運営の検討が急務であり、併せて現施設の長寿命化(維持)のための計画策定並びに改修工事の検討が必要と考える。	

### ④ 循環型社会の形成促進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32404 し尿処理施設改修 事業	し尿処理施設の維持改修を実施し、	年間し尿・し尿 浄化槽汚泥処 理量	7,401.9 kl	38,561	38,561	人口減少とともに総世帯数も減少し ているが、浄化槽汚泥の搬入が増加 傾向にある。	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 施設が老朽化していることから施設の 適切な管理運転に努める。	
	安定的なし尿処理の実施及び施設	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	老朽化している施設の維持のため適	広域化 または 勝浦市単独による業	
清掃センター	の適切な管理運営に努める。	7,699.6 kl	7,243.38kl	0	継続	正な管理運転に務めることにより、環境美化の推進と公衆衛生の向上に繋がっていると考える。	務の連営の検討が急務であり、併せ て現施設の長寿命化(維持)のため の計画策定並びに改修工事の検討 が必要と考える。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32405 脱水汚泥等運搬処 理業務委託事業	し尿処理施設に持ち込まれる生し尿	年間し尿・し尿 浄化槽汚泥処 理量	7,401.9 kl	12,160	12,160	人口減少とともに総世帯数も減少し ているが、浄化槽汚泥の搬入が増加 傾向にある。 老朽化している施設の維持のため適 正な管理運転に務めることにより、環 境美化の推進と公衆衛生の向上に 繋がっていると考える。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	及び浄化槽汚泥を脱水汚泥とし、業	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		脱水汚泥の経済的及び効率的な処	
清掃センター	者委託により運搬処理を実施する。	7,699.6 kl	7,243.38kl	0	継続		理法の検討により、公衆衛生の向上と環境への負荷軽減を推進する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32406 し尿収集運搬業務 委託事業	市内全域の一般家庭及び仮設トイ	収集運搬量	1,494kl	54,829	54,419		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	レ等の生し尿の収集を行う。また、夏期には車両を1台増車し、各海水浴	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	人口減少とともに総世帯数も減少し ていることに伴い生し尿の収集は減	経済的かつ効率的なし尿収集運搬を	
清掃センター	場の仮設トイレ等の収集運搬を実施する。	1,830kl	1,598k <b>l</b>	0	継続	少傾向にある。	検討し、市民生活の向上と環境への 負荷軽減を推進する。	

#### ⑤ ごみの不法投棄対策

事業名•担当課	事类概要(人体主要)	ナシロ神	本年度結果	予算額(千円)	独管媚( <b>工</b> 田)	⇒亚/正 1, ₃钿 目首	今後の展望	
7 7/4 7 1 1 1/4	事業概要(全体計画)	主な目標	平十及結末	7 异碘(干円)	伏昇領(十円)	評価と課題		
32501 廃棄物不法投棄監 視員制度事業	10年の子洪机奈野切見之町里)	パトロール日数	337日	720	720		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	12名の不法投棄監視員を配置し、市内の不法投棄情報の収集及びパトロールを実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	不法投棄物の早期発見・回収により、新たな不法投棄の防止に繋がっ	継続して実施し、不法投棄の防止に 努める。	
生活環境課		144日 (12名 × 12ヶ月)	329日	0	継続			
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32502 廃棄物不法投棄防 止事業	医祖子 签目 平之外机态时止	不法投棄物回 収量	4t	402	353		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	監視カメラ、簡易式不法投棄防止 ネット、啓発看板設置などにより不法	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	不法投棄物の早期発見・回収により、新たな不法投棄の防止に繋がっている。	that have a labeled a school to be a	
生活環境課	投棄防止体制を強化する。	7t	2.88t	0	継続		継続して対策を実施する。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32503 ごみ袋販売補助事 業		ゴミ袋配布世帯 数	-	6,858	0	物価上昇対策として、本事業のごみ 袋作成業者へ袋作成補助並びに小 売店へ在庫買取りを行う「ごみ袋販 売補助事業」での方法であれば、ご	□前期実施計画(R5~R8)に計上	
	ごみ袋10枚あたりの値下げ(40L袋120円、	目標数値	前年度結果	達成度		み袋の市場の流れを阻害することな		
清掃センター	30L袋80円、20L袋40円)分の補助を実施する。	8500	I	Ι	廃止	く効率的に実施でき、コストの面でも他の方法に比較し安価で実施できると検討したが、市販されているごみ袋の上昇が作成業者並びに小売店の努力により押さえられていたと判断したことから、実施を見送った。	今後の物価上昇の影響により、市民   生活の影響が出てきた場合、実施に   ついて検討する。	

### ⑥ 火葬場の整備充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
32601 火葬場施設維持補 修事業	火葬場施設内の燃焼炉及び付帯施	火葬件数	316件	23,357	22,711		▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	設等について、必要箇所の修繕等	目標数値	前年度結果	達成度			平成17年建設の当該施設は経年劣
生活環境課	の維持管理を行う。	(目標設定なし)	333件	0	継続		化により、改修、修繕の必要箇所が 増えている。

# R4事業

				関係課	都市建設課	・企画課					
1	施策名	3	自然と共生する安全なまちづくり	•							
1.	<b>旭</b> 東名	3	道路・交通基盤の整備								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	市道舗装率	87.7%	89.5%	88.3%					
2.	するための参考指標	指標2	国道・県道などの主要道路の整備に関する満足度 平成28年度(H26市民意識調査)	49.5%	42.6%	60.0%					
		指標3	予約制乗合タクシー(デマンドタクシー)の利用者数	4,176人	3,830人	5,000人					
		① 骨格幹線道路網の整備と機能の強化									
		2	 生活道路の整備								
2	佐笠の屈朋ー覧	3	公共交通機関の充実による都市間アクセス	 ぶの向上							
ა.	施策の展開一覧										
		土米の作	4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4.	台吸の動(生)を目むてす	コ迷り 虚ながら ション・コン・コン・	<b>佐さな用仏み亜角/744.85</b>					
4.	二次評価結果	円担の語 により道	i接率は目標数値を達成したものの、主要道路整備の促進に努めること。また、公共交通 本社の運行区域なお会社などのよう。	⊒路の登佣に関する□ iへの利用者ニーズをP bな必束的に持续可能	式値足及が低いことがら、引き 可確に把握することで、デマント はなな共存系のなりまとった。	続き効果的な要望活動等 ジタクシーの利便性が高まる					
		より <b>連</b> 1	方法や運行区域を検討するほか、より効果は	リント・オンドー・大学 円 配	い。公共父地のめり万にういく	ひ1匁〒71 9 公二乙。					

### ① 骨格幹線道路網の整備と機能の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33101 国道128号及び国 道297号の整備促	広域のアクセス利便性を充実するた	要望活動の実 施	1	0	0	国道297号整備促進期成同盟 コロナ禍のため出席者を縮小し、会 長及び副会長(構成する市町長)か	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
進	め、国道128号・297号の整備を関	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ら県土木部関係者に要望書を提 出。	引き焼き亜胡浜動き、宇振士で	
都市建設課	係機関に要請する。	1回	1	0		企画課を通じ千葉県市長会として要望書を提出。	引き続き要望活動を実施する。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33102 地域高規格道路の 整備促進	地球宣相校 送吹「畘川、七百送吹」	要望活動の実 施	1	21	21	41 人 ໄ共執 ) * L In (M 人 於 ) L 李 丁 兴 冲 ]	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	地域高規格道路「鴨川・大原道路」 早期建設促進期成同盟会による要	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	社会情勢により総会等は書面議決と なったが、千葉県に対し要望活動を	기소산소포선(소리소산사 1.7	
都市建設課	望活動を実施する。	10	1	0	継続	行った。	引き続き要望活動を実施する。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33103 広域幹線道路の機 能強化	国県道の道路案内標識の設置や植	要望活動の実 施	1	0		千葉県市長会を通じて国県道の整	□前期実施計画(R5~R8)に計上	
	栽などの歩道整備について、関係	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	備について要望しているが、事業概 要にある案内標識の設置や植栽に	ツ亜にはいて亜胡していく	
都市建設課	機関への要望活動を実施する。	1回	1	_	廃止	ついての内容は含まれていない。	必要に応じて要望していく。	

### ① 骨格幹線道路網の整備と機能の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33104 観光地、主要公共 施設の利便性の強	観光地や主要公共施設周辺の案内	要望活動の実 施	1	0	0	千葉県市長会を通じて国県道の整	□前期実施計画(R5~R8)に計上
化	表示誘導看板等の整備(認識しや	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	備について要望しているが、事業概 要にある案内標識の設置や植栽に	ルエ)。
都市建設課	すいデザイン等)について、関係機関へ要請する。	10	1	-	廃止	ついての内容は含まれていない。	必要に応じて要望していく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33105 国道の整備促進	国送907日數供促進期代回期の西	要望活動の実 施	1	26	26	国道297号整備促進期成同盟 コロナ禍のため出席者を縮小し、会 長及び副会長(構成する市町長)か	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	国道297号整備促進期成同盟の要望活動を通じて、松野バイパスの早	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ら県土木部関係者に要望書を提 出。	
都市建設課	期整備を関係機関に要請する。	10	1	0		山。 企画課を通じ千葉県市長会として要望書を提出。	引き続き要望活動を実施する。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33106 県道の整備促進		要望活動の実 施	1	0	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	主要地方道(天津小湊夷隅線)等の道路改良を関係機関に要請する。	目標数値	前年度結果	達成度		千葉県市長会を通じて国県道の整 備について要望している。	
都市建設課	坦町以及で関係機関に安請りる。	10	1	0	継続	畑に クv・(女主し(v %)。	引き続き要望活動を実施する。

### ① 骨格幹線道路網の整備と機能の強化

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33107 交通安全対策事業		要望活動の実 施	1	0		国道297号整備促進期成同盟	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	国道297号の歩道整備の早期完成	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	コロナ禍のため出席者を縮小し、会 長及び副会長(構成する市町長)か	
都市建設課	を関係機関に要請する。	1回	1	0	継続	ら県土木部関係者に要望書を提 出。	引き続き要望活動を実施する。

### ② 生活道路の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33201 道路改良事業		工事完了延長	1645.0m (計画延長 1645.0m)	80,757	71,922		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	道路工 L=1,070m	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	道路状況を精査し、危険度の高い順 に計画をもって整備していく。		
都市建設課	測量•設計•地質調查 1式	1,349.1m	1,310.0m (計画延長 1,540.0m)	0	継続	TONIBLE OF CEMPORA NO	引き続き計画的な整備に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33202 道路局部改良事業		工事完了延長	132.7m (計画延長 132.7m)	363	363		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	道路工 L=228m	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	道路状況を精査し、危険度の高い順 に計画をもって整備していく。		
都市建設課		82.5m	0.0m (計画延長 215.7m)	0	継続	に可固なもので登開していく。	引き続き計画的な整備に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33203 舗装修繕事業	AS舗装打替 L=13,297m A=71,048 ㎡	工事完了延長	3,713.3m (計画延長 6,569.6m)	53,225	50,201	♪キリナ <i>は</i> ケンギ がって ) マ よい 、 マ と	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	CO舗装打替 L=45m A=160㎡ 路面性状調査 1式	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	舗装修繕箇所においては、利用頻 度や損傷状況を勘案し、計画をもっ	71 1/2 1 7 1/1 2 44 14 1 47 2 47	
都市建設課	修繕計画 1式地質調査 1式	819.8m	2,435.0m (計画延長 6,890.0m)	Δ	継続	て整備していく。	引き続き計画的な整備に努める。	

### ② 生活道路の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33204 排水整備事業		工事完了延長	844.1m (計画延長 905.0m)	28,152	27,501	サル・動併がごフィン マル 11日本	▼前期実施計画(R5~R8)に計上	
	排水工 L=1,746m	目標数値	前年度結果	達成度		排水整備箇所においては、利用者 や損傷状況を勘案し、計画をもって	71 1/2 1 7 1/1 2 25 14 1 - 47 1 9	
都市建設課		349.2m	629.6m (計画延長 874.5m)	0	継続	整備していく。	引き続き計画的な整備に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33205 災害防除事業	吹付 A=3,173㎡ 落石防止網 A=813㎡ 落石防護柵 L=150m	工事完了延長	4,472.0㎡ (計画面積 4,472.0㎡)	30,881	23,241		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	Y各	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	重要路線と危険度を見極め計画的な整備を進めたい。		
都市建設課	測量·設計 1式 点検 1式 計画策定 1式	56.0m	3,357㎡ (計画面積 3,963.0㎡)	0	継続		引き続き計画的な整備に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33206 舗装新設事業		工事完了延長	350.5m (計画延長 350.3m)	2,096	2,057		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	AS舗装 L=1,531m A=2,856㎡ CO舗装 L=20m A=40㎡	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	未舗装においては、利用頻度を勘 案し、計画をもって整備していく。		
都市建設課	COm表 L-20III A-40III	240.0m	260.5m (計画延長 990.3m)	0	継続	来し、可画でもりく登開してい、。	引き続き計画的な整備に努める。	

### ② 生活道路の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33207 橋りょう維持事業	修繕 27橋	補修完了箇所	10箇所 (計画9箇 所)	33,025	32,863	  計画的に橋梁修繕・架替えを実施	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	設計 1式 点検 1式 計画策定 1式	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	することによりコスト縮減が図られる ため、今後も計画的に橋梁修繕・架	71 1 1 1 2 1 7 11 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
都市建設課		2箇所	5箇所 (計画24箇 所)	0	継続	替えが行われるよう努める。	引き続き計画的な整備に努める。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33208 交通安全施設整備 事業		新規修繕設置 箇所	615.4m (計画延長 593.7m)	4,901	4,901		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	カート・ハペイプ L=125m カート・レール L=453m	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	道路状況を精査し、危険度の高い順 に計画をもって整備していく。	引き続き計画的な整備に努める。	
都市建設課	カーブミラー 30基	8基	487.1m (計画延長 614.4基)	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
33209 トンネル修繕事業	修繕 5隧道	修繕計画の策 定	2箇所 (計画2箇所)	34,245	18,965	平成30年度に定期点検を実施し、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	設計 1式 点検 1式	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	司   四   りに1   8   滞伏 夫 ルリ り る)、 て により	71 1 1 1 2 1 7 11 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
都市建設課	計画策定 1式	修繕計画の策 定	0箇所 (計画2箇所)	0	継続	コスト縮減が図られ、計画的に修繕 が行われるよう努める。	引き続き計画的な整備に努める。	

### ③ 公共交通機関の充実による都市間アクセスの向上

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33301 JR外房線の利便性 の向上	千葉県JR線複線化等促進期成同盟 及びJR外房線複線化等促進協議会	要望活動回数 (期成同盟·促 進協議会)	2回	0	0	外房線は、産業・観光発展の基盤として首都圏と地域をつなぐ重要な役割を果たす一方、通勤・通学など地	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 運行本数の維持、接続改善を要望するとともに障害者や高齢者への安全 対策や踏切付近における安全確保 等を求めていく必要がある。
	等の枠組みを活用し、東日本旅客	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	域住民の生活を支える重要な交通 手段であり、その利便性向上は、当	また、R4年夏にJR東日本より収支状
企画課	鉄道(株)をはじめ、関係機関への 要望活動を実施する。	2回	2回	0	継続	地域の持続的発展に必要不可欠であることから要望活動は継続する必要がある。	況の悪い線区として外房線(勝浦・安 房鴨川間)が公表されたことを受け、 千葉県や関係自治体と連携しながら 利用促進等について取組を行ってい く。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33302 いすみ鉄道の管理 及び活性化の取組	いすみ鉄道対策協議会及びいすみ鉄道活性化委員会を通じ、経営改善策・活性化策の検討及び実施並びに検証により、他の手段への転換等についての検討を行う。	県や関係市町と連 携した取り組みの効 果を数値化し評価す ることは困難		5,091	4,474	人口減少等、沿線地域が共有する 現状に伴い、利用客の低迷が続く 中、新型コロナウイルス感染症の影響によりさらに経営を圧迫しており、 住民の移動手段の確保や観光促進	図前期実施計画(R5~R8)に計上 当面の間、人の移動がコロナ前の状況に戻ることは難しいと考えられるが、感染予防をしつつ付加価値の向上に資する取組みの実施に期待す
	国の補助対象事業の実施に対し、県及び関係2市2町で協調し、いすみ鉄道輸送対策	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	のため、県及び沿線2市2町による 支援は必要不可欠である。	る。特に地域に愛される鉄道会社となる
企画課	事業費補助金を交付する。 上下分離による下部について、県及び関係 2市2町で株式保有割合に基づき、いすみ鉄 道基盤維持費補助金を交付する。			0		新型コロナウイルスの影響により人の	特に地域に愛される鉄道芸社となる ため、地域の小中学生等を対象とし た取り組みは有効と考える。 なお、車両の更新や運転手の確保な ど、引き続き厳しい経営状況が続くも のと思われる。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33303 市内公共交通維持 改善事業	関係機関及び民間事業者等で構成される地域公共交通活性化協議会を通じ、地域住民のニーズに応じた輸送サービスの確保・維持について検討を行う。	運行日1日当た りの乗車人数	13.1	10,399	10,094	公共交通の不便地域における分散 した少ない需要に対して、デマンドタ クシーの運行は有効と考える。	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 デマンドタクシーの利用者アンケート
	公共交通空白地域の解消及び公共交通不 便地域における利便性の向上を図るため、	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	より外出の機会が減り、乗車人数は	への対応や地域公共交通計画を推
企画課	上野地区全域、上大沢、小松野、大楠、及び串浜・松部の一部において予約制乗合タクシー(デマンドタクシー)の運行を行う。 ※実証運行 平成26年10月~平成29年9月 ※本運行 平成29年10月~	19.0人	12.4人	0	継続	減少したが、感染対策を徹底したう えで、移動手段の確保のためデマン ドタクシーの運行は継続する必要が ある。	進するなかで、利便性向上を図るとともに、運行区域の拡大等についても 検討を行う。

### ③ 公共交通機関の充実による都市間アクセスの向上

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33305 市内路線バス運行 維持及び利便性の 向上	市民の外出を容易にし、社会参加の促進を図るため、市民生活上不可欠なバス路線運行に要する経費を補助する。 ①バス路線運行費補助金市内を運行している小湊鐵道(株)の全ての路線・系統の路線及び運行便数を維持するため、運行に伴う損失額に対し、損失額の	年度末運行系 統数·本数	4系統・41本	14,500	14,364	市内バス路線の維持による市民の 移動手段の確保は重要であり、バス 路線運行維持補助金により、運行維 持に係る損失補填等は妥当と考え る。 新型コロナウイルス感染症の影響が	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 令和4年度に策定した地域公共交通 計画の推進により、持続可能かつ利
	70%以内(限度額900万円)で補助を行う。 ②運賃平準化事業補助金	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	長引く中、運行事業者の収益は悪 化していることが見込まれることか	便性の高い交通体系をの維持を図っていく。
企画課	補助の対象となる路線の運賃平準化に伴う 影響額(限度額150万円)について補助を行う。 ③車両購入費補助金 補助対象車両に係る実費購入費(消費税を 除く。)から国庫補助金及び県補助金等を除いた減価償却費(車両ごとに限度額1,500万円)について補助を行う。	6系統·78本	4系統·41本	0	継続	ら、運行事業者と十分な協議のうえ、 バス路線の維持を図っていく必要がある。 なお、令和3年度及び令和4年度に ついては新型コロナや燃油高騰の 影響を勘案し、バス路線運行費補助 金の上限額を1,300万円とした。	また、都市間交通である高速バス路線についても、運行事業者と利便性向上に向けて協議を進める必要がある。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
33306 地域公共交通計画 の策定		年度内における 計画策定	計画策定完 了	7,700	4,279	計画の策定にあたっては市民アンケートや公共交通利用者への聞き取りのほか、地域住民によるワークショップを開催するなど、最大限市民の意見を聞き取ることに尽力した。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 R4年度に策定した地域公共交通計
	地域公共交通計画の策定	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	また、勝浦市地域公共交通活性化	画を推進するとともに、市内公共交通 機関の連携体制の確立により、市民
企画課				0	継続	通事業者等との意思疎通を図ること	等の移動手段を確保し、移動に係る 利便性の向上を図ります。

#### R4事業

水道課-生活環境課-都市建設課

関係課 •農林水産課•生涯学習課 自然と共生する安全なまちづくり 3 施策名 生活基盤の整備 4 参考指標名 当初数值(計画策定時) 今回数值(R4年度末) 目標数値(R4) 世帯 98.6% 世帯 97.5% 世帯 98.5% 指標1 上水道給水普及率 施策の達成状況を把握 人口 97.6% 人口 98.7% 人口 98.8% するための参考指標 有収率 指標2 77.5% 69.6% 80.5% ※給水する水量と料金として収入のあった水量との比率 指標3 公園・広場の整備 (1)上水道の整備と維持管理 排水処理対策の推進 3. 施策の展開一覧 **(4)** 良質な住宅ストックの維持 上水道では、有収率が当初数値よりも低下していることから、老朽管の更新などにより改善を図るほか、改善のための新たな施策を 検討すること。また、浄化槽の設置整備は水質保全の効果に加え住環境の改善につながることから、より一層の整備推進を図るこ 二次評価結果

### ① 公園・広場の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34101 多目的広場の整備	市民が日常の健康づくりや軽スポー	検討事業のた め、評価方法は 設定なし		0		多目的広場の整備は市民の健康づ	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	ツなどに利用できる多目的広場の整	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	くりに重要であり、市営野球場の整備計画とともに継続して検討していく	市営野球場の整備計画とともに多目
生涯学習課	備を検討する。			ı	継続	必要がある。	ロガム物の発達を いく。

### ② 上水道の整備と維持管理

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34201 老朽管更新事業	老朽化した石綿セメント管等を耐衝撃性硬質塩化ビニル管等に布設替えする。	石綿セメント管 等の老朽管に 係る布設替え延 長	118m	14,960	13,750	老朽化した石綿セメント管等の布設	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 財政状況を考慮しつつ、計画的かつ
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	漏水事故もなく、住民に安定した水 道水を供給することができた。	効率的な更新を行い、安全で安定し た水道水の供給ができるよう適切な
水道課		118m	150m	0	継続		維持管理に努める。また、本事業は 有収率の改善を図るうえでも継続的 に進める事業と考える。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34202 老朽施設改修事業		老朽施設改修 事業として実施 した工事件数	3件	9,394	7,909	取水施設・浄水施設及び配水施設 の適正な維持管理を実施したことに より、安定した給水体制の確保を図 ることができた。	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 施設の日常点検等を通じて状態を把握し、適切な時期に修繕を実施することにより施設の延命化を図り、効率的な維持管理と更新を計画的に実施していく必要がある。
	老朽化施設の計画的な更新により、	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		
水道課	安定した経営基盤の確立を図る。	3件	7件	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34204 未普及地域解消事 業	未普及地域の更なる解消に努める。 なお、令和3年度・4年度は、経営状況を踏まえた上で事業実施の可能性について検討する。	給水普及率 ①世帯 ②人口	①98.5% ②98.7%	0	0	地下水の水質悪化に起因する住民	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 公衆衛生の向上を図る上で未普及地
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ることは重要であるが、経営状況が	域の解消は、非常に重要と考えるが水道収益が減少傾向にあることから、
水道課		普及率の向上	①98.3% ②98.6%	_	継続	厳しい中、当該年度中の実施には 至らなかった。	水道収益が減少傾向にあることから、 費用対効果を十分勘案しながら進めていく必要がある。

### ② 上水道の整備と維持管理

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
	未普及地域において、厚生労働省の定める10項目の水質検査を実施した者に対し、4,650円、加えて放射能検査を実施した者に対し、5,000円を上限として検査料の1/2を補助する。	申請率(申請数 /未普及世帯 数)	0.69% (1件/144世 帯)	24	4	4 申請率が低いため、一層の補助制	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	度の広報をはかり、水質検査実施の	未普及地域の解消までの救済とし
市民課		(目標設定なし)	2.08% (3件/144世 帯)	0	継続	重要性の理解を促進する。	て、引き続き実施していく。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34207 水道高料金対策事 業	段階的な水道料金3割以上の値下げを目指す。	一般用水道料 金の1割程度の 値下げ(実施は 10月から)	県及び市の補 助を活用し実 施			一般会計からの喜料を対策に係る	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 補助金を活用し、水道料金の上昇を 抑えることにより、水道加入者の負担
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	策事業補助金を活用したことで、利	
水道課		一般用 基本料金▲ 5% 超過料金▲10%	県及び市の補 助を活用し実 施	0	継続	用者の負担増を抑制することができた。	増加の抑制に努めるとともに、持続可能な運営基盤の確立に向けた適正な料金設定を検討していく。

### ③ 排水処理対策の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
34302 環境調査	市内主要河川12地点及び浜勝浦 川の水質調査等を継続的に実施す	浜勝浦川水質 調査回数	6回実施	913	913	浜勝浦川流域についてはバイオ資	▼前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度		材の投入により投入前と比較して BOD値が改善しつつある。	バイオ資材の投入を継続していく。	
生活環境課	る。	6回	6回実施	0	継続		プロス 真的のなべを極続してい、。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
34303 浄化槽設置整備事 業	生活排水による公共用水域の水質 保全のため、市内の専用住宅に居	汲み取り転換補 助件数	6件	4,746	4,032	水質保全に一定の効果をあげている。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 補助事業を継続し、水質保全の改善	
	住使用する者で10人槽以下の合併	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
生活環境課	処理浄化槽を設置する場合に補助 金を交付する。	5件	6件	0	継続		に努めていく。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
34305 河川浄化対策事業	水産加工場等の事業系排水による 河川の悪臭及び水質汚濁を防止するため、水質汚濁防止機器等の設置、導入、推進について検討する。 併せて、適正な汚水処理について検討する。 検討する。	定期的なパト ロールの回数	6回実施	111	110		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 住宅や事業所では個別の浄化槽で 汚水処理後に河川への放流となるた	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	バイオ資材の投入により悪臭に関す る苦情は減少している。		
生活環境課•都市建設課		6回	6回実施	0	継続		め、河川の汚濁については注意する 必要がある。	

### ④ 良質な住宅ストックの維持

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34401 公営住宅整備事業		修繕・改修件数	27件	13,525		   老朽化した用途廃止住宅を順次解	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	老朽化した市営住宅の適切な維持 管理を図る。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	体撤去し、また軽微な修繕に即応 し、入居者の安全・衛生等を保つこ とができた。	引き続き適正な維持管理に努める。
都市建設課•農林水産課		(目標設定なし)	45件	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
34402 耐震改修促進事業	耐震診断及び耐震改修に係る費用の一部を補助する。 ・耐震診断に要した経費の1/2(30,000円を限度) ・耐震改修工事に係る補助対象経費の1/2(300,000円を限度)	申請者数	0	660		補助対象は建築基準法改正前の旧耐震基準による建築物であるため、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	1 2/20/2 日 20/3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	耐震改修(診断)の促進を図るため事
都市建設課		(目標設定なし)	0	ı	拡大	者に負担が生じるものであることから、実施の強制を促すことはできない。	業内容の見直しを行い、補助金の拡 充を図る。

#### R4事業

				関係課	消防防災課·都市建設	設課•農林水産課					
	施策名	3	自然と共生する安全なまちづくり								
1.	<b>旭</b> 東石	5	消防・防災体制の充実								
		参考指標名		当初数値(計画策定時	寺) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	自主防災組織率(世帯数)	56.0%	57.3%	78.0%					
۷.	・ するための参考指標	指標2									
		指標3									
	① 消防・防災体制の充実										
		② 消防・防災施設の整備									
2	施策の展開一覧	③ 自然災害対策の推進									
٥.											
4.	二次評価結果	共助によ 努めるこ	助による防災意識の向上を図り、自主防災組織の拡大や防災士の育成をすることで、災害時に地域で活動できる人材の確保に めること。また、沿岸地域の区と連携し、津波対策としての避難路整備を進めるとともに適正に管理するよう努めること。								

### ① 消防・防災体制の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35102 自主防災組織推進 事業	自主防災組織の設立を推進するとともに新設の自主防災組織に防災資	新規設立団体 数	0	3,000	0	今年度は新たな自主防災組織の設	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	き続き自主防災組織未設立区への	コロナウィルス対策のため自粛してい
消防防災課	機材 (ハンドマイク、スコップ、つるは し、担架等)を配備する。	1団体	新規設立は 無し・ 機材補助2 団体	×	継続		た各種訓練が再開する機会をとらえ、 各地区への働きかけを行う。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35104 救急救命啓発事業	市の防災訓練において実施するほ	講習会実施回 数	0回	0	0	コロナウィルス期間中は本土訓練が 実施出来ない状況であった。各種防 災訓練開催時に合わせて救命に関 する訓練・啓発を行う。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 コロナウィルス対策のため自粛してい た各種訓練が再開することから、防災 訓練等に合わせた訓練を実施する。
	か、自主防災組織等団体や地域の 要望により夷隅郡市広域市町村圏	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		
消防防災課	事務組合消防本部と協力し、実施する。	1回 (参加者100名)	0回	×	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35105 非常用食糧等備蓄 事業	非常用備蓄水・食料を計画的に配 備更新するとともに、被災者支援に 必要な生活物資、資機材等の充足 を図る。	①備蓄食糧 ②備蓄飲料水	①22,798食 ②23,160L	5,212	3,759	備蓄目標に向け設定した5カ年計画 に基づき、幅広く対応できよう調達を	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		調理方法や保管場所等、避難者の
消防防災課		①24,000食 ②24,000 L	①23,441食 ②19,560L	0	継続	数を確保し続けるように調達継続する。	ニーズを柔軟に反映し、住民の安心 安全に寄与していく。

### ① 消防・防災体制の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35106 家具転倒防止器具 等取付費補助事業	65歳以上の高齢者のみで市県民税 非課税世帯を対象に家具転倒防止 器具の購入、取り付けにかかる経費	申請件数	0件	0	0	家具の転倒を防ぐための器具につ いては、ホームセンター等で安価に	│ □前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	購入でき、申請を手間に考え申請を	補助金審査検討委員会からの提言も	
消防防災課	につき、10,000円を限度に補助を行う。	25件	0件	×	廃止		あり、令和3年度末をもって廃止。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35107 災害対策啓発事業		広報かつうら掲 載回数	7回	0	0	広報かつうら紙上にて、各家庭にお ける防災の注意点などを啓発する記	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 自助や共助の概念を広く周知できるよう、引き続き啓発を継続する。	
	各区・自主防災組織等の団体に対し、防災関係機関の協力を得て避	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
消防防災課	難や情報受伝達等の指導を図る。	10回	10回	0	継続	事を掲載した。		
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35108 防災メール配信事 業		登録件数 (住民向け)	2,378人	1,215	1,215		▼前期実施計画(R5~R8)に計上 携帯電話の所有率の増加に合わせ、	
	メール配信サービス及び運用保守	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	防災無線とともに、防災メール・防災 アプリと合わせて運用することで通信		
消防防災課	等について業務委託を行う。	2,500人	2,363人	0	継続	の確実性を担保する。	今後も防災メール・防災アプリ登録へ の広報に努めていく。	

### ① 消防・防災体制の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35111 避難路の整備	沿岸地域の区と協力し、一時避難 所・場所の選定を行い、避難路の整	避難路の整備 箇所数(照明 灯・看板)	避難階段1カ 所(守谷)	2,035	491		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	守谷区からの要望により、新規避難 階段を設置することが出来た。	老朽化した既設避難階段の保守点	
消防防災課	備、標識及び照明灯を設置する。	24箇所	樹木伐採1力 所	Δ	継続	PHAZEIKIE 7 でCCM・山水に。	検を行う。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35112 地域防災計画の見 直し及び業務継続 計画等の策定	市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を軽減することを	必要に応じて策 定または見直し た計画数	なし	0	0	今年度は改正の無い年であったが、 今後は組織改編等に合わせた改正 が予想される。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、県計画の改編などの情報 収集を行っていく。	
山西寺沙水龙	目的とした地域防災計画の見直しを図る。また、市民や防災関係機関等	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
消防防災課	が、平時からの災害に対する備えや 災害発生時に適切な対応がとられる よう、業務継続計画等を策定する。	(目標設定なし)	なし	Δ	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35113 防災士育成事業	自助、共助及び協働を原則として、 地域社会の様々な場で、減災及び 地域防災力の向上のために活動す	防災士資格取 得補助金利用 者数	0人	186	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	補助制度の利用申し込みが無い結 果となってしまった、補助制度自体	順次再開する予定の防災訓練や広	
消防防災課	地域防炎力の同主のために活動する防災士を育成する。	3名	0人	×	継続	の広報の必要性を感じる。	報誌等による制度啓発に努める。	

### ② 消防・防災施設の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35201 消防防災設備整備 事業	小型動力ポンプ付積載車(2-4(川津)班、6-1(松野)班、1-2(浜勝浦)班))の更新を行う。	更新配備数	1輌	21,300	19,961		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 今後とも適正な車両更新に努めていく。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	新しい免許制度に対応した車輌を 配備することが出来た。	
消防防災課		1台	1輛	0	継続	HIMM ) SECN EINCO	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35202 消防防災施設整備 事業	消防器具置場兼詰所の建て替えを行う。	老朽化解消率 (1一要改築棟 数/全詰所棟 数)	82.75% (1-5/29) ※0ヶ所	0	0	建て替えの前提となる班の合併に関 する協議の遅れから更新工事が止	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き、班の統合について、団側と の協議を継続する予定。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		
消防防災課	1170	82.75% (1 - 5/29)	82.75% (1-5/29) ※0ヶ所	×	継続	まっている状況で有る。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35205 防災行政無線更新 事業	・無線設備のデジタル化更新を行う。 ・防災アプリ維持管理	子局更新数	40箇所分の子 局更新、及び 10台の機器製 作	165,924	165,924		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	今年度、40本の更新を行い、残る7 本についても継続して更新予定。	A 1
消防防災課		1箇所	38箇所分の子 局更新、及び 10台の機器製 作	0	継続	THE AT COME NOT CONTINUED	令和5年6月末までの工期

### ② 消防・防災施設の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
35207 消火栓整備事業		整備箇所数	2箇所	2,579	2,579		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	消火栓を新規設置、更新し、水利の	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	毎年、消火栓を増強しており、防火 水槽とあわせて消化力の強化に努	各区や消防団の意見も踏まえ、適正
消防防災課	充実を図る。	5箇所	4箇所 (布設替1・ 消火栓改修 3)	0		<i>හ</i> ්තිං	な設置場所に設定に努めたい。

### ③ 自然災害対策の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35301 がけ崩れ啓発事業	がけ崩れの危険性の高い場所を地	警戒避難に関 する説明等によ る周知を実施	警戒避難に関する説明等に よる周知を実施	0	0	この事業を実施することにより急傾斜	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 大雨等により土砂災害発生の恐れの ある区域について、危険箇所や施設	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		寺の仏代を推進するため、平吊時に	
都市建設課	図や看板などにより周知する。	警戒避難に関 する説明等によ る周知を実施	警戒避難に関する説明等に よる周知を実 施	0	継続	続的に実施したい。	害から住民の生命、身体を保護する ことができることから、県出先機関で ある土木事務所と連携し、今後も実 施していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35302 治山事業	小規模治山緊急整備事業(県費補	崩落による事故 件数	0件	0	0	治山の工事自体は実施していない が、広報等通じて要望調査を行い、 要望箇所の進達を行い、また、事業	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 風化や自然災害等による崖地崩落などの危険から、住民の生命や財産を 保護するため必要不可欠な事業である。地域の要望等を勘案し、維持管 理、長寿命化対策に係る計画の策定 も含め継続して実施する。	
	助事業)により、崖地が崩壊した箇 所又は崩壊の恐れのある箇所につ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
農林水産課	いて、防護工事を実施する。	0件	0件	I	継続	採択に向けて、県と現地調査を実施 した。		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
35303 河川改修事業	ボックスカルハート L=65m 排水工 L=55m コンクリート柵渠 L=8m	工事完了延長	66.1m (計画延長 66.1m)	3,632	2,996	河川改修箇所においては、河川の 流水状況や隣接土地の受益者等を	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		71 1 1 1 2 1 7 11 11 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
都市建設課	コンクリートが一条 L=8m カコ・マット L=40m	14.5m	17.5m (計画延長 23.5m)	0	継続	勘案し、計画をもって整備していく。	引き続き計画的な整備に努める。	

				関係課	消防防	災課
-	施策名	3	自然と共生する安全なまちづくり			
1.		6	防犯・交通安全対策の推進			
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)
0	施策の達成状況を把握	指標1	犯罪発生件数	156件	106件	130件
∠.	するための参考指標	指標2	防犯カメラ設置台数	18台	29台	33台
		指標3	交通事故発生件数	65件	43件	55件
		1	防犯対策の推進			
		2	交通安全対策の推進			
2	施策の展開一覧					
J.						
4.	二次評価結果	防犯カメ 施されて	ラの設置のほか、防犯灯の整備や防犯パト いる。引き続き、防犯カメラの効果的な設置	ロール事業、交通安全教 や運用など、関係団体等	数室の開催など、安全対策の 等と情報共有を図りながら整	)推進への取組が着実に実 備を進めること。

### ① 防犯対策の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
36101 防犯灯整備·管理 事業	各自治会(区)からの要望に対し、防 犯灯を計画的に設置する。また、防 犯灯を管理する各自治会(区)に対 し電気料の一部を補助する。	防犯灯新規設 置数	7基	4,296	4,259		▼前期実施計画(R5~R8)に計上 電気料金の負担減、温室効果ガス排 出抑制、球切れ交換の負担減などからLED化を推奨している。	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	各区への補助制度により、安全な夜 道の往来を確保している。		
消防防災課		10基	23基	0	継続			
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
36102 防犯関係団体支援 事業	勝浦市防犯組合及び勝浦警察署内	防犯パトロー ル・キャンペー ンの実施	16回	817	817		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	特殊防犯協会に対し、補助金を交付し、各団体の防犯活動を支援す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	各種啓発やパトロール活動により、 犯罪発生の抑止に努めた。	今後も市民への正しい防犯知識の普	
消防防災課	刊し、行団体の例が旧画を文張する。	5回	13回	0	継続	のじずド元・エックが正(こうがい)に。	及に努める。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
36103 防犯パトロール事業	防犯パトロール団体を設置し、市民	パトロール日数	230日	0	0	青色回転灯装着車の定期的なパト	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	が安全で安心して暮らすことのでき るまちの形成に向けたパトロール等	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ロールや電話詐欺情報に基づく臨	現場移動の際に青色回転灯を点灯	
消防防災課	を実施する。	150日	150日	0	継続	寄与した。	し、走行することで経費を少なく実施 できており、今後も活動を継続する。	

### ① 防犯対策の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
36105 防犯カメラ設置事業	※ 安心で安全なまちづくりを促進する	防犯カメラ設置 台数(総数)	1台(29台)	1,072	968	今年度は新規1台、旧型更新2台。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	ため、街頭等へ計画的に防犯カメラ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	元が五、日本の戊五に戊五(3)	今後は老朽化したカメラの更新ととも
消防防災課	を設置する。	2台(31台)	1台(28台)	0		事が出来た。また、老朽化し利用頻	に、新規設置場所の選定について警察と綿密な協議を行う。

### ② 交通安全対策の推進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
36202 交通安全啓発推進 事業	し保育所、幼稚園、小中学校において交通安全教室を開催する。			1,044	1,044		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	・交通安全運動期間中にキャンペーン運動を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度		各種の活動により交通事故防止へ の効果があった。	今後も市民への交通安全知識の啓
消防防災課	・交通安全協会に対し、補助金を交付し、交通安全に関する啓発活動等を支援する。	30回	36回	0	継続	<i>&gt;&gt;</i>	発に努める。

関係課 学校教育課・生涯学習課・給食センター・企画課・福祉課

				124 PT BOX							
1	施策名	4	次代を担う人と文化を育むまちづくり								
1.	<b>ル</b> 東石	1	学校教育と青少年教育の充実								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	普通教室の無線LAN整備率	0%	100.0%	100.0%					
2.	するための参考指標	指標2	普通教室の電子黒板整備率	0%	100.0%	100.0%					
指標3											
① 学校教育内容の充実											
		2	青少年の教育体制の充実								
2	施策の展開一覧	③ 教育施設の整備・改善と有効利用の推進									
Э.											
		普通教室	室の無線LAN整備率及び電子黒板整備率	がともに目標数値の100	%になり、生徒へのICTを効果	と と と 的に活用した教育を一層					
4.	— 八叶 Ш 州 不	ある学校	進するため、教員の指導力向上のための研修等を充実させること。また、情報教育のほか、国際武道大学との連携などによる特色 る学校教育の実施や、こどもと親の相談員の確保や家庭教育学級の継続などにより学校と家庭や地域との連携を図ることで、引き								
続き教育の充実を図っていくこと。											

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41101 中学生海外派遣事 業	参加生徒数:15名、引率者2名(教 <b>-</b>	派遣実績人数	派遣中止 (代替事業 実施)	1,592		新型コロナウイルス感染症の影響により海外への派遣を中止した。		
	員)	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	代替事業として勝浦中学校2年生を 対象に外国語活動(イングリッシュ		
学校教育課	定額補助:50,000円	10人	中止	0	401-4-1-	キャンプ)を実施した。 代替事業については概ね高い評価 を得られた。	中学生語学研修事業として計上。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41102 情報教育推進事業	ICTを効果的に活用した教育を推 進するためには教員のICT活用指	普通教室におけ る無線LAN整備 率	100%	3,300	3,102	GIGAスクール推進事業において、 GIGAスクールサポーターを配置	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	導力の向上が不可欠であることから、教職員のICT活用研修を実施す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	し、学校間及び教職員間でのICT活	情報活用能力育成事業として計上。	
学校教育課	る。また大型展示装置等のICT機器の充実を図る。	100%	100%	0	継続	用スキルの底上げを図った。	情報活用能刀育成事業として計上。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41103 外国語指導助手招 致事業	AI TOタナル 由学校祭に派集) 芸	外国語指導助 手の人数	100%	16,822	16,004	小学校の外国語活動、外国語の授	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	ALT3名を小中学校等に派遣し、英会話の基礎を学びながら異文化に	目標数値	前年度結果	達成度		業や中学校における聞く・話す・書く・読むといったコミュニケーション能	引き続き外国語指導助手の有効活用	
学校教育課	親しみ国際的感覚を養う。	3人	100%	0		力の基礎の養成に対して効果が あった。	を図っていく。	

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41104 特色ある学校教育 推進事業	総合的な学習の時間や特別活動を 中心に、各学校の実態に応じて特	実施校	6校	3,619	1,343	令和4年度においては千葉工業大 学と連携した活動を行うなど、学校	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ケン・ルクトッカーンマギン 口田 フット	国際武道大学や千葉工業大学など
学校教育課	色のある教育活動を展開する。	6校	6校	0	継続	リールコンマ物 ギバナファールと 人物 !	関係機関と連携した教育活動を展開していく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41106 学校給食における 地産・地消の推進	学校公会の会社は アー地相立口も	賄材料費全体 に占める地場産 品購入割合	23.12%	19,346	17,475	生産者(加工業者)との協議の中で 提供する地場産品の品目を維持す ることができた。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	学校給食の食材として、地場産品を 献立てに取り入れることで、地産・地	目標数値	前年度結果	達成度		右され易いことから、安定した収穫	今後もさらに地場産品の割合を高め
学校給食共同調理 場	消を推進する。	2割以上を維持	22.23%	0	継続		ることで、郷土愛や食育の知識を高 める。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41107 勝浦中学校水泳指 導事業		水泳指導回数	3回	662	240	ウォーターセーフティ教室と心肺蘇 生AED指導を計3回実施した。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	勝浦中学校の水泳指導において国際武道大学の講師等を招聘し、ライフセービング講習及び心肺蘇生法講習会を実施する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	他の教育課程との兼ね合いもあり、目標数値には至らなかったが、事業	限られた授業時数において 実施す
学校教育課		5回 (うち心肺蘇生・ AED指導3回)	中山	0	継続	目的は達成することができた。 今後は他の教育課程を含め、限られ た授業日数において効率的に事業 実施を行う必要がある。	【スベキ数苔钾钽な老膚】 効率的に 】

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41108 市内小中学校の部 活動指導及び交流	総合的な学習や特別活動の時間を中心に、国際武道大学の留学生とのなる。また、東明	派遣人数	中	55	0	新型コロナウイルス感染症の影響により部活動における交流事業を行う	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
事業	の交流事業を実施する。また、専門 的知識・技能を有する学生を外部指	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ことはできなかった。	部活動の地域移行を見据えての事
学校教育課	導者として招聘し部活動の指導を依頼する。	10人	中止	_	拡大	今後は部活動の地域移行を踏まえ ての事業展開が必要である。	業として展開していく。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41110 就学援助事業	要保護児童生徒(生活保護世帯)及 び準要保護児童生徒(生活保護世	準要保護児童 生徒数	小学校62人 中学校44人 計106人	13,069	11,000	保護者の経済的負担の軽減を図る	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	帯に準じる生活困窮世帯) に対し、 保護者の負担を軽減するため学用	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	とともに、児童生徒の円滑な学校生活の確保に資することができた。	義務教育の円滑な実施を図るため、
学校教育課	品、通学費、給食費、修学旅行費などの費用を支給する。	(目標設定なし)	小学校70人 中学校44人 計114人	0	継続		引き続き実施していく必要がある。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41111 特別支援教育就学 奨励事業	特別支援教育を受けている児童生	特別支援就学 奨励費支給児 童生徒数	小学校12人 中学校5人 合計17人	973	809	特別支援学級に在籍する児童生徒	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	徒の保護者に対し、学用品費、通学	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	の保護者の経済的負担の軽減を図	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するた
学校教育課	費、給食費などの費用を支給する。	(目標設定なし)	小学校9人 中学校9人 合計18人	0	継続	ることができた。	め、引き続き実施していく必要があ る。

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41112 遠距離通学児童生 徒対策事業	統合校への通学に係るスクールバス 運行の実施及び路線バス定期代、 タクシー借上に係る費用を補助す る。	遠距離通学児 童生徒数	小学校122人 中学校113人 合計235人	60,847	51,699	統合により通学区域が変更となった 児童生徒の通学手段の確保等を行 うことにより、学校教育の円滑な実施	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 新型コロナウイルス感染症対策を徹 底して実施するとともに、小中学校の	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	と保護者の経済的負担の軽減が図 られた。	統合の進展や公共交通機関のダイヤ変更等にも適宜対応していく必要が	
学校教育課		(目標設定なし)	小学校121人 中学校124人 合計245人	0	継続	令和5年度から勾配が大きい坂などがある旧新戸小学校区の生徒に対しスクールバスでの通学を図るなど	ある。 児童生徒数の動向を踏まえ、運行 ルートの集約等効率的な運行経路へ の見直しを検討する必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41113 教材備品購入事業	新学習指導要領に対応した教材や	教材備品購入 費	2,661,594円	2,816	2,670	学校の要望に則した教材備品の調 達が適宜図られた。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	理科教育設備に係る教材、その他 の学校教育の充実のための教材備	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		一人一台端末の進展に伴いデジタル	
学校教育課	品の整備を図る。	(目標設定なし)	2,091,780円	0	継続		教科書等の教材の調達についても実施していく必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41114 子どもと親の相談員 活用事業	経験が豊かで積極的に取り組む意 欲のある人を相談員とし、児童の話	活動日数	152日	772	761	児童生徒の問題行動等への発展を 未然に防止できたと考える。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	し相手、悩み相談にのり、不登校や	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	現在1名の相談員により展開してい	いじめ不登校対策事業内において事	
学校教育課	問題行動等への早期の対応を図る。	115日	150日	0	継続	るが、新たな人材の確保について検 討する必要がある。	業展開していく。	

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41115 特別支援教育支援 員配置事業	特別な支援を必要とする児童生徒	特別支援教育 支援員人数	22人	24,407	23,932		✓前期実施計画(R5~R8)に計上	
	の学校生活や学習上の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	特別な配慮等を要する児童生徒へ の対応として適切に配置できたと考	特別な配慮を要する児童生徒数は増加しており、特別支援教育支援員の	
学校教育課	します。	25人	28人	0	継続	える。	効率的かつ効果的な配置や活用方 法を引き続き検討する必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
32301 体験学習推進事業	海岸清掃、学校周辺清掃、ゴミゼロ 運動参加やリサイクル活動を通じ、	職場体験受入 人数	中止	0	0	現在は、事業自体が中止されている	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	学校教育における体験学習の一環として、環境保全に向けた活動を教	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		   (前期実施計画(R5~R8)について	
生活環境課	育委員会と連携して共同で推進する。	目標設定なし	中山	I	継続		は、事業番号「55104」に統合)	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
55202 国際化の推進	海外への中学生派遣等の教育施策 とともに、国際武道大学留学生との 交流機会の拡大等による異文化交 流を推進する。	国際交流事業 実施校	中止	0	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響に より事業中止	異文化交流の実施にあたり、ICT機	
(再掲) 企画課·学校教育 課·生涯学習課	また、海外姉妹都市の提携について検討する。	6校	中止	_	継続	30/尹末 「止	器を活用していく必要がある。	

### ② 青少年の教育体制の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41201 家庭教育学級の開 設	家庭教育学級を開設し、家庭や子 育ての在り方等についての学習を 通して教育力を高め、相互の交流	参加者	793人	0	0	地域の方や保護者と児童生徒など	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	会後の方向性	が一同に会する講習会として各学校	学校・家庭・地域の連携は非常に重要なり、参加者は名となる。	
生涯学習課	や情報交換を図る。	900人	505人	0		交流を深めることができた。	要であり、参加者も多く好評であるため今後も継続すべきと考える。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41202 子ども会育成交流 会の開催		子ども会会員数	I	359	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	単位子ども会の交流会を開催する。	目標数値	前年度結果	達成度		新型コロナウイルス感染症拡大等に より、実施できない事業があった。	今後とも子ども会会員の交流を図る	
生涯学習課		101人	_	_	継続	<b>よバス/地ででない。</b>	ため継続が望ましい。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41203 青少年のつどい大 会の開催		参加児童数	43人	21	0	##************************************	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 市内小学生を対象とした他校の子供	
	小学生を対象に、レクリエーション事業を開催する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	会を遠見岬神社周辺にてオリエン	たちとの交流は、友情が深まり、更に	
生涯学習課	未で 用性りる。	86人	40人	Δ	継続	テーリングを実施した。	は健康な身体づくりが図られることから重要な事業であり、今後も継続していきたいと考える。	

### ② 青少年の教育体制の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41205 青少年の心の育成 啓発事業	関係機関と連携し、青少年の心の育成啓発を図るとともに、社会環境の	講演会事業 対象中学生数	257人	657	244		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	講演会事業の代替として中学生と SDGsについて考える勉強会を実施	青少年の健全育成を図る上で、地域 との連携は重要であり、今後も継続し ていきたいと考える。	
生涯学習課	浄化を促進する。	312人	306人	0	継続	した。		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
41206 地域学校協働事業		ボランティア数	2607人	3,648		学校支援ボランティア制度実施要項 に基づき、ボランティアによる学校支	地域しの連維は北党に手両づなり	
	地域と学校が連携・協働し、子供たちの学びや成長を支える事業を行	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	また、小学生、中学生に多様な体験		
生涯学習課	う。	100人	853人	0		活動を実施し、字習支援や英語教	や休騒ができ 合後も継続すべきと	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
44101 各種スポーツ教室 の開催		スポーツ教室参 加者数(教室 数)	1, 045人 (7教室)	305	56		✓前期実施計画(R5~R8)に計上 スポーツ振興及び健康で活力のある	
	ソフトテニス教室・バレーボール教 室・水泳教室等を開催する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	コロナウイルス感染症予防対策を徹	市民生活を営むうえでも、各種スポー	
生涯学習課	土 小が牧土する間限りる。	1,500人 (8教室)	254人 (3教室)	0	継続	底することで実施できた。	ツ教室の開催は重要な事業を認識しており、今後もニーズを的確に把握し 事業を継続すべきと考える。	

### ③ 教育施設の整備・改善と有効利用の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41302 学校体育施設開放 事業	学校体育施設を夜間開放し、市民	利用団体数	36団体	ı	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の親与なる。昨年に引き続き、原	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	スポーツ、レクリェーション活動の場	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	の観点から、昨年度に引き続き、児 童・生徒の健康と安全面を最優先	市民のスポーツ振興及び健康で活力 ある市民生活を営むうえでも重要な
生涯学習課	に提供する。	32団体	36団体	0	継続	し、廃校施設のみを開放し、運用し た。	事業と認識しており、今後も継続して いきたいと考える。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41303 学校規模及び配置 の適正化の推進	児童及び生徒数の動向や地域の実	検討事業のた め評価は困難		82	0	児童数の動向を把握し、今後を見据	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 複式学級を実施している学校が複数 校ある状況において、保護者からは
	情などを踏まえ、学校規模及び配置	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	えた学校規模等についての想定が	同学年での交流の希薄が不安要素と して挙げられている。
学校教育課	の適正化を図る。			Δ	継続	必要と考える。	適正規模の検討を行うとともに、異学校間での同学年交流を促進してい く。

生涯学習課・芸術文化交流センター・図書館

関係課 •学校教育課•企画課•生活環境課 次代を担う人と文化を育むまちづくり 4 施策名 生涯学習の推進 2 参考指標名 当初数值(計画策定時) 今回数值(R4年度末) 目標数値(R4) 指標1 各種学級参加者数 1.891人 1,150人 1.900人 施策の達成状況を把握 するための参考指標 指標2 指標3 市民のニーズに対応した学習機会の提供  $\bigcirc$ 生涯学習施設の整備 自主的サークルの支援 3. 施策の展開一覧 **(4)** 多様な交流活動の促進 各種の講座・教室・学級の開催にあたっては、市民の興味関心に対応し、かつ学習の場を提供するなどの成果が見られるため、今 後も、市民ニーズの把握に努めて内容の変更などを行いながら、幅広い多数の市民の参加も促すような教室等を検討し実施するこ 二次評価結果 と。また、生涯学習の推進を図るために、市の主催事業の開催等のほか、自主的なサークル活動を促進することで、幅広い市民の文 化活動や交流活動の活性化に努めること。

# ① 市民のニーズに対応した学習機会の提供

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
42101 市民講座・教室の 充実	<ul><li>・市民文化教室の開催</li><li>・勝浦市芸術文化団体連絡協議会</li></ul>	定員充足率 (申込者数/募集 者数)	88.8%	1,914	1,869	を3年ぶりに開催することができ、市	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 定員充足率や参加者アンケート等を 参考に、市民のニーズの把握に努 め、実施した文化教室・講座の継続
	主催の芸文協まつりの後援	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	が図られた。	や新たな教室・講座の開催を検討す
芸術文化交流センター	・文化祭において市民文化教室で の学習成果の発表、展示	90.0%	82.2%	0	継続		る。 市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心は高く、これに応えるべく 様々な文化教室・講座を開催し、更なる充実を図る。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
42102 自然をテーマとした 学習の推進		学習会参加人 数	21人	0	0	海の博物館の学芸員の解説により、	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	磯の観察会など、海の博物館などと 連携して行う。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	馴染みの少ない生物まで観察するこ	郷土の自然環境をより深く学習するこ
生涯学習課	<b>)生物して行力。</b>	25人	_	0	継続	とができた。	とは重要であるため、今後も継続して いく。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
42103 各種学級の開設		各種学級参加 人数	1,150人	751	420	高齢者や女性等が生きがいのある 生活が送れるよう学習の場を提供す	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	婦人学級、高齢者学級、大洋家庭 教育学級等を開催する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ることは市民の交流を深めることにも つながり有効であることから、新型コ	地域の連携は非常に重要であり、参加者は名となるであるなる。
生涯学習課	が日子が子で阿庇)。	847人	_	0	継続	A A A A B A B A B A A B A B A B A B A B	加者も多く好評であるため、今後も継 続すべきと考える。

### ① 市民のニーズに対応した学習機会の提供

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
42104 おやこたいむ事業	乳幼児・幼児連れの利用者が気兼	利用者数(延 べ)	休止	0	0	令和4年度は新型コロナウイルスの	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 新型コロナウイルス感染拡大の収束
	ねなく館内を利用できるよう、優先時	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	感染拡大防止のため、令和3年度に	後の再開を目指す。その際は、ホー
図書館	間帯(おやこたいむ)を設定する。	140人	休止	1	継続		エスページスの掲載による同知寺、利用者数を増やすための試みが必要と考える。

### ② 生涯学習施設の整備

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
42203 図書館福袋事業	利用者に新しいジャンルや作家の 本と出会う機会を提供するため、中	利用者数(延 べ)	28人	0	0	事業実施期間を長くするなど工夫	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	身が分からないように複数の本を入 れた「福袋」を作成し、貸し出しを行	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	し、広報等による周知を行ったが、目	魅力ある福袋の提供を前提に、選書 にあたっては閉架書庫にある本を利
	い、読書ファンや図書館利用者の増加を図る。	30人	21人	Δ	継続	標数値までは届かなかった。	用する等、当事業の実施による蔵書 の有効活用にも努めていく。

## ③ 自主的サークルの支援

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
42301 自主的サークル活 動の支援	自主的に活動しているサークルの学	施設利用サーク ル団体数	93団体	0		など、市民の人化活動・交流活動の活性化が図られた。 サークル紹介・会員募集チラン等の	市民の学習意欲や芸術・文化への興味・関心は高く、これらの受け皿としてのサークル団体の文化活動・交流活動の支援は重要と考え、一会をも継続
	習場所として、集会所施設や芸術文化交流センターの利用の促進、各種教室の開催及び新規サークルの		前年度結果	達成度	<b>全谷の宝白州</b>	掲示やホームページでのPRなど、経費を抑えた効率性の高い事業を 行った。しかしながら、新型コロナウ	して実施する。 芸術文化交流センター及び各集会 所の利用促進や、各種文化教室・講 座の開催による新規サークル団体の
芸術文化交流センター	発足を支援する。	120団体	119団体	Δ	継続	が低調となり解散する団体も見受けられた。 利用者の施設使用料については、 サークル活動の支援、受益者負担 の原則など、様々な観点から利用者 負担(減免率)のあり方について検	発足のきっかけを創出し、市民の文 化活動・交流活動の活性化に努める ものとする。 また、サークル活動の支援、受益者

### ④ 多様な交流活動の促進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
42401 人材育成事業	次代を担う小中学生の多様な活動	対象件数	団体2件	150		新型コロナウイルス感染拡大により 海外派遣事業は実施できなかったも のの、代替として実施したイングリッ シュキャンプを通じての市内中学生	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	を通じ、人材の育成を図る。(中学生	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	の国際感覚の養成	青少年健全育成に関する事業に対	
生涯学習課	海外派遣 他)	3件	個人1人 団体1件	0	継続	に努めるとともに、ソフトボール競技 における全国及び関東大会出場 チームへの助成を実施し、青少年の 健全育成を図った。	する助成については重要であると考え、継続して行う必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
55201 友好都市との交流 促進	全国勝浦ネットワーク及び西東京市との友好都市盟約に基づき、文化・教育・福祉・産業交流の促進を図る。 全国勝浦ネットワーク会議(首長会議)を開催する。	イベント交流回 数	3回	623	362	イベント交流については、新型コロ ナウイルス感染症の影響により一 部、実施できなかったが、コロナ前の	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	勝浦市、勝浦町、那智勝浦町、西東京市で	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	父流に戻りつつある。	国勝浦ネットワーク会議での取り決め	
(再掲) 企画課	開催されるイベントに相互に出展し、産業交流の促進を図る。 勝浦市、勝浦町、那智勝浦町で開催される 文化芸術イベントに相互に参加することで、 文化交流の促進を図る。	5回	1回	0	継続	全国勝浦ネットワーク会議を勝浦町で開催することができ、首長同士の交流が深まった。	事業のうち、特に文化交流にについて確実に実施する必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
55202 国際化の推進	海外への中学生派遣等の教育施策 とともに、国際武道大学留学生との	国際交流事業 実施校	中止	0	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	交流機会の拡大等による異文化交 流を推進する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。	  いじめ不登校対策事業内において事	
(再揭) 企画課·学校教育 課·生涯学習課	また、海外姉妹都市の提携について検討する。	6校	中止	0	継続		業展開していく。	

				関係課	生涯学習課・芸術文	化交流センター
1	施策名	4	次代を担う人と文化を育むまちづくり	-		
1.	<b>旭</b> 東石	3	伝統文化の保存と芸術文化の振興			
			参考指標名	当初数値(計画策定時	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)
2.	施策の達成状況を把握	指標1	芸術文化団体数	85団体	93団体	110団体
۷.	するための参考指標	指標2	文化ホール等利用者数	159,611人	138,353人	170,000人
		指標3	市民文化教室参加者数	320人	305人	400人
		1)	文化財の保存と活用			
		2	芸術文化活動の振興			
9	施策の展開一覧					
ა.	加水の成用 見					
4.	二次評価結果	芸術文化民ニース	と団体数、文化ホール等利用者数、市民文 、を的確に把握し、それぞれの事業方法など	化教室参加者数ともに どを見直し、有効性の高	、目標数値及び前年度の数値 い事業を実施すること。	<b>を下回っていることから、市</b>

### ① 文化財の保存と活用

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
43101 文化財の保護活用		市指定文化財 件数	27件	777	512	指定文化財の指定、指定等文化財 の修理のための文化財調査等を実	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 歴史的に貴重な文化財の保存管理	
	文化財の調査、指定や保存、歴史の伝承に努める。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	施し、文化財の保護、保存に努めた。 た。また、郷土資料室の運営、「国	は重要な事業として認識しており、また。市民の文化教養を真めるために	
生涯学習課		25件	26件	0	継続	宝・重文を訪ねて」の開催など、市民	も「国宝・重文を訪ねて」は、今後も継続して生きたいと考える。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
43102 ふるさと歴史散歩	市内または県内の歴史的建造物や	参加人数	30人	142	76	個人では移動手段の無い高齢者等	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	遺跡などの見学会を年2回程度開	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		史跡を歩いて巡る生涯学習事業と健康づくりを目的としてウォーキングを	
生涯学習課	催する。	30人	_	0		提供することができた。	統合したもので、行政効率の面からも継続したいと考える。	

### ② 芸術文化活動の振興

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
43201 芸術文化等の振興		音楽コンサート 等来場者数 (開催回数)	6,497人 (27回)	14,989	,	「新型コロナウイルス」感染拡大防止対策の観点から縮小・中止・延期をした事業もあり、来場者数・開催回数ともに減少したが、市民が心豊かな生活を送るため、質の高い芸術・文化に触れる機会を	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 市民の様々な芸術・文化に対するニーズ に応えるため、質の高い芸術・文化に触 れる機会を提供したがらも、入場料収入
	市民向けのコンサートや演劇など開催し、芸術文化等の振興に努める。	目標数値	前年度結果	達成度	A W m dayle bit.	提供するとともに、 市民及び近隣地域任	の確保、有効な宣伝方法及び開催方式 (共催)等について検討し、可能な限り収
芸術文化交流センター		9,700人 (30回)	4,091人 (17回)	Δ	継続	性の高い事業と考える。 公演委託料及び広報宣伝費等の経費 節減を図っており、現状の事業費は適正	支の均衡を図る。 次年度は、施設の維持及び自主イベント の充実に向けて、民間活力の活用につい て検討するため、サウンディングを実施す る。

				関係課	生涯学	習課
1	施策名	4	次代を担う人と文化を育むまちづくり			
1.		4	生涯スポーツの推進			
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)
0	施策の達成状況を把握	指標1	スポーツ大会・教室参加者数	6,063人	2,444人	6,000人
2.	するための参考指標	指標2	学校施設開放事業利用団体・利用者数(延べ)	36団体 40,404人	36団体 15,233人	36団体 40,000人
		指標3	社会体育施設利用者数	11,686人	8,371人	12,000人
		1	地域資源を活用したスポーツの振興			
		2	社会体育施設の整備			
9	施策の展開一覧	3	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会	会の開催に向けた合宿地	等の誘致活動	評価事業なし
ა.	施水り放   見					
		<b>北</b>	女佐記の利田老粉はは小傾向になるとのの	、 夕 呑っぱ、 ツ 数字 や 十	<b>企工バ学技術記</b> 問提事業)	+ 参加老笠が増加傾向)でも
4.	二次評価結果	ることかり	育施設の利用者数は減少傾向にあるものの ら、引き続き、市民の健康増進やスポーツ振 討をすること。	、各種スポープ教室や人長興を図るため、市民ニー	云及い子校施設開放事業 ドズを的確に把握し、スポーツ	は参加を受ける。は多数をがある。
		<b>/</b> よこ V ノ19	tp1で y 少一Co			

### ① 地域資源を活用したスポーツの振興

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
44101 各種スポーツ教室 の開催		スポーツ教室参 加者数 (教室数)	1, 045人 (7教室)	305	56	各種スポーツ教室については、新型	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 スポーツ振興及び健康で活力のある	
	ソフトテニス教室・バレーボール教 室・水泳教室等を開催する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	コロナウイルス感染症予防対策を徹	市民生活を営むうえでも、各種スポー	
生涯学習課	主がが教主守を開催する。	1,500人 (8教室)	254人 (3教室)	0	継続	底することで実施できた。	ツ教室の開催は重要な事業と認識しており、今後もニーズを的確に把握し 事業を継続すべきと考える。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
44102 各種スポーツ大会 の開催	勝浦市スポーツ協会に事業を委託 し、加盟する各団体が各種スポーツ 大会を開催する他、県民体育大会 へ選手団を派遣する。	スポーツ大会委 託事業数	24事業	6,359	2,172	各種競技団体によるスポーツ大会等 (42事業)を事業計画したが、令和3 年度に引き続き新型コロナウイルス	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 スポーツ振興及び健康で活力のある	
	競技種目駅伝競走、野球、ソフトテニス、柔	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	感染症拡大防止のため、事業が中	市民生活を営むうえでも、各種スポー	
生涯学習課	道、剣道、空手、少林寺拳法、バレーボール、バスケットボール、卓球、ゴルフ、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ソフトボール、バドミントン	40事業	10事業	0		止となった。スポーツ大会は、スポーツ振興及び参加者の健康増進が図られ有効な事業である。	ツ教室の開催は重要な事業と認識しており、今後もニーズを的確に把握し 事業を継続すべきと考える。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
44103 各種スポーツ団体 育成及び連携強化	各種スポーツ団体活動(夷隅地区スポーツ推進委員連絡協議会・勝浦市スポーツ推進委員連絡協議会)への支援を充実し、団体の	支援団体数	2団体 (スポーツ協会・ スポーツ推進委 員連絡協議会)	442	292	市民のスポーツ大会やスポーツ教室 の実施団体であるスポーツ協会やス ポーツ推進員等の団体活動への支	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 市民のスポーツ振興と健康づくりを推	
	育成強化を図るとともに、国際武道大学と連携することで各種スポーツ教室の拡	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	援を図ることで、市民に対し広くスポーツの機会を提供することができ、	進するため、各種スポーツ団体との連	
生涯学習課	大強化や、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、海外とのスポーツ交流の推進や市民のスポーツに対する関心を高める。	2団体	2団体 (スポーツ協会・ スポーツ推進委 員連絡協議会)	0		実技指導及び体力向上などのスポーツ振興に対する功績は大きいものである。	携を強化し、継続して支援を図る必要があると考える。	

### ② 社会体育施設の整備

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
44201 市営野球場の整備	元北中学校の既存野球場を整備しつつ、次期総合計画において財政	財源や整備手 法を検討してい る段階であるた め評価は困難	用しグランド	2,220	2,090	実施計画に基づき既存野球場の整	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	状況を勘案しながら再度解体及び	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	性 備を図るため、グランドメンテナンス	引き続き既存野球場の整備を図りつ つ、市営野球場の建設について検討
生涯学習課	市営野球場の建設について検討する。		岩瀬砂を使 用しグランド メンテナンス 実施	I	継続	を実施した。	していく。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	十年中外田	- moder (-c m)			A //4 - 171 - 1411
	于未例女(土)中间四/	土は日际	本年度結果	予算額(十円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
41302 学校体育施設開放 事業		利用団体数	36団体	·	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
学校体育施設開放	学校体育施設を夜間開放し、市民 スポーツ、レクリェーション活動の場			-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止 の観点から、昨年度に引き続き、児 童・生徒の健康と安全面を最優先	
学校体育施設開放	学校体育施設を夜間開放し、市民	利用団体数	36団体	-	- 今後の方向性	新型コロナウイルス感染症拡大防止 の観点から、昨年度に引き続き、児	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 市民のスポーツ振興及び健康で活力

				関係課	総務課・1	<b>全画課</b>					
1	松竿夕	5	効率的な行財政と市民との協働によるま	きちづくり							
1.	施策名	1	市民参加と協働の推進								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	寺) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	1日あたり平均ホームページアクセス数	2,357件	6,479件	3,000件					
2.	するための参考指標	指標2									
		指標3									
		① 市民活動を支える仕組みづくりの推進									
		② 広報・広聴活動の充実									
9	施策の展開一覧										
٥.											
4.	二次評価結果	ホーム^ より一層	ページのアクセス数が年々増加しているなか 重要となることから、引き続き魅力あるデザィ	、今後、市民協働の推 インや編集機能の向上	進を図るためにも、市政情報を などに向けた改善を行うこと。	と適切に発信していくことが					

### ① 市民活動を支える仕組みづくりの推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
51101 NPO法人との連携 強化	県との連携による支援、その他活動	NPO情報コーナーの掲載率 (掲載法人/登録 NPO法人数)	通年掲載	0	0	9 県が認証しているNPO法人は10団体あり、このうち3団体の活動内容等の情報について、市役所を訪れる市民に対し、市民ロビーを使用して周	り」を掲げており、その理念の実現に
	への理解と参加を促すための広報・	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		向けた施策の1つとして、個人で有す る地域資源を地域社会のために役立
総務課	普及活動を行う。	50%以上	33.3% (3/9)	Δ	継続	■課題 NPO法人の活動とそれに対する 参画等を促すための広報及び普及 活動を推進し、継続して、目標数値 の達成を目指す必要がある。	てたいと考えている市民とそれを活用しようとする各企業及びNPO法人等との橋渡しを継続して行っていく必要がある。 また、目標達成に向けて、積極的にその活動の周知を図る必要がある。
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
51103 まちづくり活動推進事業	青少年による市民活動団体への補 助金を交付し、活動を支援する。	交付団体数	4団体 (住民主導 2·青少年2)	1,800	1,405	青少年によるまちづくりでは、国際 武道大学に働きかけることで、新た に2団体が活動を行った。 住民主導型では、新型コロナの影響により活動を休止していた団体が	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 広報での制度周知により、内容の問
	地縁組織及び地縁関連組織を対象	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	活動再開したことから、2団体の活動	い合わせが増えたことから、引き続
企画課	として、自主的に行うまちづくり活動 に対して、補助金を交付する。	6団体 (住民主導4·青 少年2)	3団体 (住民主導 1・青少年2)	Δ	継続	を支援することができた。 更なる活動団体の増加のためには、活動団体の掘り起こしやまちづくり活動の理念の醸成に向けた取り組みの必要がある。	き、"市民協働のまちづくり"の理念の酸成に向けた取り組みを行うとともに、活動団体の掘り起こしに努める。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
51104 地域コミュニティ施 設整備助成事業	区が区民の集会又は会議室等の場 として、使用するための集会施設を	整備要望充足率 (市補助を行った区 /施設整備補助要 望)	100%	310	305	■評価 区の集会施設は、地域の環境美化 作業や会合など、地域における共同 活動を行うための施設であり、地域 活動を行ううえで重要な拠点となって	✔前期実施計画(R5~R8)に計上
	新築、改築又は、補修する場合、そ	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	いる。 ■課題	制度の重要性を踏まえ、引き続き、
総務課	の整備事業に要する経費に対して 補助金を交付する。	100%	要望なし	0	継続	老朽化が進んでいる区の集会施設 もあることから、補助金の予算措置 等の観点を含め、引き続き、各区と の連携を図り、その状況を把握する 必要がある。	

### ② 広報・広聴活動の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
51202 市民意識調査事業	市の取組みに対し、市民がどのよう	アンケート調査 実施数	0	0	0	本年度は実施していない。 市民負担を考慮しつつ 定期的か市	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 市民の評価や今後の課題、市政に対する期待や発展の方向性を明らかに	
	に感じているのか、また、これから市 にどのような取組みを求めているの	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	氏息   両側	する期待や発展の方向性を明らかにするため、前期・中期・後期の各実施	
総務課	かを調査、検討する。	(数値目標なし)	1回	×	継続	ある。	計画期間中に市民意識調査を実施していく。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
51203 パブリックコメント手 続制度の活用		パブリックコメント 手続に市民から 寄せられた意見 の数	8件	0	0	■評価 職員向けの手続マニュアルの周知 と併せ、各所属に対し積極的な制度	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	パブリックコメント制度の推進を図 る。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	の活用を促した。 ■課題	市の施策決定過程における市民からの意見提案の重要な手段として、そ	
総務課	<i>'</i> J o	(数値目標なし)	4件	0	継続	引き続き、市民にとって、意見提案	の透明性や周知等の観点を含め、継続していく必要がある。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
51204 公式ホームページ による情報化の推 進	市ホームページを開設運営し、情報提供する。	1日当たりのホー ムページアクセス 数	6,479件/日	805	799	コロナ関連や観光振興など迅速に 魅力ある情報発信に努めた。	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	・市の紹介 ・行政情報	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ホームページの利用者も増加傾向	更なるホームページの閲覧機能や編集機能な真な。また、魅力なるデザイ	
総務課	・くらしの情報・防災情報	3,000件/日	5,800件/日	0	継続	にあり、さらに利便性を高めるための 改修を必要とする。	集機能を高め、また、魅力あるデザインにするため、全面的な改修を行う。	

## ② 広報・広聴活動の充実

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
51205 市長への手紙事業	市民等からの意見・提案に対し、随	「市長への手 紙」として受け付 けた手紙の数	26件	9	4	市民が直接市長へ意見・提案を行う	▼前期実施計画(R5~R8)に計上	
	時回答するとともに、主な内容をまと め定期的に公表する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	ことにより、市民参加と開かれた市政 を推進するとともに、行政施策の充	市民参加と開かれた市政を推進していくためには効果的な事業であり、今	
総務課	め定期的に公表する。	(数値目標なし)	12件	0	継続	実を図ることができた。	後も積極的に実施していく考えである。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
51206 市民会議の設置・ 運営事業		会議開催回数	0回	0	0		□前期実施計画(R5~R8)に計上 市民の視点から様々な意見や提言を	
	市民会議を開催する。※年4回開催 予定	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	本年度は案件がなかったため、市民会議の開催はなかった。	求める会議だが、平成29年度を最後 に開催していない。実施計画には含	
総務課	, AL	(数値目標なし)	0回		継続	THE PROPERTY OF STEE	に開催していない。美旭計画には含めず、必要に応じ実施していく考えである。	

				関係課	総務課・企画課・財	<b>☆課・税務課</b>					
1	施策名	5	効率的な行財政と市民との協働によるま	ちづくり							
1.		2	行財政改革の推進								
			参考指標名	当初数値(計画策定	時) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
2.	施策の達成状況を把握	指標1	将来負担比率	110.6%	3.6%	139.8%					
۷.	するための参考指標	指標2	市税徴収率	85.7%	93.0%	88.8%					
		指標3									
		1)	① 行財政改革の推進								
		② 組織の効率的な運用と人材育成の推進									
2	施策の展開一覧	③ 健全な財政運営の推進									
٥.	加水の放用 見										
4.	二次評価結果	ため、安	旦比率及び市税徴収率ともに目標数値を達り定的な歳入を確保するよう努めるとともに、 「実質を実施すること。	成しているものの、今 事務事業の見直しや?	後も市内の人口減少や高齢化≅ 公共施設の効果的な活用を図る	率の上昇は続く傾向にある など、持続的かつ効率的					

### ① 行財政改革の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
52101 行政改革の推進	「勝浦市行政改革大綱」に定める実	実施計画実施 率	97.44% (実施件数 38/計画件 数39)	174	46	■評価 行政改革大綱は、その指針や個別 のアクションプランを併せ持つ計画 であるため、その進捗管理等を行う ことにより、大綱及び実施計画の適 正管理及び実施に努めた。	これまでの行政改革の取組の検証 と合わせ、国において推し進めるデジ	
	施計画の目標達成のため、適正な	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	でを推進期間とする新たな行政改革	タル技術の積極的な活用、また、働き 方改革など、質的な改革を進め、市 民サービスの向上と持続可能な行政 運営に努めるとともに、市民との協働 や多様な主体との連携を図り、行政	
総務課	管理、実施に努める。	100%	97.44% (実施件数 38/計画件 数39)	0	継続	大綱を策定した。 ■課題 日々変化する市民サービスに応え		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
52102 財政計画の推進	持続的かつ効率的な財政運営を図 るため、勝浦市財政計画(平成29年	財政計画には目 標数値を設定して いないため、評価 設定なし		0	0	前期基本計画事業との整合性を図	☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	度から令和4年度まで)を財政状況 を勘案しながら必要に応じ見直しを	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	り、新行政改革大綱との歩調を合わ	前期基本計画の事業進捗に合わせて、必要に応じて計画の見直しを図	
財政課	行うとともに、令和5年度以降の計画を作成する。			0	継続	せて令和5年3月中の策定を行った。	る。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
52103 公共施設等総合管 理計画の策定	計画執行期間中(平成29年度から	学校教育系個 別施設計画策 定	焼却施設そ の他の計画 を策定した	51,216	51,216		☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
	令和8年度まで)。必要に応じて見直 しを行うとともに引き続き個別計画を	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	全ての対象施設の個別施設計画の策定を終えた。	個別施設計画を踏まえて、公共施設等総合管理計画の改訂や状況に応	
財政課	策定していく。	学校教育系個 別施設計画策 定	スポーツ施設計画を策定した総合管理計画を改訂した	0	継続		でで個別施設計画を改定する。	

### ① 行財政改革の推進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
52104 勝浦若潮キャンパス 跡地の利活用	公共施設としての利活用と民間企業等への貸し付けを実施する。	中央保育所及 児童館及び 商業施設の 0 0 0 機続的利用 継続的利用 校舎は、一部を児童館とし、グラウン ドは 民間企業				☑前期実施計画(R5~R8)に計上	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	校舎側の敷地の活用について庁内	グラウンドは、貸付を継続する。 校全側の動地の利活用方法につい
財政課		中央保育所及 び商業施設の 継続的利用	児童館及び 商業施設の 継続的利用	0	継続		校舎側の敷地の利活用方法について改めて検討する。

### ② 組織の効率的な運用と人材育成の推進

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
52201 定員適正化計画の 推進	「勝浦市定員適正化計画」により適	定員適正化計 画との比較	238人	0	0	令和4年度の目標とする職員数235 名に対し、3名増となる238名という結 果になった。 地方創生人材制度の活用により国・	▼前期実施計画(R5~R8)に計上
	正な職員の定員管理を推進する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	県からの職員派遣を受けたことや、 構造改革特区制度による学校設置	今後は、行政需要を見極めながら、 計画に沿った定員管理の進行管理を 進めていく。
総務課		±0人 (計画通りであ ること)	±0人 (定員適正化 計画240名、 実績数240名)	0			
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
52202 人材育成基本方針 の推進	「勝浦市人材育成基本方針」に基づ	研修受講者数	105名	0		0 能力開発に係る研修並びに実務的な研修や、民間手法を取り入れた研修を要施するなど、多様なオーロスは	☑前期実施計画(R5~R8)に計上
			V ( , , , , , , , , )	3-44 - 15 p-4-4			月成刀町に至って、打政一一人に別
	いて職員研修の充実などを図り、職員の能力開発を推進する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	修化夫肌!のほと、多悚は妣修安講	応した各種研修の実施や受講を通して、職員個々の能力向上に努めてい

### ③ 健全な財政運営の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
52301 収納体制の強化	市税等徴収指導員等の嘱託に加 え、市税等の納付に関しても費用対	市税徴収率 (3月末市税徴収 率)	91.10%	3,140	3,068	数値は達成している。	よる地場産業の事業不振、失業、所
	効果を考慮しつつマルチペイメント、	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	今後も、納税者個々の状況を適切 に把握(財産調査等の強化)して、	得低下等により、滞納額は累積傾向 に転じてもおかしくない状況にある
	クレジットカードによる納付方法等の 導入を検討します。	88.80%	90.99%	0		収率を向上させていく必要がある。	が、納税者個々の状況を適切に把握 (財産調査等の強化)して、適正な徴収を行う必要がある。

				関係課	総務課・企画課・私	说務課・市民課					
_	+/ / <del>**</del>	5	効率的な行財政と市民との協働によるまち	づくり							
1.	施策名	3	時代に即した行政運営								
			参考指標名	当初数値(計画策定時	字) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)					
0	施策の達成状況を把握	指標1	マイナンバーカード交付率	6.0%	72.3%	13.2%					
2.	するための参考指標	指標2	行政サービスの満足度(窓口の対応) 平成28年度(H26市民意識調査)	73.2%	82.6%	80.0%					
		指標3									
		① 効率的な行政事務の推進									
		2	効果的な公共サービスの提供								
9	施策の展開一覧										
Э.	旭界の展開 見										
		コノナン	バーカードの交付率は大幅に向上し、行政サ	ービスの港 見 鹿を 日押	「粉値を達成している。市民への	7.温添出温に合わせて ラ					
4.	二次評価結果	マイテン イナンバ 実施する	ーカードの利用が円滑に進むよう、今後も市民	そのデジタルデバイド角	経験性を達成している。 市民へい 発消に向けた施策を推進するな	ど時代に即した行政運営を					
		大心りる	<b>ノ</b> ー こ。								

#### ① 効率的な行政事務の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
53101 分野を超えた相互 連携体制の確立	効果的に事務事業を進める必要が	課長会開催回数	13回	0	0	■評価 1つの所属で解決することが困難な 事務事業の実施など、より質の高い 市民サービスの提供を実現していく ため、毎月開催する定例課長会等を	より質の高い市民サービスの提供を	
	ある場合、各課相互の連携協力体制の強化を図るための方策を実施す	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	通じて、適宜、全庁体制での情報共	実現していくため、各所属間での連携、協議の必要性は、今後一層強ま	
総務課	る。	12回	13回	0	継続	有を図った。 ■課題 引き続き、効率的な機能組織の確 立を念頭に各課相互の連携協力体 制の強化を図る必要がある。	るものと見込まれることから、これに向けた組織内での連携強化体制の構築を推進する必要がある。	
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
53102 施策ニーズに応じた 人員配置	合理的かつ効率的な行政事務を推	施策二一スに心した 職員数 ①任期付職員 ②再任用職員 ③会計年度任用職 昌	①4名 ②4名 ③101名	0	0	に応じた人員配置を達成することが できた。	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 今後も引き続き行政需要を踏まえ、専門的な知識を持つ者を任期付職員として任用し、退職職員のこれまでの豊富な行政経験や知識を活かした再任用職員の任用を継続して進めていく。	
	進するため、施策ニーズに応じた柔 軟な人員配置を行う。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
総務課	), (a) (b) (a) (a) (b) (a) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b) (b	①1名 ②4名 ③93名	①4名 ②4名 ③96名	0	継続			
事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
53103 多様な事務を効率 的に行う体制づくり の推進	7,11,12,1	地域主権改革に伴う 条例制定・改廃市議 会提出件数	1件	0	0	■評価 地域の課題をその地域が主体的に 取り組むために、国がこれまで画一 的に法で定めていた事項を地域の 創意工夫による条例化等が可能と なったことから、国及び県からの情報 提供等を含め、その推進に努めた。 また、学校教育課においては、構		
	地方分権の流れを受け止め、多様な 事務を効率的に行う体制づくりを推 進する。	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	造改革特別区域法に基づく教育特 区の認定を受け、市内において、学 校設置事業を実施することが認めら	職員に対する効果的な研修やその 実践等を行うことで、それらの技術の 向上を図り、もって地方分権施策の協	
総務課		(目標設定なし)	0件	0	継続	れた。 ■課題 本市が持つ行政課題とその解決策 を検証し、地方分権施策の1つとして 国等へ協議提案するため、職員全体 として、行政事務等の基礎的技術や 幅広い知識の習得が必要不可欠で ある。	議提案等、本市のさらなる発展に向けた取組を行うことのできる組織体制の構築を目指す必要がある。	

#### ② 効果的な公共サービスの提供

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
53201 移動市役所業務	各地区を車両で巡回し、各種証明書	事務取扱件数	2,174件	2,095	2,095	取扱件数 2174件 収納額 7,840,842円	✓前期実施計画(R5~R8)に計上 人口減少と共に利用件数は減少して	
	の交付、各種申請の受付及び取次、 税、手数料等の収納等の業務を実	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	高齢化にといない遠方住民に対する	おり、将来的な存続に係る議論が必 要と考える。 検討するに当たっては、	
市民課	施する。	(目標設定なし)	2,762件	0	継続		利用者や多方面の意見を聴取しながら慎重に進める必要がある。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
53202 住民基本台帳ネット ワークシステム事業	地方公共団体共同のシステムとして、行政機関への本人情報の確認、	マイナンバーカード 交付率	72.3% (11,845件)	2,721	2,721	国のマイナンバー普及促進に伴うマ イナポイント付与制度により、申請者 の急増が見込まれたため、出張受付	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 国は全ての国民がマイナンバーカードを持つという目標を掲げているた	
	住民票の写しの広域交付など、住民の利便性向上及び住民基本台帳	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性			
市民課	カードの利用促進などについて、啓発を図る。	13.20%	36.1% (6,068件)	0	継続	や合同受付を実施し、申請者数の維保に努めた。	め、さらに申請者の増加が見込まれる。	
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望	
53205 電子自治体推進事 業	ちば電子申請システム及びちば電	電子入札の実施	236件 265件	2,331 69	2,277 69	入札依頼された案件すべてにおい て電子入札を実施した。 ちば電子申請システムを活用し、新	☑前期実施計画(R5~R8)に計上 引き続き電子入札を実施する。	
	子調達システムを活用し、事務の効率化及び利用者サービスの向上に	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	型コロナウイルスワクチン基礎疾患調査などをオンライン申請にすることで	行政手続きを目指し、電子申請が利	
総務課・財政課	努める。	(目標設定なし)	171件 14件	0	継続	市民の利便性向上に努めた。	用可能な行政手続きの拡大を進めて いくとともに、市民への周知に努め る。	

#### ② 効果的な公共サービスの提供

事業名·担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
地力が電丁甲ロ守の推進	利用可能なではのよれ中央	給与支払報告書を 提出した事業者数 に占めるエルタック ス利用者の割合	58 48%	1,456	1,454	利用者の利便性向上はもとより、申 告等の内容を電子データとして、本	利用老は美宝に描えている単辺のな
	切替申請など ・法人住民税:中間申告、確定申告、	目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性	市の基幹システムへのデータ連携に	か、国においても地方税税務手続の
税務課	*佐八住氏枕:中間中音、確定中音、 修正申告、納付など *固定資産税(償却資産):全資産申告、修正申告など	36.15%以上 (前年度以上)	54.41%	0		> +**** - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	デジタル化を推進しており、今後もさらなる普及が期待される。

				関係課	企画記	₹				
4	4- 15 E7	5	効率的な行財政と市民との協働による。	まちづくり						
1.	施策名	4	4 男女共同参画社会の形成							
			参考指標名	当初数値(計画策定時)	今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)				
0	施策の達成状況を把握	指標1	審議会などにおける女性構成比率	13.1%	22.7%	15.0%				
2.	するための参考指標	指標2	各種研修会及びセミナー参加者数	201人	84人	220人				
		指標3								
		1)	男女共同参画計画の見直し			評価事業なし				
2	施策の展開一覧									
٥.										
4.	二次評価結果	審議会が	よどにおける女性構成比率は上昇傾向にあ への参加を促進するなど、男女共同参画の	ることから、引き続き、固定 D推進に関わる施策を実施	E的な役割分担の意識解消 返していくこと。	などを図るための研修会や				

### ② 男女共同参画社会の形成促進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
54201 男女共同参画事業 の推進		審議会などにお ける女性構成比 率		0		講演後に回収したアンケートの中には、新しい知識を得ることができた、もっと早く知りたかった、もっと深く知りたいので、また開催してほしいとの声もあり、講演会は、好評であったと考える。	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 千葉県男女共同参画地域推進員とと もに、東上総地域の男女共同参画推 進のための周知、啓発活動を行い、 家庭における固定的性別役割分担
		目標数値	前年度結果	達成度			
企画課		15%以上	20.2%	0			家庭における固定的性別な問方担意識解消を図るセミナーや認知度・理解度の低いLGBTに関するセミナーを開催していきたい。

				関係課	企画課•学校教育	課•生涯学習課				
1	施策名	5	効率的な行財政と市民との協働によるま	ちづくり						
1.	<b>ル</b> 東石	5	広域連携の推進							
			参考指標名	当初数値(計画策定時	字) 今回数値(R4年度末)	目標数値(R4)				
2.	施策の達成状況を把握	指標1	友好都市との交流(イベントなど)回数	6回	3回	7回				
۷.	するための参考指標	指標2								
		指標3								
	① 広域的な行政連携の推進									
		② 友好都市との交流活動の促進								
9	施策の展開一覧	③ 公民連携による地域づくりの推進								
٥.										
4.	二次評価結果	域化に同	人口減少等により、行政課題を市単独ではな 向けた準備のほか、文化施設やスポーツ施記 ワーク及び西東京市とのイベントの相互出展 。	g、ごみ処理場などに <sup>、</sup>	ついても広域連携の可能性を	検討すること。また、全国勝 <b>│</b>				

### ① 広域的な行政連携の推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
55101 広域連携体制の充 実	広域市町村圏事務組合への負担金 支出により、広域的な事務の実施に より効率的な行財政運営を実施す る。	広域市町村圏 事務組合への 出向人数	1名	437,484	437,484	率的であると考える。	▼前期実施計画(R5~R8)に計上 令和7年度からの末端給水道事業の 統合広域化に向けた準備を着実に 進める必要がある。
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		
企画課		1名	1名	0	継続		
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
55102 広域行政に係る調 本・研究	国、県及び近隣市町の動向を注視	主な目標 調査・研究事業 のため、評価指 標の設定なし		予算額(千円)	决算額(千円)	本年度については具体的な広域連	✓前期実施計画(R5~R8)に計上
55102 広域行政に係る調 本・研究		調査·研究事業 のため、評価指		0 達成度	0		

### ② 友好都市との交流活動の促進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
55201 友好都市との交流 促進	全国勝浦ネットワーク及び西東京市との 友好都市盟約に基づき、文化・教育・福祉・産業交流の促進を図る。 全国勝浦ネットワーク会議(首長会議)を 開催する。	数	3回	623	362	イベント交流については、新型コロ ナウイルス感染症の影響により一部 実施できなかったが、コロナ前の交	✓前期実施計画(R5~R8)に計上
	勝浦市、勝浦町、那智勝浦町、西東京	目標数値	前年度結果	達成度		流に戻りつつある。	イベント交流を継続するとともに、全 国勝浦ネットワーク会議での取り決め
企画課	市で開催されるイベントに相互に出展し、産業交流の促進を図る。 勝浦市、勝浦町、那智勝浦町で開催される文化芸術イベントに相互に参加することで、文化交流の促進を図る。	7回	10	0		全国勝浦ネットワーク会議を勝浦町で開催することができ、首長同士の交流が深まった。	事業のうち、特に文化交流にについて、確実に実施する必要がある。
事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
55202 国際化の推進	海外への中学生派遣等の教育施策 とともに、国際武道大学留学生との	国際交流事業 実施校	中止	0	0		☑前期実施計画(R5~R8)に計上
	交流機会の拡大等による異文化交 流を推進する。	目標数値	前年度結果	達成度		新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。	異文化交流の実施にあたり、ICT機
企画課·学校教育 課·生涯学習課	がで推進する。 また、海外姉妹都市の提携について検討する。	6校	中止	_	継続		器を活用していく必要がある。

### ③ 公民連携による地域づくりの推進

事業名•担当課	事業概要(全体計画)	主な目標	本年度結果	予算額(千円)	決算額(千円)	評価と課題	今後の展望
55301 産官学連携の推進	市内産業団体及び各種教育機関と連携し、地域が抱える課題解決の取	包括連携協定に 基づく連携の取組 数		0		引き続き多分野での連携を模索し、	
		目標数値	前年度結果	達成度	今後の方向性		連携による取組の成果を公表するな ど、さらなる連携の可能性を積極的に
企画課	組を推進する。	20件	15件	0		地域課題の解決に取り組む必要がある。	検討するよう事業担当課に促していく。